

# 取扱説明書

ご使用前に  
よくお読みください。

**HONDA**

 HONDA

CR-V

**CR-V**

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、ホンダ  
販売店で点検整備を受けてください。

各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」  
をご覧ください。



# こんなことでお困りのとき

## ●キーが回せない

### “0”から“1”に回らないとき

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →86ページ

### “1”から“0”に回らないとき **オートマチック車**

- ・セレクトレバーがPに入っていますか。

キーを抜くとき →86ページ

## ●エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーがPかNに入っていますか。
- ・ガソリンが入っていますか。(メーター内の燃料計で確認してください。)
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →200ページ

## ●セレクトレバーがPから動かさない **オートマチック車**

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。  
(操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。)
- ・助手席回転シート装備車は、助手席が前向きでロックされていますか。
- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

セレクトレバーが動かないとき →107ページ

助手席回転シート →50ページ

シフトロック装置の正しい理解を →21ページ

## ●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →87ページ

- ・ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →88ページ

## ●キーを閉じ込めてしまった

- ・ホンダ販売店またはJAFへご連絡ください。

## ●水温計の針が“H”の目盛に入った

## ●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。  
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください)

オーバーヒートしたとき →198ページ

## ●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。  
(ホンダ販売店で点検を行ってください。)

このたびはホンダ車をお買い上げいただき、  
ありがとうございます。

この本は **CR-V** の取り扱いについて  
必要事項を説明しています。  
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、  
ご使用前に必ずお読みください。



- 運転はルールを守り、マナーよく。
- ・ シートベルトを着用しましょう。
- ・ 法定速度を守りましょう。
- ・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。
- ・ 駐停車は、ルールに従いましょう。
- ・ 迷惑運転はやめましょう。
- ・ 自然環境保護に気をくばりましょう。

● 保証や点検整備に関することはメンテナ  
ンスノートに記載しておりますので、ご  
使用前に必ずお読みください。

● 取扱説明書はメンテナンスノートと共に、  
いつもお車に保管してください。

● お車をゆずられるときは、つぎに所有さ  
れるかのためにこの取扱説明書および  
メンテナンスノートをお車につけておいて  
ください。

● ご不明な点は、担当セールスマンにおた  
ずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承  
ください。

# 本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。  
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

## 「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

### 安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

#### 危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

#### 警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

#### 注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

### その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

#### アドバイス

お車のために守っていただきたいこと  
(車が故障・毀損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の対処方法を記載しています)

#### 知識

知っておいていただきたいこと  
知っておくと便利なこと

タイトル  
階層ごとにデザインを  
変えています

ヘッダー  
ページの内容を  
示しています

ページ  
インデックス  
(→4ページ)

7.車との上手なつきあい方

積雪・暴冷時の取り扱い

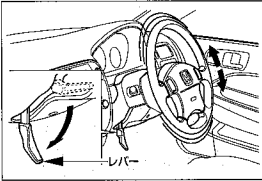


## ハンドル・バックミラーの調節

### チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。

レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



### 注意

※ 運転中にハンドルを調節すると、ハンドルがロック解除され、ハンドルが動きます。調節は必ず停車状態で行ってください。

### ルームミラー

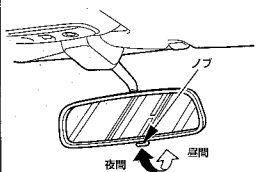
#### 知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

#### 防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

- 長期間使わないで屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

### 注意

※ 防眩式ルームミラーは、長時間使用しない場合は、必ず屋外におくときは、ボディカバーを必ず使用してください。

### 説明文

装置／機構について

解説



操作方法

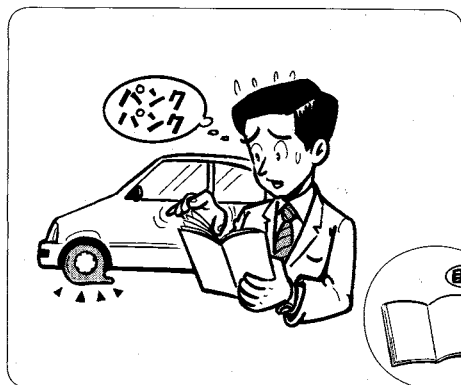
### 安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

# 本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次と対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が  
わからないとき



ビジュアル目次  
(P.6~9)



名称から探すとき



さくいん  
(P.248~257)

# 目次

<b>◆安全ドライブのための必読6ポイント</b>		11			
<b>1. 車を運転する前に</b>	各部の点検 30 シートベルトの着用 58	シートの調節 46 シートベルト 62	29		
<b>2. 車を運転するときに</b>	メーター 74 スイッチの使いかた 86	表示灯 76 運転のしかた 94	警告灯 80	73	
<b>3. 安全装備</b>	VSR（エアバッグシステム） 114 アンチロックブレーキシステム（ABS） 124 四輪駆動機構（4WD） 130	シートベルトプリテンショナー 122 ヒールスタビリティアシスト（VSA） 126 その他の安全装備 131	113		
<b>4. ドライブを快適にする装備</b>	エアロフ 136 オーディオ 144	室内装備品 158	135		
<b>5. 万一のとき</b>	車検・点検・整備 176 故障 182 燃費が気になるとき 200	故障したとき 178 パンクしたとき 186 オーバーヒートしたとき 198	事故が起きたとき 180	175	
<b>6. 車の手入れ</b>	点検・整備について 214	日常の手入れ 216	車にあった部品の使用 224	213	
<b>7. 車との上手なつきあいかた</b>	積雪・寒冷時の取り扱い 226	こんなときは 236	225		
<b>・サービスデータ</b>			242		
<b>・さくいん</b>			248		
<b>・こんなことでお困りのとき</b>			巻末		

# ビジュアル目次

サンルーフメインスイッチ **注文装備** 44

ドアミラー調節スイッチ 59

ライト/方向指示器スイッチ 88、89

メーター 74

表示灯 76

警告灯 80

ワイパー/ウォッシャースイッチ 90

セレクトレバー

**オートマチック車** 100

オーバードライブスイッチ

**オートマチック車** 102

パーキングブレーキ

**オートマチック車** 96

チルトステアリング 58

運転席用SRSエアバッグシステム 114

エンジンスイッチ 86

ボンネット解錠ノブ 34

コインボックス 170

ヒューズボックス 202

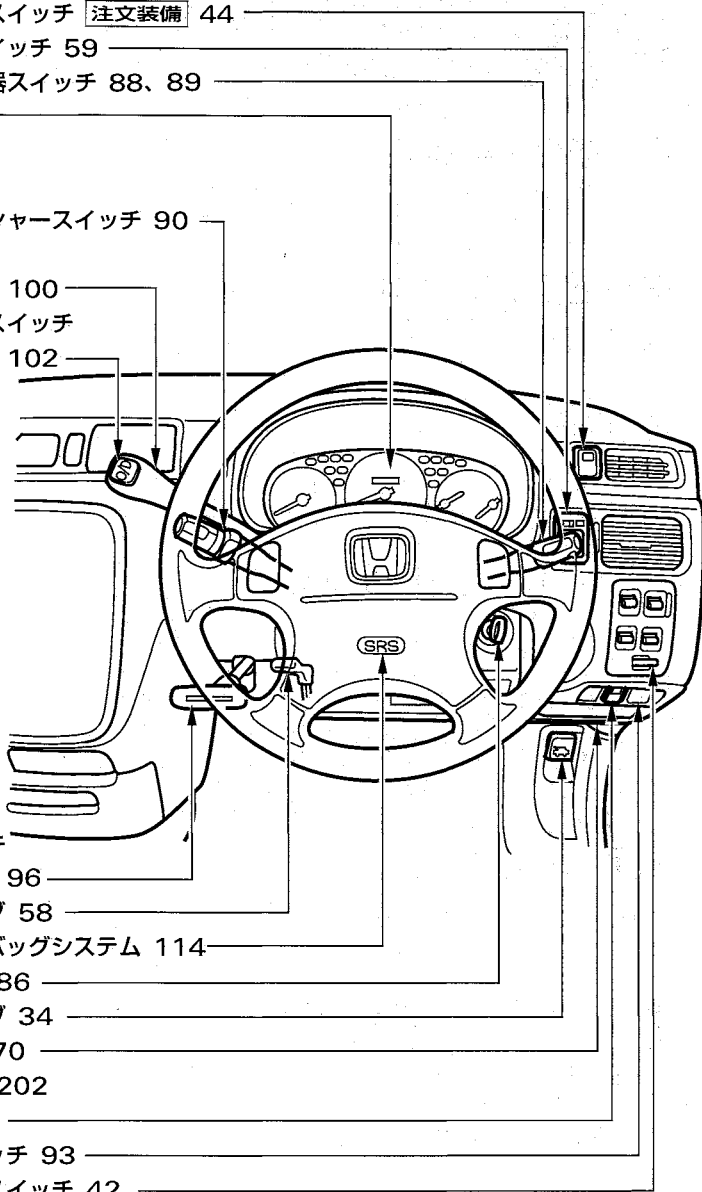
TCSスイッチ 127

フォグライトスイッチ 93

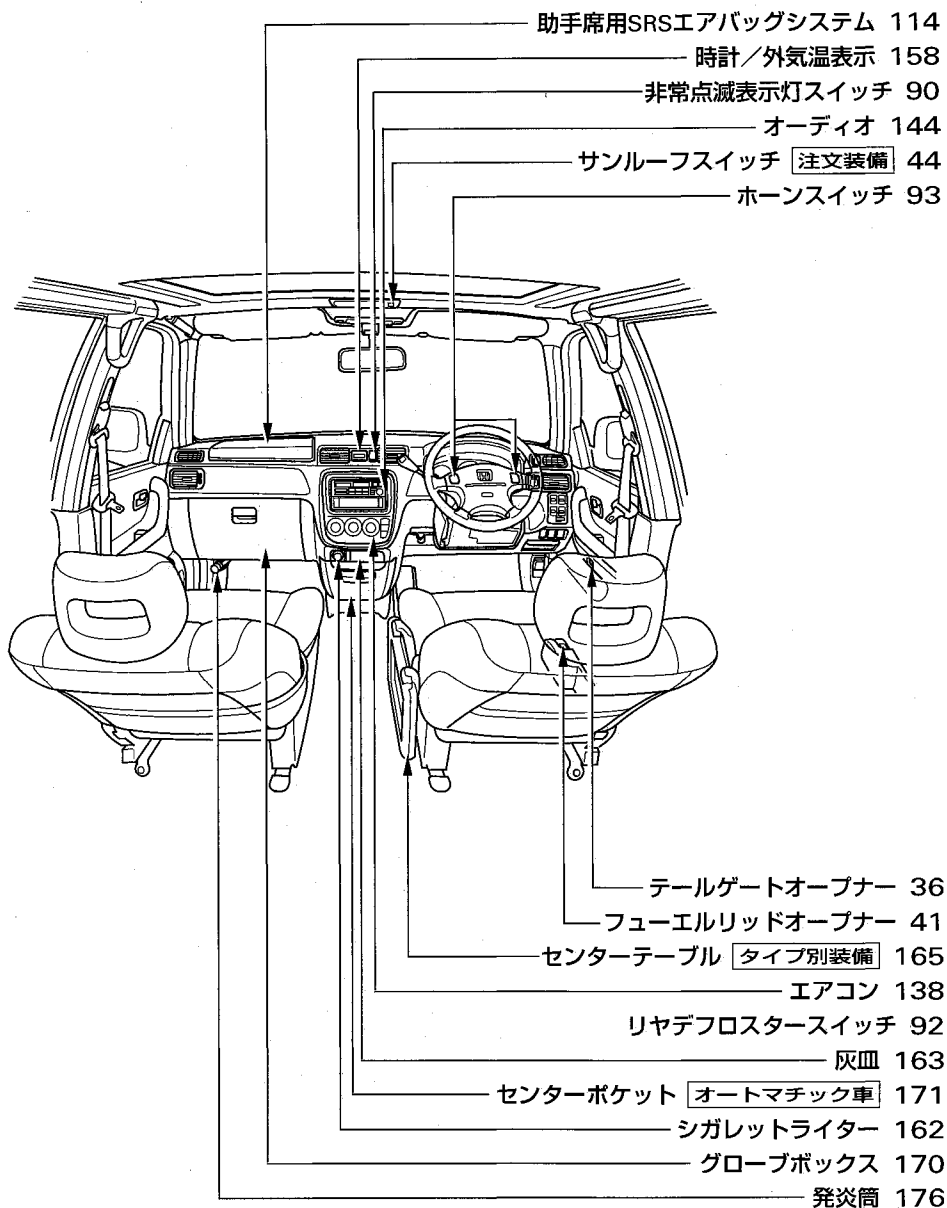
パワーウィンドースイッチ 42

※ナビゲーションシステム装備車については、

別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。







# ビジュアル目次

カーゴルームランプ 161

シートベルト(チャイルドシート固定機構付き) 70

サンルーフ  注文装備 44

室内灯 160

スポットランプ 161

サンバイザー 164

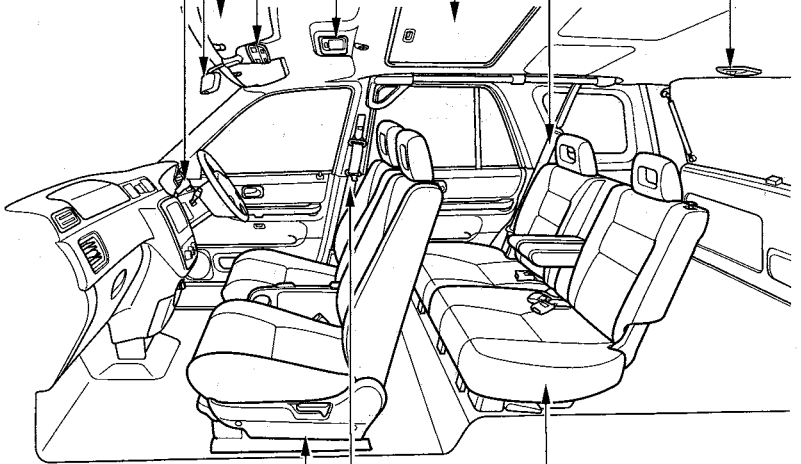
ルームミラー 58

セレクトレバー

オートマチック車 100

チェンジレバー

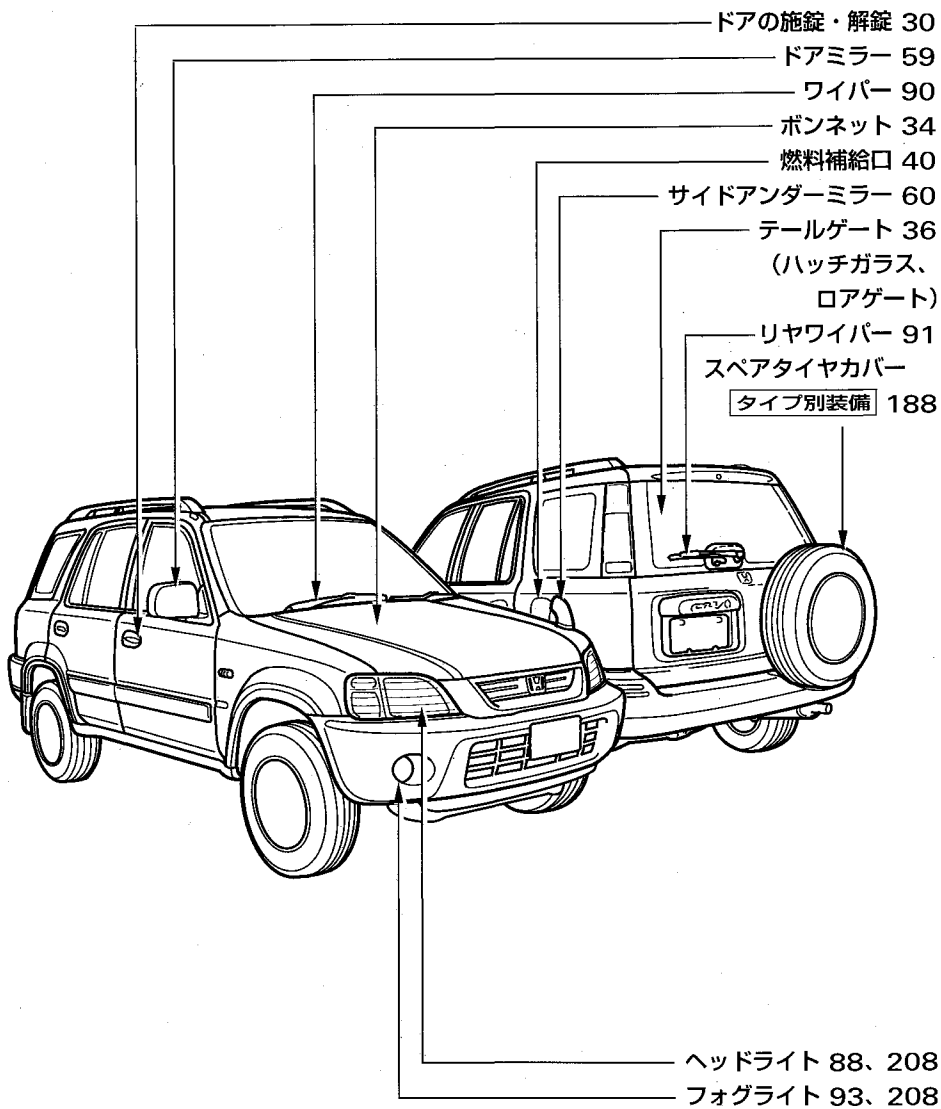
マニュアル車 98



フロントシート 48

シートベルト 62

リヤシート 52





# 安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、  
守っていただきたいことをまとめてあります。

POINTS

6

- お出かけまえに…………… 12
- お子さまに思いやりを…………… 14
- 正しい知識で最適運転…………… 16
- オートマチック車の注意ポイント… 18
- 駐車や停車はしっかりと…………… 22
- こんなことにも注意をしよう…………… 24

# 安全ドライブのための必読6ポイント

お出かけまえに...

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、ホンダの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、ホンダ販売店で点検を受けてください。(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時...)
- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<62ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



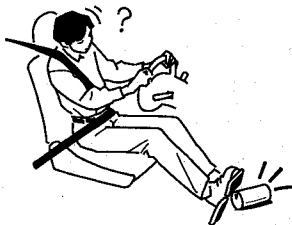
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。



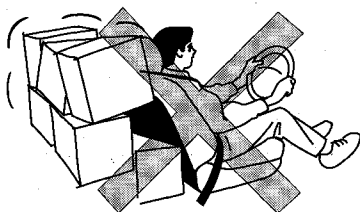
運転のさまたげになるものには注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。

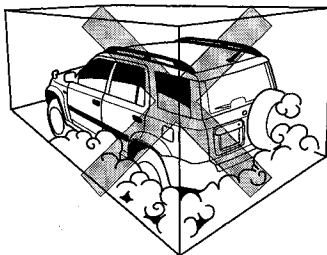
後方視界をさまたげたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

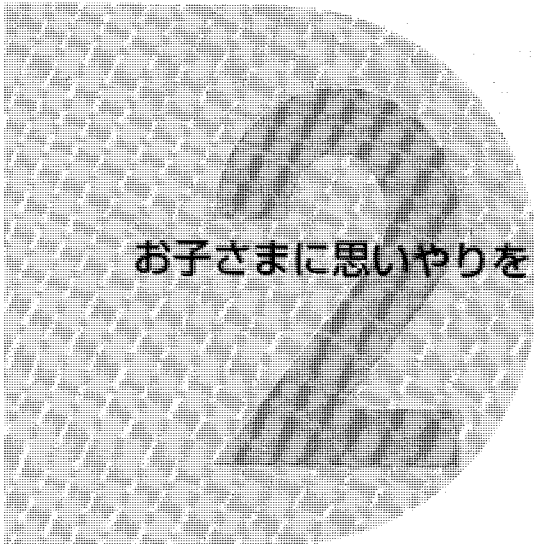
- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。

車内や屋内などに排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらホンダ販売店で点検を受けてください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

# 安全ドライブのための必読6ポイント



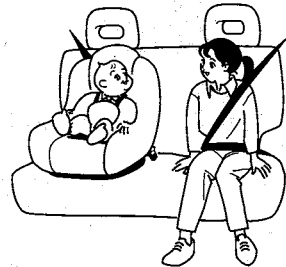
## お子さまに思いやりを

お子さまは、うしろの席に。

- 助手席にのせるのは避けましょう。
  - ・不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転のさまたげになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
  - ・インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあります。
- チャイルドブーフをお使いください。<33ページ参照>

お子さまにもシートベルトを。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどをお使いください。  
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。



- お子さまの首やあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。  
シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。  
また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。  
ご購入、ご使用に際してはホンダ販売店にご相談ください。

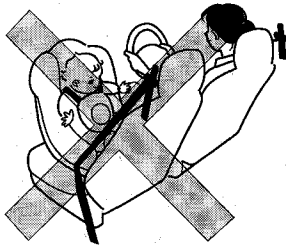
### 《選択の目安》

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	～10	～75	～12か月
チャイルドシート	7～18	65～100	4か月～4才
ジュニアシート	15～32	100～135	4才～10才



- 助手席にはベビーシートを取り付け  
ないでください。また、チャイルド  
シートを後ろ向きに取り付けないで  
ください。

- ・ SRSエアバッグが膨らむ際、ベビ  
ーシートや、チャイルドシートの  
背面に強い衝撃を受け危険です。
- ・ やむをえずチャイルドシートを前  
向きに取り付ける場合は、SRSエ  
アバッグから遠ざけるため、シー  
トを一番後ろに下げてください。

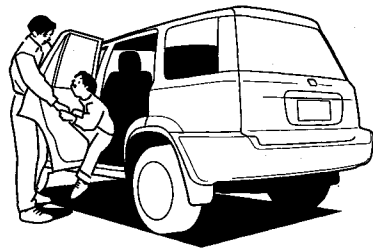


ドア、ウィンドー、サンルーフ、  
シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、くびなどをはさまないように、  
気をつけてください。
- パワーウィンドーのメインスイッチ  
は、“OFF”にしておきましょう。  
<42ページ参照>
- 走行中、一時停止のときなど、窓や  
サンルーフから手や頭、物などを出  
さないよう、注意してください。  
思わぬ障害物で事故のおそれがあり  
ます。

車から離れるときは、お子さま  
も一緒に連れて。

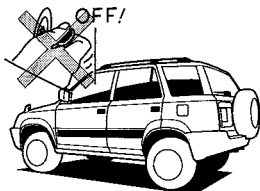
- お子さまだけを車内に残さないでく  
ださい。
  - ・ 炎天下の車内は、高温になり危険  
です。
  - ・ お子さまのいたずらにより車の発  
進、火災などの思わぬ事故につな  
がるおそれがあります。





# 安全ドライブのための必読6ポイント

## 正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作のさまたげになり大変危険です。
- 走行中はエンジンを止めないでください。
  - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキのききが悪くなります。
  - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
  - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、ききが悪くなることがあります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。オートマチック車はオーバードライブ(O/D)スイッチをOFFにするかを使ってください。特に強いブレーキ力が必要なときはを使ってください。



エンジンブレーキ：

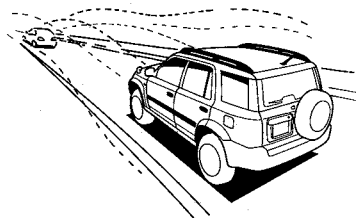
走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことです。低速ギヤほどよくききます。

オーバードライブ(O/D)スイッチ

→102ページ

霧が出たときは。

- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



### 横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。



### 雨天時の走行には注意を。

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロブレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロブレーニング現象とは

→236ページ



### 水たまりに入ったあとはブレーキのきき具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んできき具合を確認してください。ぬれたブレーキはききが悪かったり、ぬれていない片側だけがきいてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキのききが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキのききが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

### 走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。  
<80ページ参照>

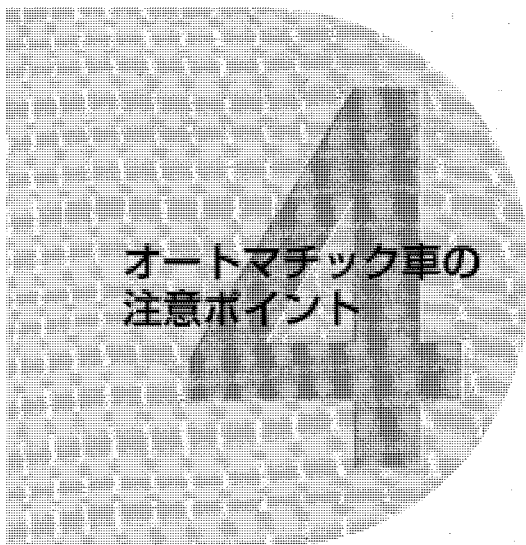
点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。



オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<104ページ参照>

オートマチック車の特性を正しく理解。

## クリーブ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクトレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。これをクリーブ現象といいます。

## キックダウンとは

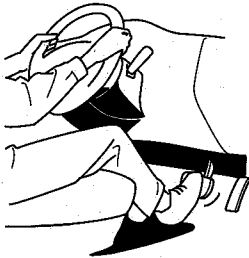
- Dで走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に低速ギヤに切り換わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。これをキックダウンといいます。

**1** ブレーキは右足で。

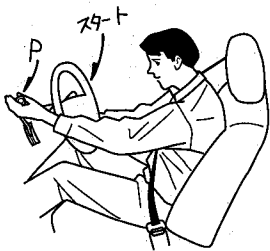
- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。  
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

**2** エンジンをかけるまえに。

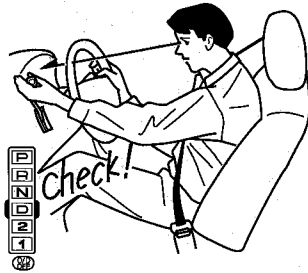
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3** エンジンをかけるとき。

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4** スタートするとき。

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認しましょう。
- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかりと踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。



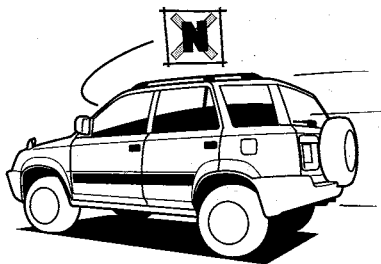
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかりと踏んでいてください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキをもどしてください。

# 安全ドライブのための必読6ポイント

## 5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全くきかず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキのききが悪くなるおそれがあります。

エンジンブレーキ →16ページ

## 6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。万一、セレクトレバーがP以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

## 7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンを止めましょう。

万一、セレクトレバーがP以外に入っていると、クリーブ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- 後退したあとは、すぐ回から回にもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、回に入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、回に入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、回からのセレクトレバー操作はできません。

- ・ エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。

- ・ セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- 回以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

回以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

- 回に入れるとチャイムが鳴ります。

- ・ セレクトレバーが回のとときにチャイムが鳴り、回に入っていることを運転者に知らせます。

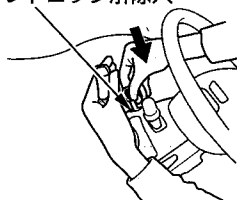
- ・ 車外の人には音が聞こえませんので、ご注意ください。

- 万一、回からセレクトレバーが操作できないときは：

- ・ エンジンスイッチからキーを抜き、
- ・ キーをシフトロック解除穴に差し込み、

- ・ キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。

シフトロック解除穴



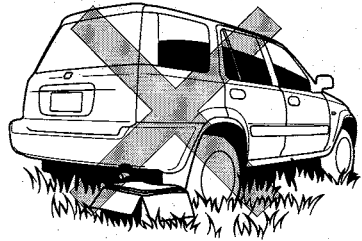
# 安全ドライブのための必読6ポイント

駐車や停車は  
しっかりと

可燃物には注意を。

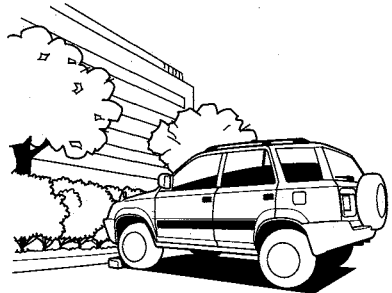
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。





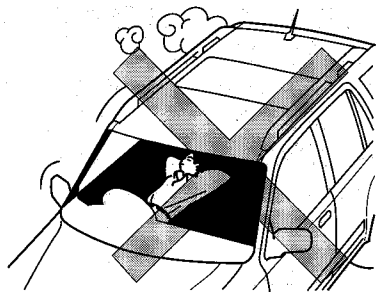
仮眠するときはエンジンを止める。

- エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

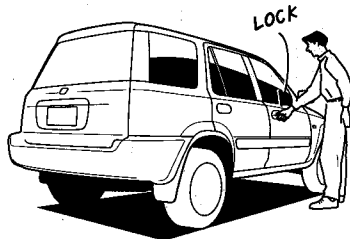
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	
下り坂	R	P
平地		

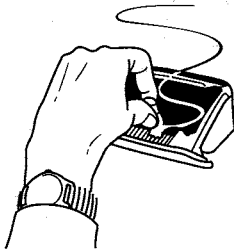
さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

# 安全ドライブのための必読6ポイント

こんなことにも  
注意をしよう

タバコの吸いがらは火を消して。

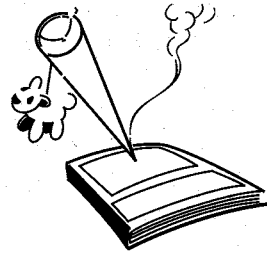
- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。



アクセサリーの取り付けには注意を。

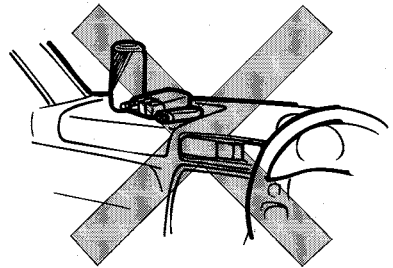
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けしないでください。

視界をさまたげたり、吸盤がレンズのはたらきをして火災を起こしたり、思わぬ事故のもとになります。



車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



ハンドルをいっぱい回した状態をつづけない。

- ハンドルをいっぱい回した状態から、さらに回そうとする力をかけつづけないでください。

パワーステアリングポンプがオイル潤滑不良をおこし、損傷することがあります。

動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転のさまたげになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- ホンダ純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

- ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- ・ホンダが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

- ホイールは、CR-V専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

ホンダ販売店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずホンダ販売店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。



# 安全ドライブのための必読6ポイント

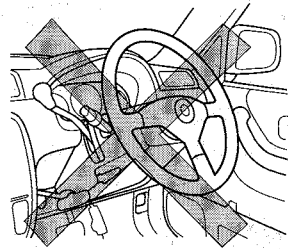
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

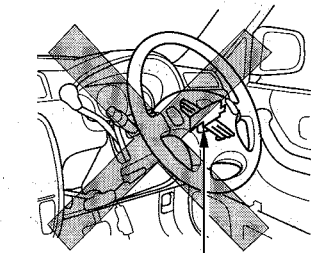
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物がとぶことがあります危険です。
- ・次の場合は、必ず、ホンダ販売店にご相談ください。

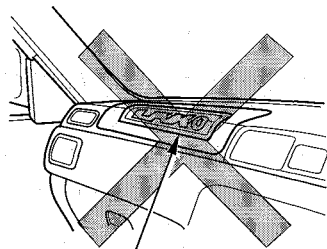
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



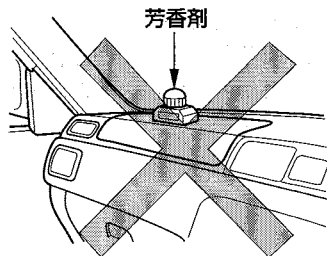
ステッカー



ステッカー



ステッカー

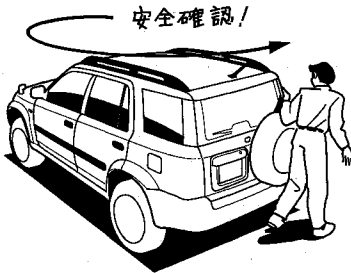


芳香剤

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

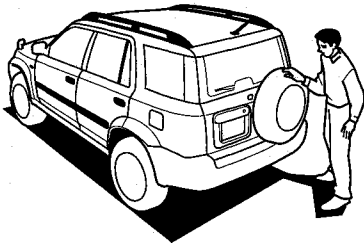
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

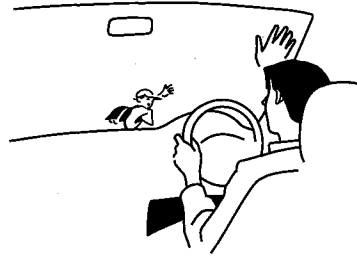


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。

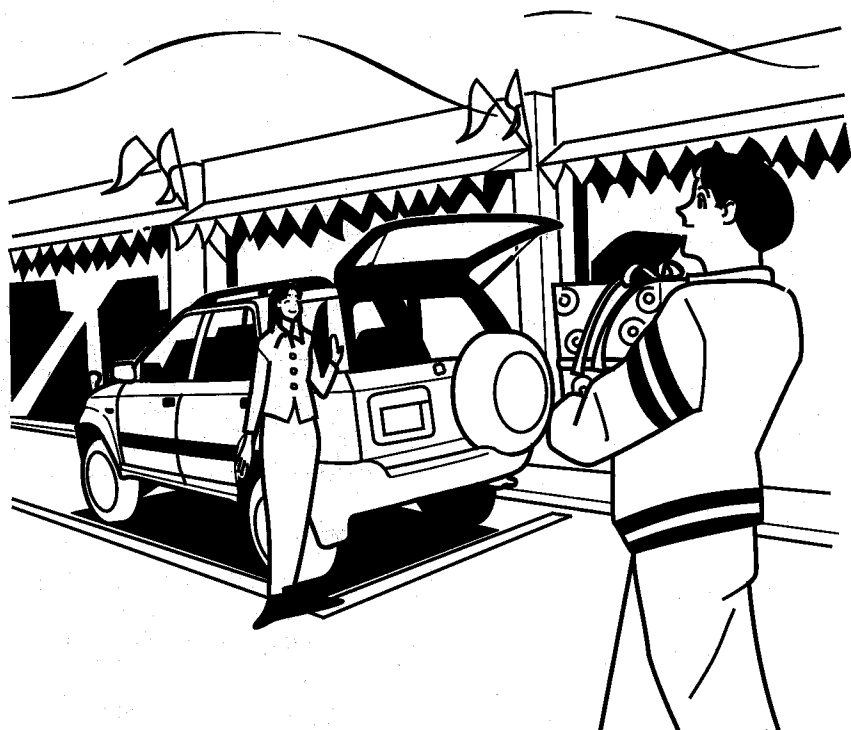


- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。



---

Blank writing area with a solid top line and a solid bottom line, and 20 horizontal dashed lines in between.



## 車を運転する前に

### ●各部の開閉

キー	30
ドアの施錠・解錠	30
ボンネット	34
テールゲート	36
燃料補給口	40
パワーウィンドー	42
サンルーフ	44

### ●シートの調節

正しい運転姿勢	46
フロントシート	48
助手席回転シート	50
リヤシート	52
フルフラットシート	54
カーゴスペースの作り方	56

### ●ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング	58
ルームミラー	58
ドアミラー	59
サイドアンダーミラー	60

### ●シートベルト

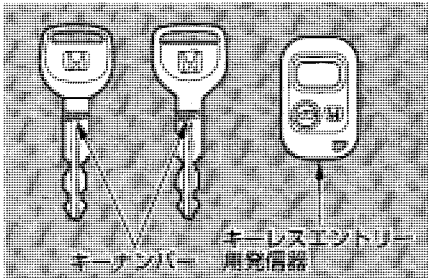
シートベルト	62
着用のしかた	66
チャイルドシート固定機構 (リヤシート外側2座席)	70

# 1

# 各部の開閉

## キー

キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアの施錠・解錠、テールゲートの解錠に使えます。



キーレスエントリー用発信器はドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →32ページ

キーレステールゲートオープナー

→36ページ

### 知識

- キーナンバーを控えておいてください。キーを紛失したときは、キーナンバーをホンダ販売店へご連絡いただければ、購入することができます。

キーレスエントリー用発信器を紛失したときは、ホンダ販売店へご連絡ください。

## ドアの施錠・解錠

### 注意

- ドアは確実に閉まることが大切です。ドアが閉まらないうちにエンジンをかけると、エンジンが止まる場合があります。

### 知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確認してから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

室内灯 →160ページ

### パワードアロック

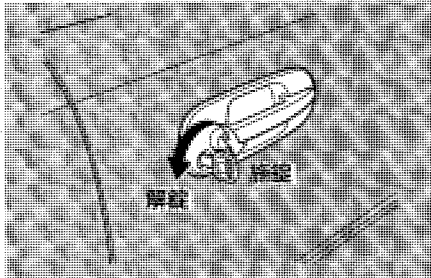
運転席ドアを施錠(解錠)すると、他のすべてのドアも同時に施錠(解錠)します。





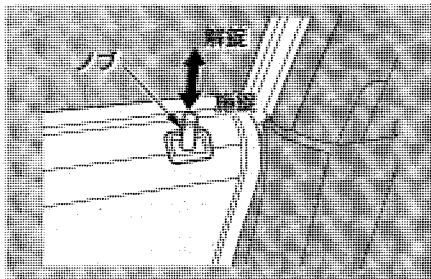
### ●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。



### ●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。



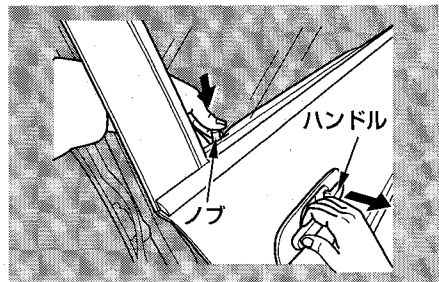
### ●キーを使わないで施錠する場合

#### ◆知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

#### 運転席ドア

- ① ドアのハンドルを引いたままノブを施錠の方向に動かします。



- ② ドアを閉めます。

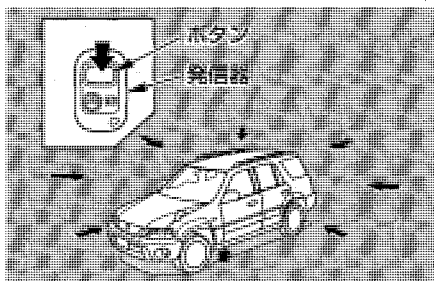
#### その他のドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

## ●キーレスエントリー

ドアの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

▼  
発信器のボタンを押すとすべてのドアが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。



## 🎓 知識

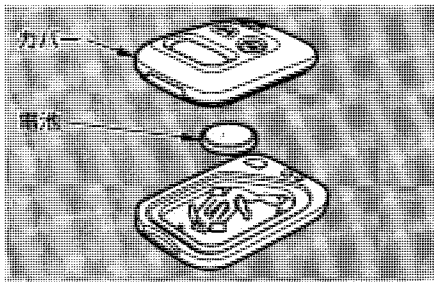
- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・ 直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
  - ・ 衝撃を与えないでください。
  - ・ 水にぬらさないでください。
- 微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。
- キーレスエントリー用発信器で解錠してから約30秒以内にドアを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドアが開いているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。



発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池CR1616

カバーに傷を付けないようにコイン等に布を巻いてカバーを外し、電池を交換します。



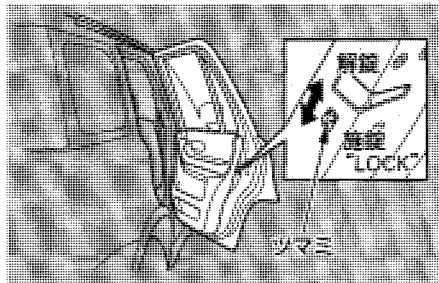
### 知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池はホンダ販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

### ●チャイルドブルーフ

ノブの位置に関係なく、後席ドアが車内から開かなくなります。お子さまを乗せるときなどにお使いください。

ツマミを施錠の位置にしてドアを閉めます。



ドアを開く場合は、外側のドアハンドルで開けます。

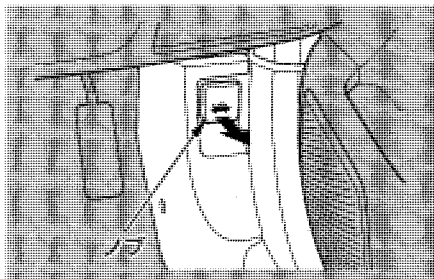
### 知識

- 車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

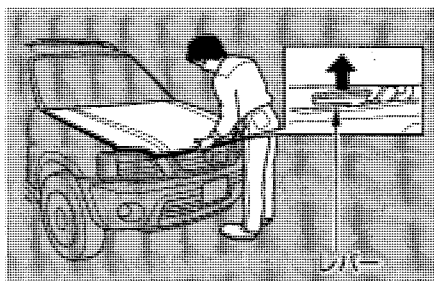
## ボンネット

### ●開けかた

①運転席足元のノブを引きます。



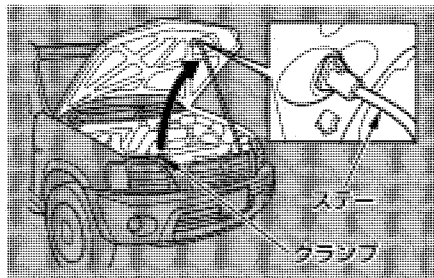
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを押しながら開けます。



### ◆知識

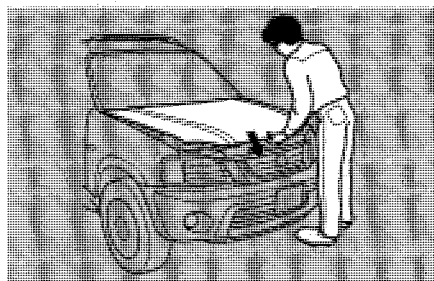
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



### ●閉めかた

ステーを外し、クランプに納めます。ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを確認します。



### △注意

- ボンネットを開けるときは、手などを傷めないように注意してください。

### ◆知識

- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

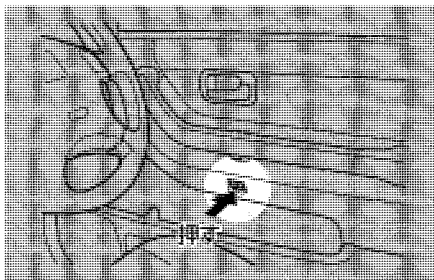
## テールゲート

### ●解錠

#### 車内から行う場合

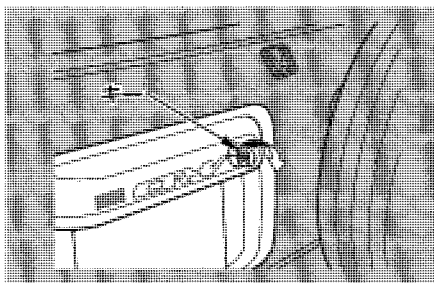
##### (テールゲートオープナー)

運転席ドアにある解錠ボタン(テールゲートオープナー)を押します。



#### 車外から行う場合

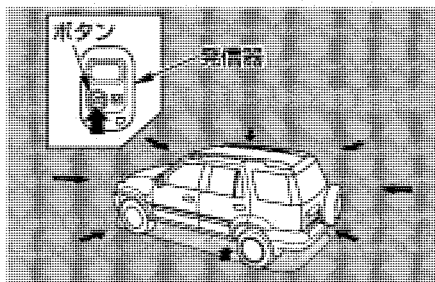
キーを確実に差し込んで矢印の方向に回します。



#### キーレステールゲートオープナー

キーレスエントリー用発信器を使って行います。

発信器のボタンを約1秒押し続けるとテールゲートが解錠されます。



キーレスエントリー →32ページ

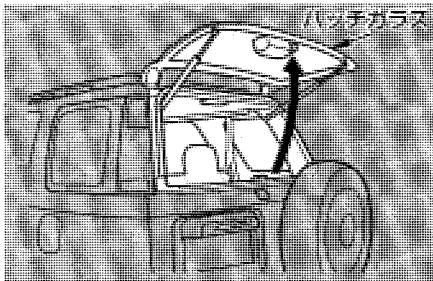


## ●開けかた

### ハッチガラス

解錠すると、少し浮き上がるので静かに引き上げて開けます。

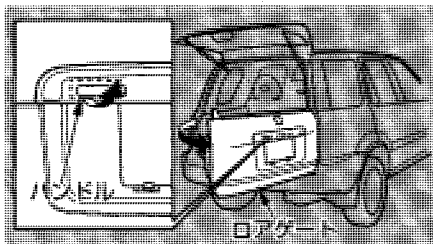
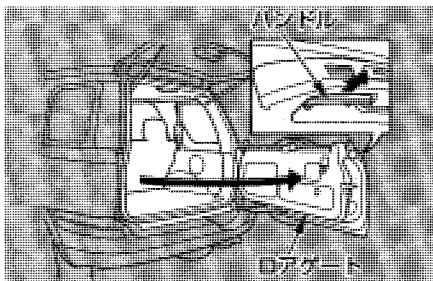
いっばいに開いてお使いください。



### ロアゲート

①ハッチガラスを開けます。

②ハンドルを引き、静かに開けます。



## ●閉めかた

先にロアゲートを閉めてからハッチガラスを閉めます。

### ロアゲート

ロアゲートを静かに動かし、手で押さえつけるように閉めます。

ロアゲートが完全に閉まっていることを確認します。

### ハッチガラス

①ロアゲートを閉めます。

②ハッチガラスを静かに下げ、手で押さえつけるように閉めます。

ハッチガラスが完全に閉まっていることを確認します。

## ▲注意

- テールゲートを開けるときは手などを挟まないように注意してください。
- エンジンがかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の方向に立たないでください。やけどなどが取られることがあります。
- カーゴスペース内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどに傷をすることがあります。

## 🎓知識

- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
- 風の強いときや坂道などでテールゲートを開けると、ロアゲートが急に開いたり閉まることがあります。安全のため、開閉は必ずゆっくり行ってください。
- テールゲートの破損を防ぐために、次のことに十分気をつけてください。
  - ・ ハッチガラスは、必ずロアゲートが完全に閉まっている状態で、またスペアタイヤの上などに荷物等がないことを確認してから閉めてください。
  - ・ ロアゲートの開閉は、ハッチガラスがいっぱいになっている状態で行ってください。
  - ・ 開いているロアゲートに寄りかかるなどの大きな力を加えないでください。



# 1.車を運転する前に

各部の開閉



## 燃料補給口

燃料補給口は車の左側後方にあります。

使用燃料：無鉛ガソリン

タンク容量：58ℓ

### 警告

- 燃料補給時は火気を厳禁です。燃料は引火しやすいので火災や爆発の原因となります。
- エンジンは必ず止めてください。
- タバコなどの火気を近づけないでください。

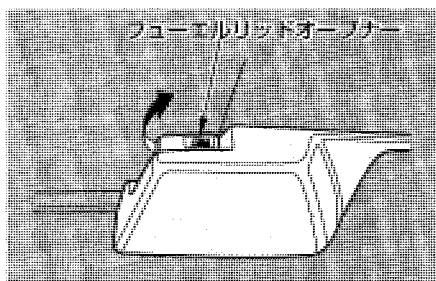
### アドバイス

- 無鉛ガソリンを使うと、燃焼装置などを損ないます。また、粗悪ガソリンや不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

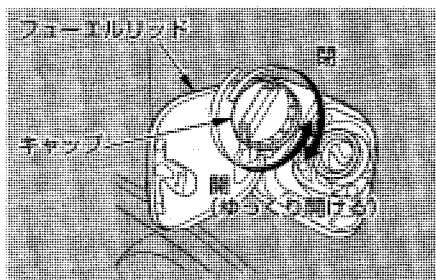


## ●開けかた

- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



- ②キャップをゆっくり回して開けます。



## ▲注意

- キャップはゆっくり開けてください。  
急激に開けると燃料蒸気により吹き返しが発生し、火傷になるおそれがあります。

## ●閉めかた

キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

## ▲注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。  
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

## パワーウィンドー

エンジンスイッチが「II」のとき、ウィンドーの開閉ができます。

開閉は、それぞれのスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席および後席ウィンドーも操作できます。

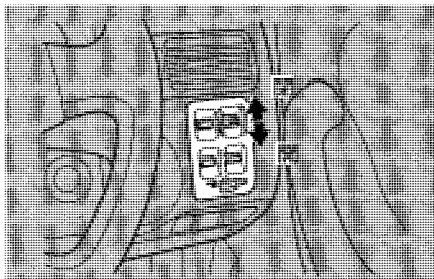
### ●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを下に押します。

閉めるとき…スイッチを上を押します。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

### ●運転席以外のウィンドーの開閉

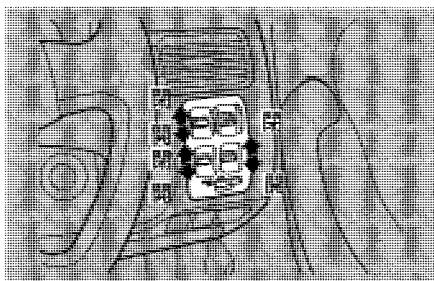
メインスイッチを「ON」にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

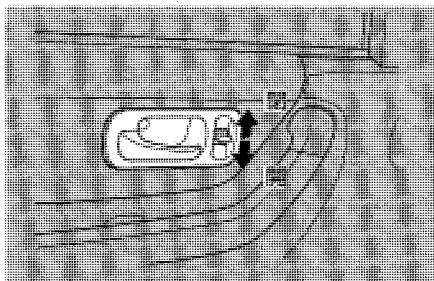
開けるとき…スイッチを下に押します。

閉めるとき…スイッチを上を押します。

### ・運転席ドアスイッチ



### ・その他のドアスイッチ



### 運転席以外のウィンドーを動かなくしたいとき(メインスイッチ)

メインスイッチを「OFF」にしておけば、運転席以外のウィンドーは作動しません。



### ⚠ 警告

- ウィンドウの窓ガラスを閉めるときは、手や指などを挟まないようにしてください。  
ドアガラスにはさまれて重大な怪傷を受けるおそれがあります。特にお子さまには気を付けてください。

### ⚠ 注意

- 車から落ちるときはキーを抜き、お子さまを一瞬に連れ去ってください。  
いたずらなど誤った操作をして恐ろしい事故につながるおそれがあります。

### 🎓 知識

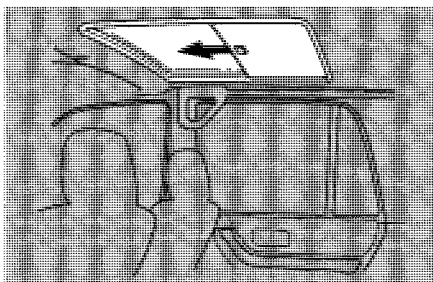
- ウィンドウの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

## サンルーフ

注文装備

### ●サンシェード(遮光板)

サンシェードは手動で開閉します。サンルーフを開ける場合は同時に作動します。サンルーフが開いた状態ではサンシェードは全閉できません。



### 知識

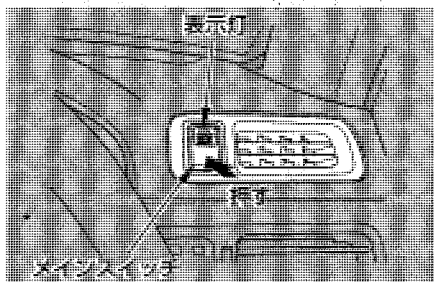
- サンシェードは全開か全閉の位置で使ってください。途中で止めて使うと、走行中の振動で音が出ることがあります。

### ●開閉

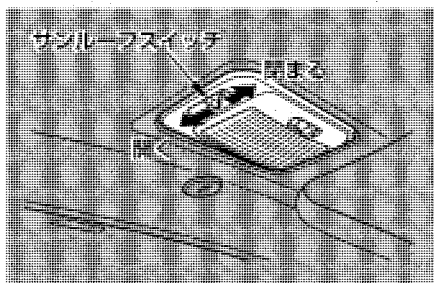
エンジンスイッチが「II」のときサンルーフの開閉ができます。



- ①メインスイッチを押すと「ON」になり、スイッチ内の表示灯が点灯します。



- ②サンルーフスイッチを押している間、サンルーフが作動します。



スイッチを押し続けると、途中で自動的に停止します。全開または全閉するとき、一度スイッチから手を離し再度スイッチを押します。



### ⚠ 警告

- サンルーフを閉めるときは、手や指などを挟まないようにしてください。
- サンルーフにはさまれて重大な怪傷を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

### ⚠ 注意

- 走行中または一時停止時にルーフ開口部から手、物などを落とさないでください。
- 急な急減速や急ブレーキをかけたときなどに事故につながるおそれがあります。

### 🎒 アドバイス

- サンルーフが全開または全閉後は、電動スイッチを押し続けしないでください。故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたリ荷物を受けるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- 降雪時、融雪時などには乗降することがあります。このような場合は故障の原因となるので作動させないでください。
- サンルーフが作動しないとき

→212ページ

### 🎓 知識

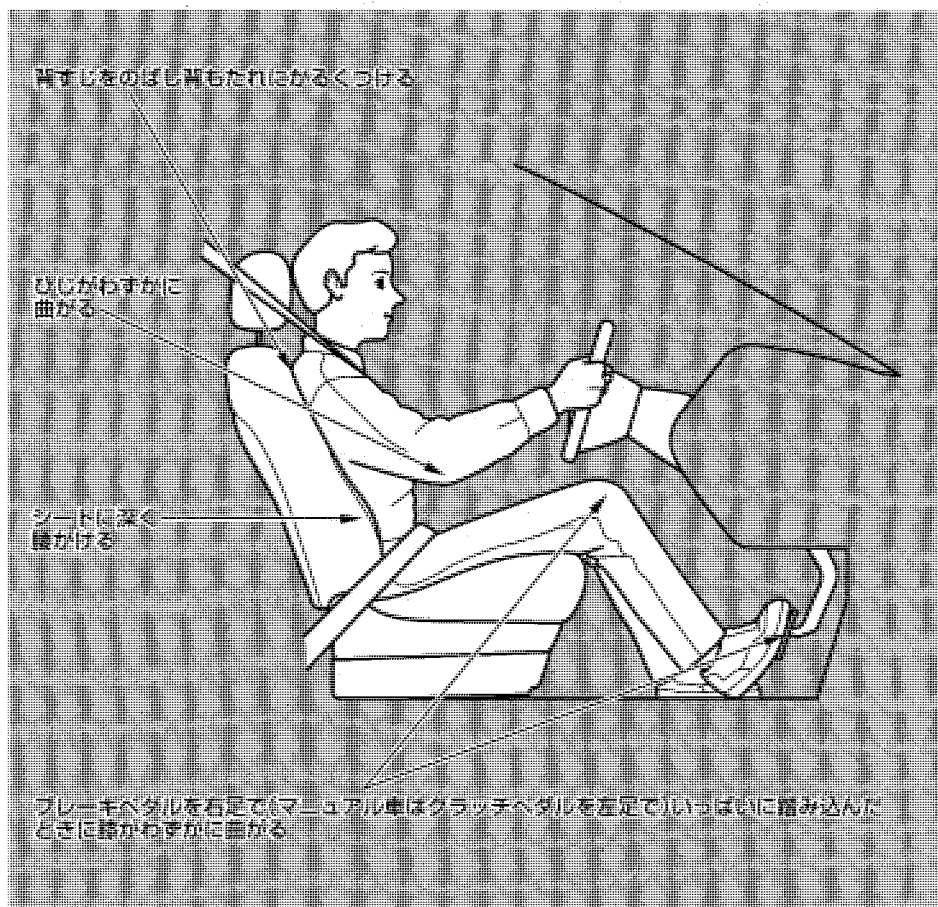
- 車から離れるときや洗車のときは、サンルーフが完全に閉まっていることを確かめてください。
- 降雨後や洗車後はルーフ上の水を除去してから開けてください。また、積雪時にはルーフ上の雪を除去してから開けてください。室内に水や雪が入るおそれがあります。
- サンルーフを全開にして走行すると、風切音が大きくなる場合があります。高速走行などのときは、サンルーフを全開するとき一度停止する位置でお使いください。

# シートの調節

## 正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。





### ⚠ 警告

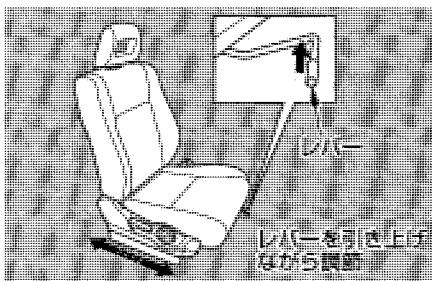
- シートに強く腰かけてください。また、背もたれを必要以上に倒さないでください。腰をべた姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが作動し、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ・乗客者は正しい乗車姿勢をとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
  - ・助手席乗客はインストルメントパネルに正しい向きのように、シートを後ろに倒してください。

### ⚠ 注意

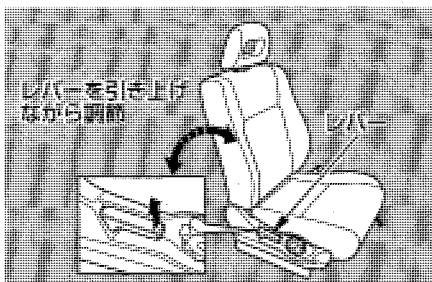
- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことや、急なゆめ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の間にクッションなどをいれないでください。正しい乗車姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シートアンダーロック以外のシートの下に物を置かばいけません。物がはさまってシートが固定されず、ゆめ事故につながるおそれがあります。

## フロントシート

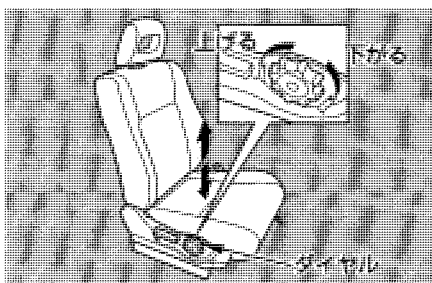
### ●前後位置の調節



### ●背もたれの調節



### ●高さの調節(運転席のみ)



### ●ヘッドレストの調節

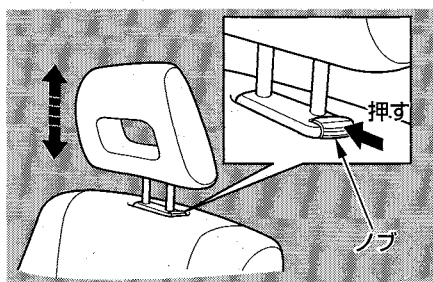
走行する前に耳とヘッドレストの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



高くするときは、ヘッドレストを持ち上げます。

低くするときはノブを押しながらヘッドレストを下げます。



### ⚠警告

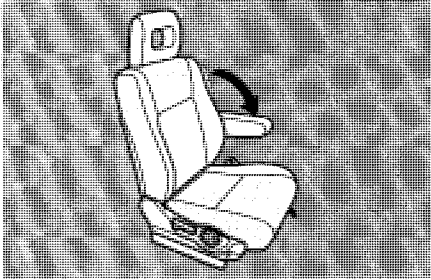
- ヘッドレストを外した状態で走行しないでください。また、固定できる高さを超えて使わないでください。衝突のときなどに重大な被害を受けるおそれがあります。走行前に必ず正しい位置に調節してください。



●アームレスト

タイプ別装備

前に倒して使います。



⚠注意

- シートベルト着用時にアームレストを引っかけるると、万一のときシートベルトの緩急が発端できないことがあります。  
シートベルトは正しく着用してください。

## 助手席回転シート

### タイプ別注文装備

駐車しているとき(セレクトレバーが回  
のとき)のみに、助手席を回転させてう  
しろ向きにすることができます。

### 警告

- 回転させたとき体前に倒したとき  
は、シートを前後左右にゆすって  
確実に固定されていることを確認  
してください。シートが確実に固  
定されていないと、走行中シート  
が動き、乗員の乗込に危険をお  
それがあります。

### 注意

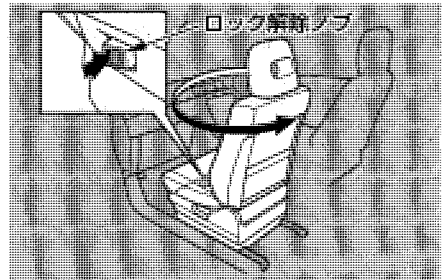
- 乗降するとき、手や足などがな  
なまぬように十分注意してくだ  
さい。

### 知識

- 助手席回転シートが前向きでロッ  
クされていないときは、セレクト  
レバーを回の位置から他の位置へ  
切り換えられません。
- 助手席シートがうしろ向きときは、  
走行することができません。
- 人を乗せた状態では回転操作を行  
わないでください。
- 運転席側のテーブルは収納してく  
ださい。  
シートが回転できません。

### ●回転のしかた

- ①車を駐車し、セレクトレバーを回の位  
置にして、パーキングレバーを引きま  
す。
- ②助手席側から前後位置調節レバーを引  
いて、シートを前方いっぱいに動かし  
ます。  
(48ページ参照)
- ③リクライニングレバーを引いて背もた  
れを前に倒します。  
(48ページ参照)
- ④助手席前側下のロック解除ノブを押し  
ながらシートを左まわりに180°回転  
させます。  
シートが確実に固定されたことを確認  
します。

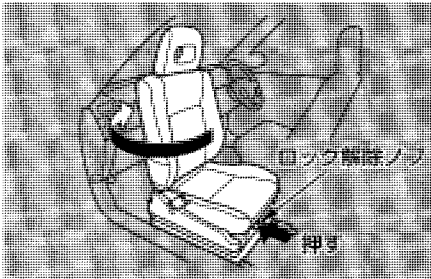


- ⑤背もたれと前後位置を調節します。



### 元に戻すとき

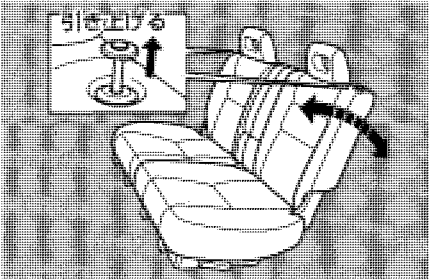
- ①助手席側から、前後位置調節レバーを引いて、シートを後方いっぱい(車両前方)動かします。  
(48ページ参照)
- ②リクライニングレバーを引いて背もたれを前に戻します。  
(48ページ参照)
- ③助手席前側下のロック解除ノブを押しながらシートを右まわりに180°回転させます。  
シートが確実に固定されたことを確認します。



- ④背もたれと前後位置を調節します。

## リヤシート

### ●背もたれの調節



片側ずつ独立して行えます。

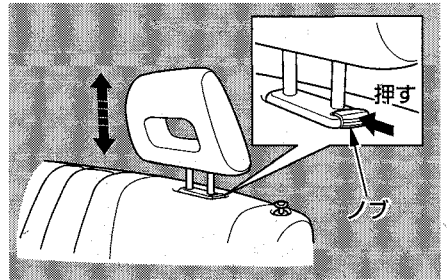
### ●ピローの調節

走行する前に耳とピローの中心が同じ高さになるように調節し、確実に固定します。

背が高い人は、固定できる範囲で一番高い位置にしてお使いください。



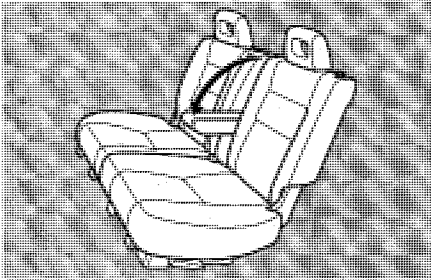
高くするときは、ピローを持ち上げます。  
低くするときはノブを押しながらピローを下げます。





●アームレスト

前に倒して使用します。



片側ずつ独立して行えます。

▲注意

- シートベルト着用時にアームレストを倒すと、万一のときシートベルトの機能が発揮できないことがあります。シートベルトは正しく着用してください。

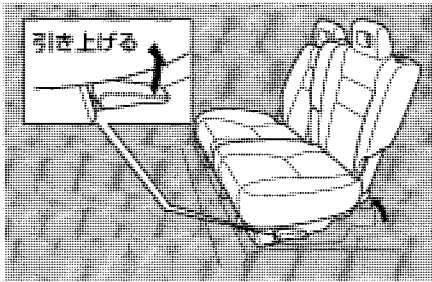
🛡️アドバイス

- アームレストに腰をかけたリ荷物をおけるなどの大きな力を加えないでください。アームレストが破損するおそれがあります。

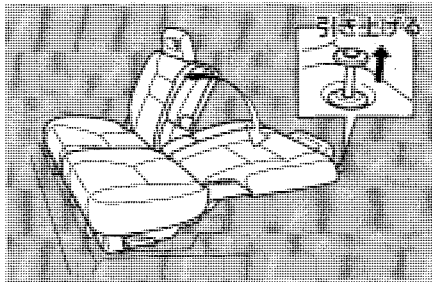
## フルフラットシート

フロントシートとリヤシートをフルフラットにできます。  
片側ずつ独立して行えます。

- ①片手でレバーを上引きながら、もう片手でリヤシート全体を固定するまで持ち上げます。

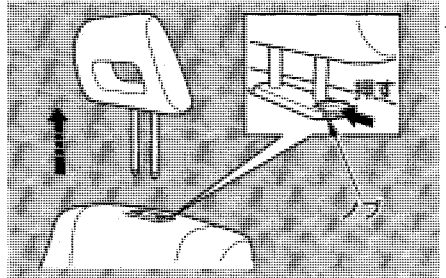


- ②ノブを引き上げながら、背もたれを後ろに倒して固定します。

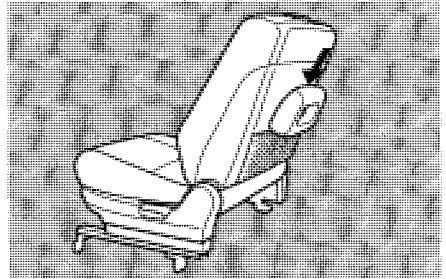


必要に応じて、フロントシートの背もたれを倒します。

- ①ノブを押して、フロントシートのヘッドレストを外します。



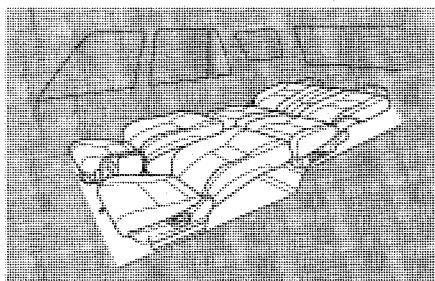
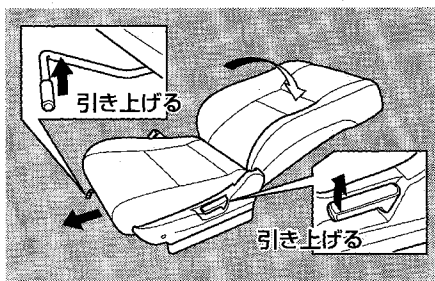
- ②シートバックポケット装備車は、外したヘッドレストを図のように収納します。







- ③前後位置調節レバーを引き上げてフロントシートを前方いっぱいに動かし、背もたれ調節レバーを引き上げて背もたれを後ろへ倒して固定します。



元に戻すときは逆の手順で行います。

### 注意

- フルフラットやリヤシート全体を持ち上げた状態で、人や荷物を乗せたまま走行しないでください。ブレーキをかけたときなどは、激しい事故につながるおそれがあります。

### 注意

- フルフラット状態で、シートの上を走り回らないでください。また、シートの上を移動するときは、シートの中央を踏んで歩くのを控えてください。シートの破れや歪み、足を踏み外すおそれがあります。
- アームレストは収納してください。ご乗車の際は、足を踏み外すおそれがあります。
- 操作するときは、手や足を傷つけないようにご注意ください。

### 知識

- フルフラットにしたときや元に戻したときは、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- フロントシートの背もたれを起こすときは、背もたれが急に返るので必ず手を添えて操作してください。
- シートと干渉するため、シートアレンジを行うときはリヤウエットティッシュホルダーを収納してください。

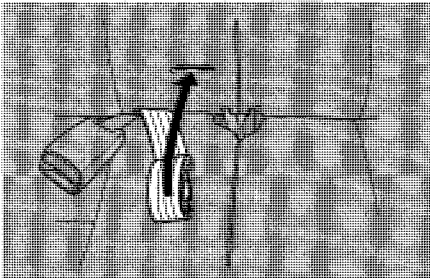
## カーゴスペースの作りかた

### 知識

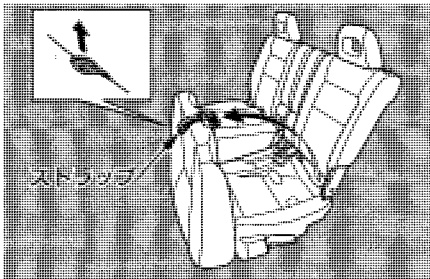
- 走行中動きやすい物を床にそのまま置かないでください。

リヤシートを倒して荷室を広くできます。  
片側ずつ独立して行えます。

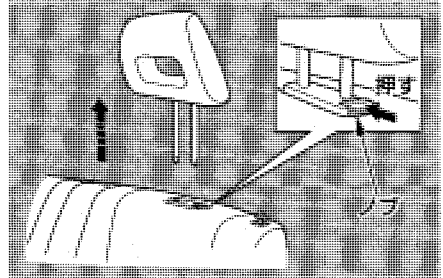
- ①中央席用のシートベルトのタングプレート側を図のようにして収納します。



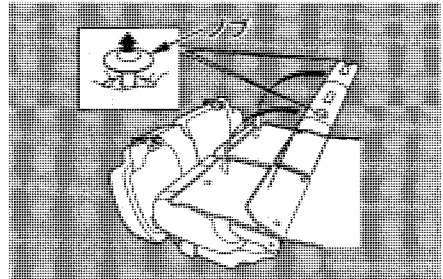
- ②ストラップを上にしてシートクッションを前方に起こします。



- ③ノブを押してピローを外します。

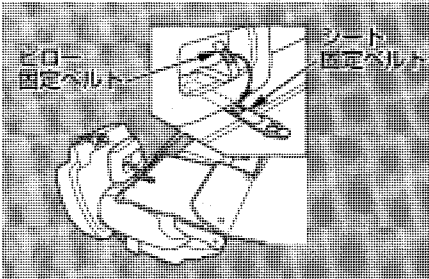


- ④ノブを引き上げ、背もたれを前に倒します。  
片側ずつ独立して行えます。





- ⑤シート固定ベルトからピロー固定ベルトをはがし、ピローをシートクッションの裏側に差し込みます。ピロー固定ベルトを穴に通して、マジックファスナーで固定します。



元に戻すときは逆の手順で行います。

### ⚠ 注意

- 調整するときは、手や足などを挟まないように注意してください。

### 🎓 知識

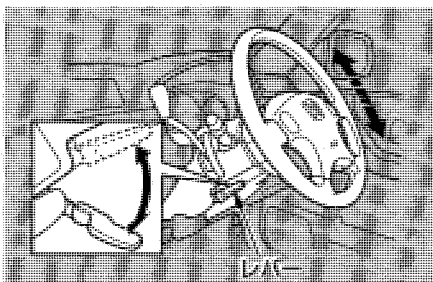
- シートを元に戻すときは、シートベルトをはさみ込まないようにしましょう。  
はさまれると正しく着用できません。
- シートを元に戻したときは、シートを前後にゆずって確実に固定されていることを確認してください。

# ハンドル・バックミラーの調節

## チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。

レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



### ⚠ 注意

- 走行中は調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

## ルームミラー

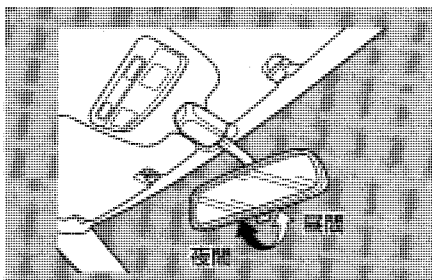
### 🏠 知識

- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

### ●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。

ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。



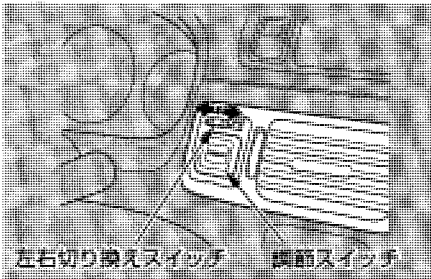
## ドアミラー

### 知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。
- ミラーを格納するときは、周囲の人の手などはさまないようにしてください。

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。

- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。



直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

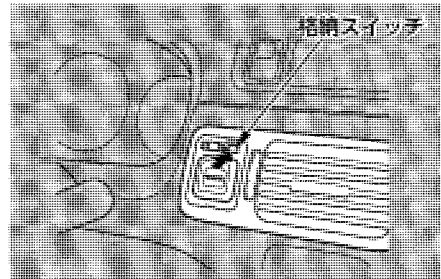
### ●格納のしかた

ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。走行するときは、必ず元に戻してください。

### 電動格納式

エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチで左右のミラーをたたむことができます。

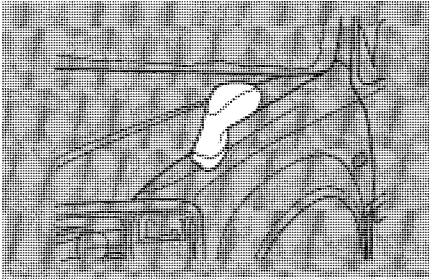
格納スイッチを押すとミラーがたたまれます。もう一度スイッチを押すと元の位置に戻ります。



直接手で格納することもできます。

## サイドアンダーミラー

停車時や発進前などに車両左側助手席付近を確認するときに役立ちます。

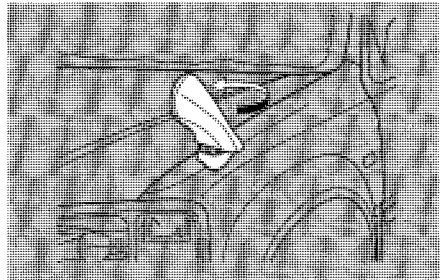


### 知識

- 後方の確認は直接確認するか、ルームミラーやドアミラーなどで十分に行ってください。
- サイドアンダーミラーの角度調節はできません。

## 格納のしかた

サイドアンダーミラーを折りたたむことができます。  
走行するときは、必ず元に戻してください。



### 知識

- サイドアンダーミラーを倒した状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがミラーに当たり、ボンネットやミラーが損傷します。

# 1.車を運転する前に

ハンドル・バックミラーの調節

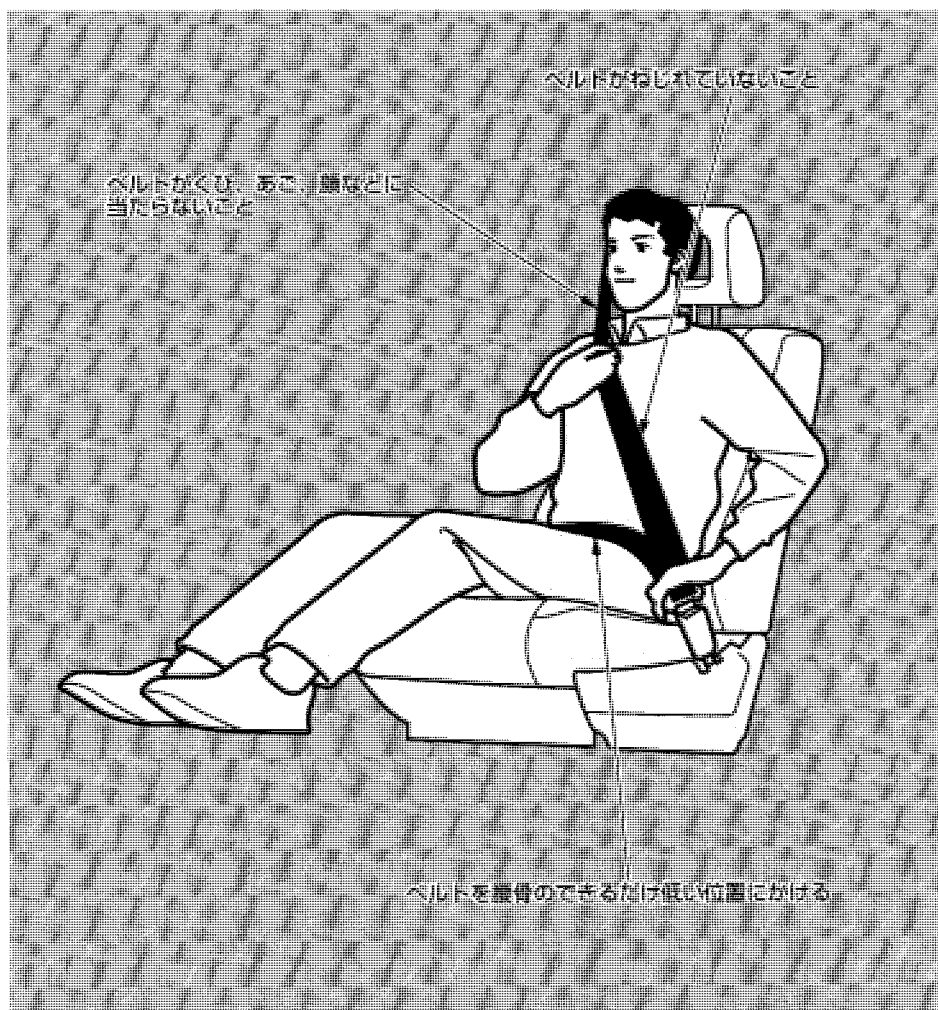


# シートベルト

## シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。

特に前席は、法律でも義務づけられています。







## ▲警告

- シートベルトは全員が着用してください。  
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く寝かけてください。  
また、背もたれは必要以上に倒さないでください。  
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートなどを併用してください。  
お子さまを座らせていても、衝突したときなどに死傷することがあります。お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。

## ▲注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能を果たさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
- ベルトは必ず腰骨の位置で巻くだけ、骨が露出にびょうたり着用してください。  
ベルトが腰骨からずれていると、腰骨などに強い圧迫を受けます。
- ベルトはねじれがないように着用してください。  
ねじれがあるとベルトの織が壊れ、局部的に強い力が加わります。
- ベルトがくびき、あご、顔などに当たらないように着用してください。
- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
- 二車道シートベルトは胸の下に挿して着用しないでください。  
ベルトが胸に十分かかるといまいと前方に投げ出されるおそれがあります。
- ベルトにはクレンジング剤を洗たくばさみなどで洗たくしないでください。
- 妊娠中の女性や産後のあるかたのベルトの着用は、万一のとき腹部、胸部、臀部などに圧迫を受けることがありますので、医師にて相談ください。

### ●三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

#### 🎓 知識

- 後席のシートベルトのショルダーアンカー部のガイドを引っばったりして、強い力をかけないでください。  
ガイドが変形することがあります。

### シートベルト警告灯

エンジンスイッチを「II」にすると、運転席シートベルトを着用するまでメーター内のシートベルト警告灯が点灯し続けます。

### チャイルドシート固定機構

(後席外側2座席)

→70ページ

#### 🎓 知識

- 後席シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに、シートベルトがすべて引き出されてチャイルドシート固定機構が作動することがあります。  
このときは、チャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

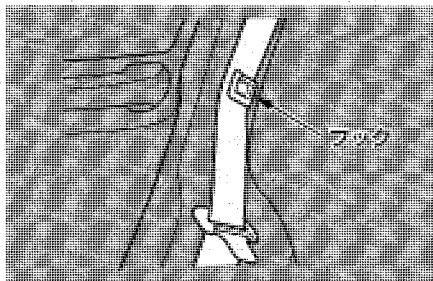
解除のしかた →71ページ

### シートベルトプリテンショナー

→122ページ

### シートベルトフック

後席の背もたれを倒すときは、シートベルトをフックにかけておきます。



### ●二点式シートベルト

体にあわせてベルトの長さを調節します。

### ●お子さまを乗せるときは

お子さまは、後席に乗せシートベルトを着用させてください。

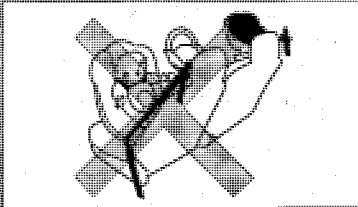
ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、チャイルドシートやジュニアシートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

また、ひとりですわることのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。



## ⚠ 警告

- 必ず正しい取り付け方法でシートを取り付けなければなりません。また、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背中に強い衝撃を受け、重大な怪害を受けたり、死亡するおそれがあります。また、やむをえず前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざかるため、シートを一着後ろに下げてください。



## 🎓 知識

- ベビーシート、チャイルドシート、ジュニアシートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。ご購入、ご使用に際してはホンダ販売店にご相談ください。

### 《選択の目安》

	体重(kg)	身長(cm)	参考年齢
ベビーシート	~10	~75	~12か月
チャイルドシート	7~18	65~100	4か月~4才
ジュニアシート	15~32	100~135	4才~10才

## ●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ・ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。

前席シートベルトは、前席に乗員がいなくても、SRSエアバッグが作動するような事故にあった場合は、プリテンショナーも作動するため、ベルト一式を交換してください。

また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。

- ・シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ・ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

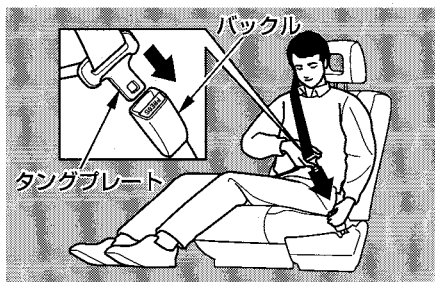
## 着用のしかた

### ●三点式シートベルト

- ①正しい運転姿勢でシートにすわります。  
(→46ページ)
- ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



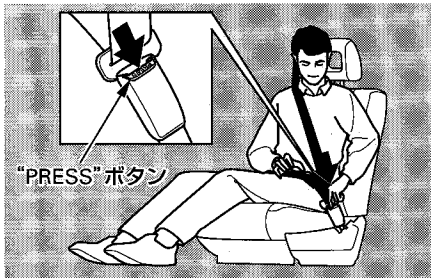
- ④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。



- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるとように引き、たるみがないように身体に密着させます。



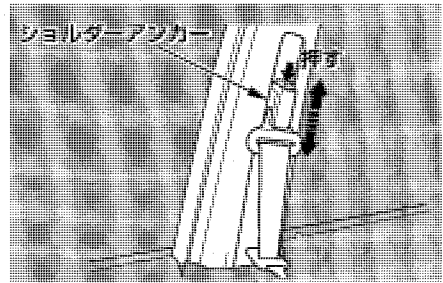
- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。  
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



### ショルダーアンカーの高さ調節 (前席のみ)

座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節できます。

通常はベルトが肩から外れないように最上段で使いますが、ベルトがくびに当たるときは、一段ずつ下げて調節してください。

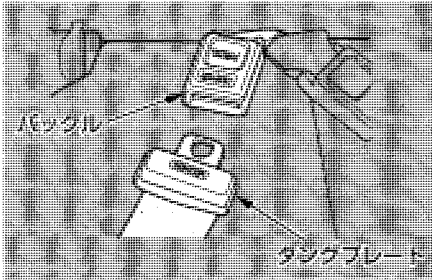


### △注意

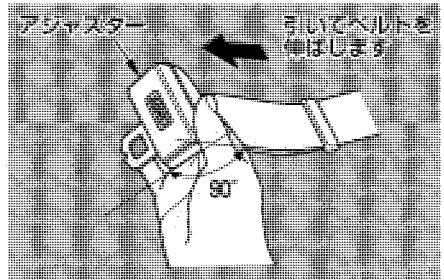
- 調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されていることを確認してください。

### ●二点式シートベルト

タンクプレートは差し込む相手を間違えないようにしてください。タンクプレートとバックルに“CENTER”(センター)の表示があります。



- ①アジャスターを図のようにし、ベルトを引いて必要な長さより少し長めにします。

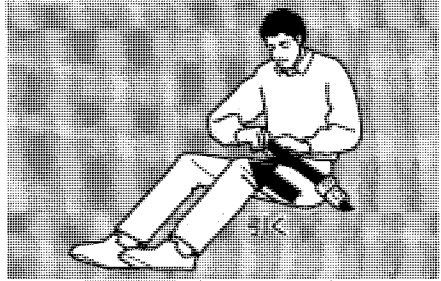





- ②ベルトにねじれがないようにし、タン  
グプレートをバックルの中へ“カチリ”  
と音がするまで差し込みます。



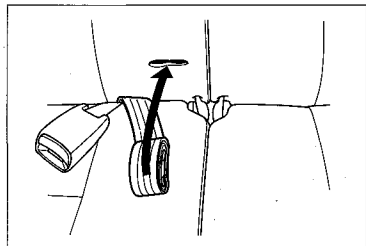
- ③腰骨にかかるようにベルトを図のよう  
に引き、腰部に密着させます。



- ④外すときはバックルの“PRESS” ボタ  
ンを押します。  
外したベルトはタングプレートとバック  
ルを結合しておきます。

 知 識

- 後席の背もたれを倒すときなどは、  
タングプレート側を図のように収  
納します。

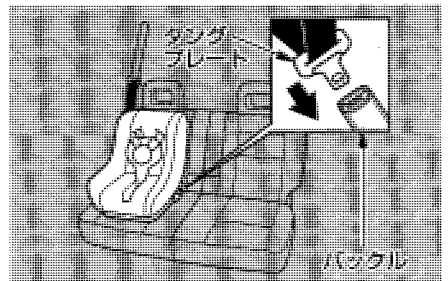


## チャイルドシート固定機構 (後席外側2座席)

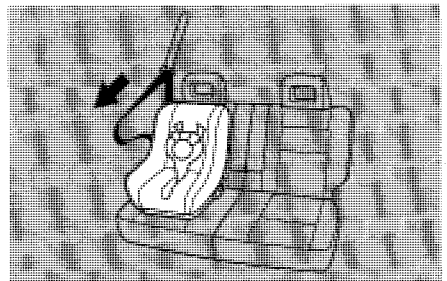
後席外側の三点式シートベルトには、チャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを引き出し方向に動かないようにできるため、チャイルドシートなどを固定するのに便利です。

### 後席にチャイルドシートなどを取り付けるとき

- ①チャイルドシートなどをシートメーカーの取扱説明書にしたがって取り付けます。(ベルトにねじれがないことを確認します。)
- ②タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



- ③ベルトをゆっくりと引き出します。すべて引き出すと、チャイルドシート固定機構が作動します。





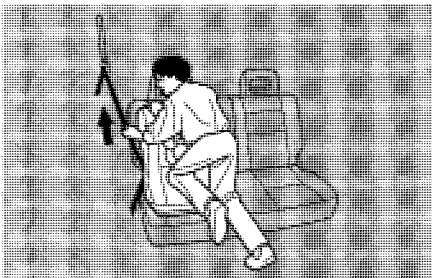


- ④ベルトを少し巻き取らせます。“カチカチ”と音がしますが、これはチャイルドシート固定機構の作動音です。このとき、ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は、再度ベルトをすべて引き出してください。

### 注意

- 必ずベルトが引き出し方向に動かないことを確認してください。ベルトが引き出し方向に動く状態では、チャイルドシート固定機構が作動していませんので、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートなどが飛び出し被害を受けるおそれがあります。

- ⑤チャイルドシートなどに体重をかけてリヤシートに押しつけながら、ベルトを巻き取らせ、しっかりと固定します。

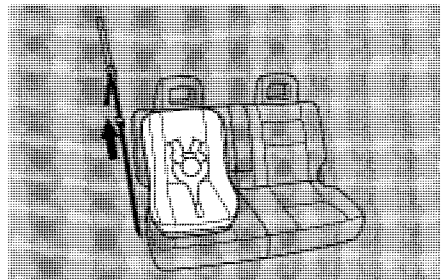


### 注意

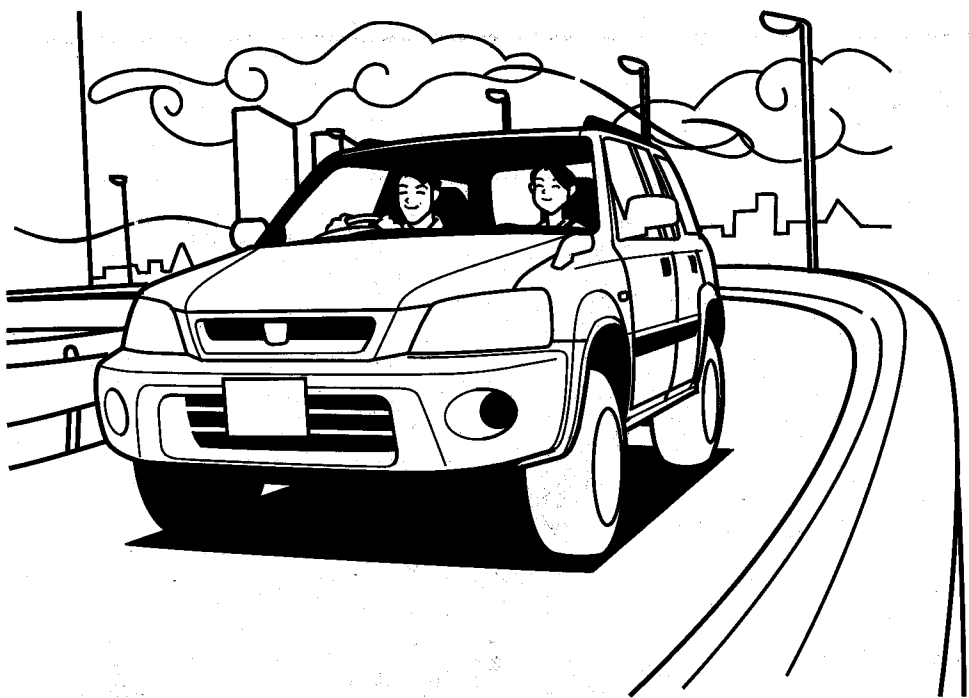
- チャイルドシートなどを前後左右にゆすって確実に固定されていることを確認してください。確実に固定されていないとブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートなどが飛び出し被害を受けるおそれがあります。

### 解除のしかた

- ①チャイルドシートなどからベルトを外します。
- ②ベルトをいっぱいまで巻き取らせると、チャイルドシート固定機構は解除されます。



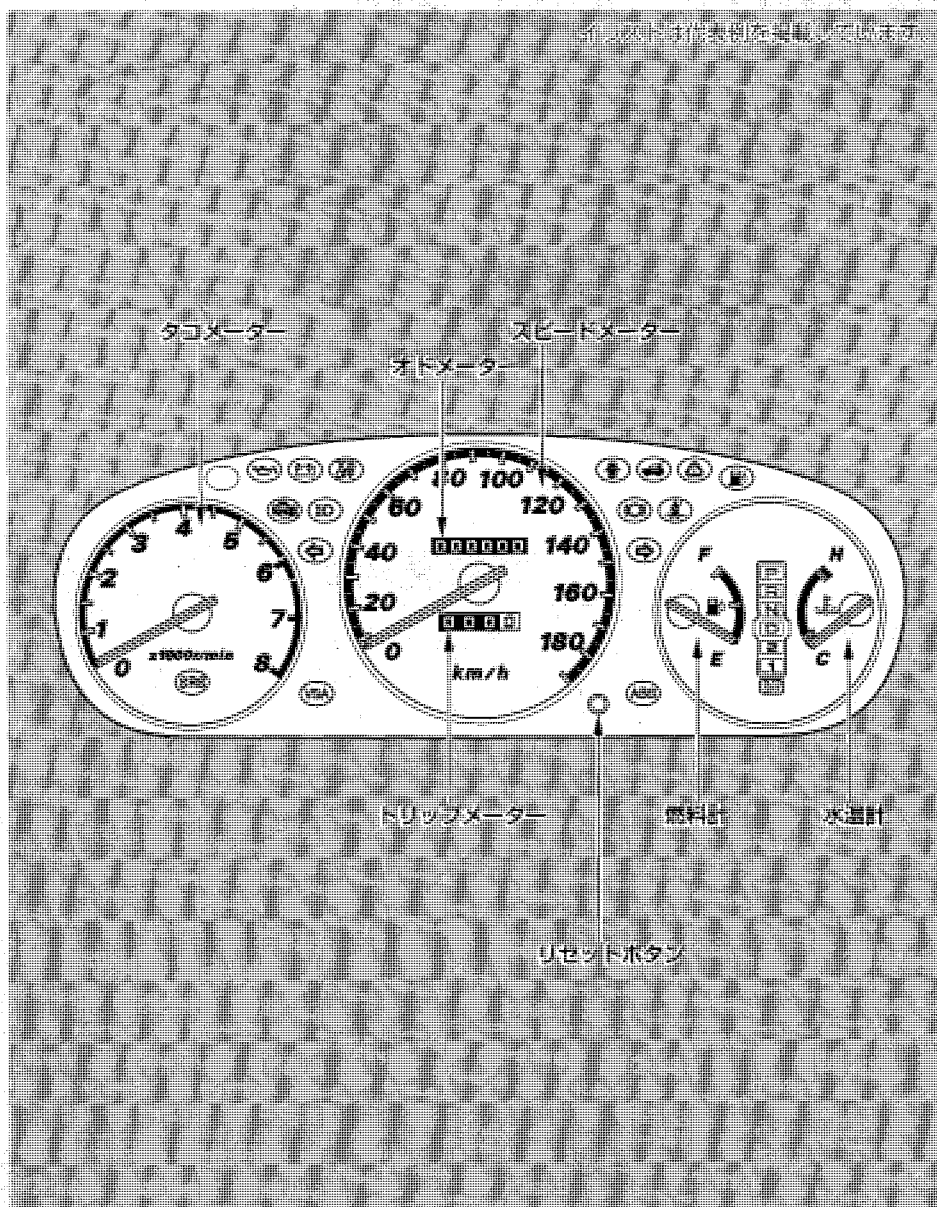




## 車を運転するとき

●メーター	74	●運転のしかた	
●表示灯	76	エンジンのかけかた	94
●警告灯	80	パーキングブレーキ	96
警告灯の電球切れの点検	85	チェンジレバーの操作	98
●スイッチの使いかた		セレクトレバーの操作	100
エンジンスイッチ	86	オートマチック車の運転の しかた	104
ライトスイッチ	88		
方向指示器(ウィンカー) スイッチ	89		
非常点滅表示灯(ハザード) スイッチ	90		
ワイパー/ウォッシャー スイッチ	90		
リヤデフロスタースイッチ	92		
ホーンスイッチ	93		
フォグライトスイッチ	93		

# メーター





## スピードメーター

走行速度をkm/hで示します。

## タコメーター

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

### アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数 → 6,700rpm

- オートマチック車  
停車中の空ぶかしは、エンジン回転数が5,000rpmになると燃料供給が停止されます。

## オドメーター

走行距離の累計をkmで示します。

## トリップメーター

区間距離(km)を知りたいときは、リセットボタンを押して“0”に戻して使います。

右端の数字は100mの単位です。

## 燃料計

エンジンスイッチの位置に関係なく常に燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →40ページ

### 知識

- 燃料補給後、エンジンスイッチを“II”にしてから正しい量を示すまで、しばらく時間がかかります。

## 水温計

エンジン冷却水の温度を示します。

走行中は“H”の目盛より下側をさすのが正常です。

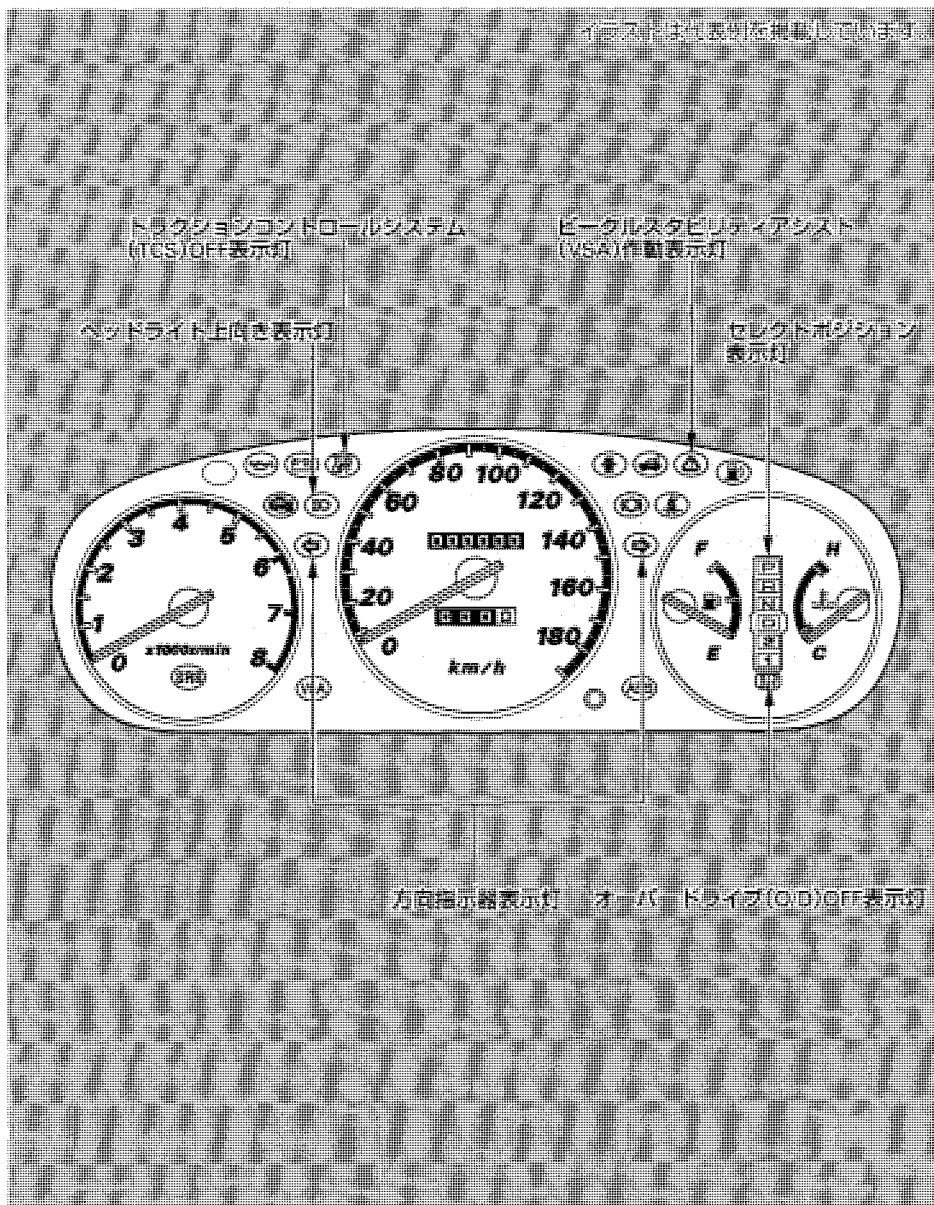
### アドバイス

- 針が“H”の目盛に入った場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。

“オーバーヒートしたとき”

→198ページ

# 表示灯









## 2.車を運転するときに

表示灯



表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ				
	パフォーマ			フルマーク	
	2WD	4WD		2WD	4WD
	オートマチック車	マニュアル車	オートマチック車	オートマチック車	オートマチック車
 方向指示器表示灯	○	○	○	○	○
 ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯	○	○	○	○	○
 セレクトポジション表示灯	○		○	○	○
 オーバードライブ(O/D)OFF表示灯	○		○	○	○
 ビークルスタビリティアシスト(VSA)作動表示灯			△		△
 トラクションコントロールシステム(TCS)OFF表示灯			△		△

○：標準装備

△：注文装備



### 方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

#### 知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違ったものを使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換 →209ページ

電球(バルブ)のワット数

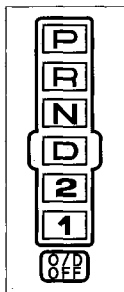
→244ページ



### ヘッドライトの上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。





### セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

**オートマチック車**

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

トランスミッションが異常のときには、**回**が点滅します。

トランスミッション警告灯 →83ページ

**O/D  
OFF**

### オーバードライブ(O/D)OFF表示灯

**オートマチック車**

オーバードライブ(O/D)スイッチがOFFのとき点灯します。

オーバードライブ(O/D)スイッチ

→102ページ



### ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)作動表示灯

**VSA装備車**

TCS機能または横滑り抑制機能が作動中に点滅します。

→126ページ

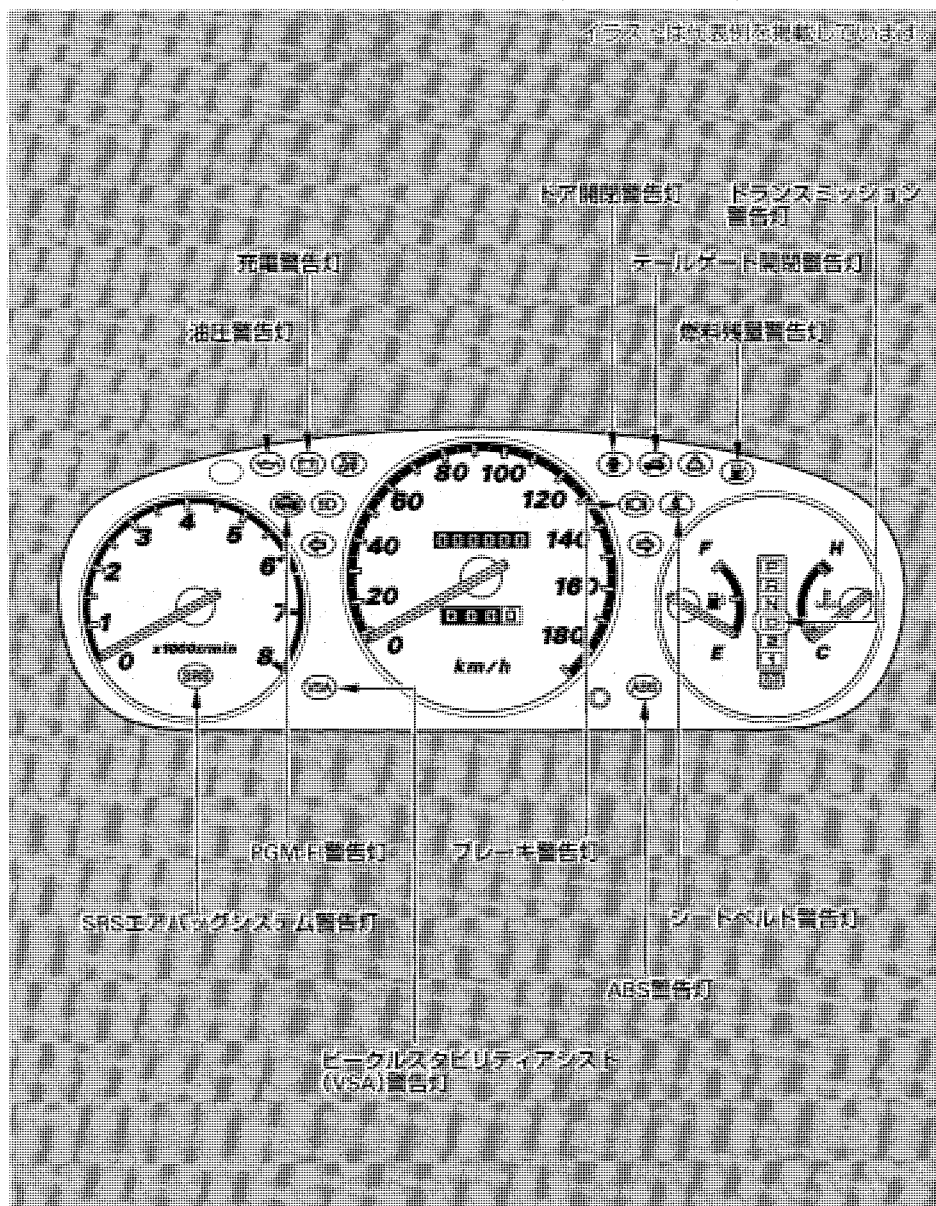
**TCS  
OFF**

### トラクションコントロールシステム (TCS)OFF表示灯

TCSがOFFのとき点灯します。

→127ページ

# 警告灯













## 2.車を運転するときに

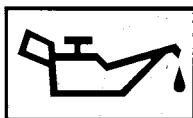
警告灯



表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯	タイプ				
	パフォーマ			フルマーク	
	2WD	4WD		2WD	4WD
	オートマ チック車	マニユ アル車	オートマ チック車	オートマ チック車	オートマ チック車
 油圧警告灯	○	○	○	○	○
 ブレーキ警告灯	○	○	○	○	○
 充電警告灯	○	○	○	○	○
 PGM-FI警告灯	○	○	○	○	○
 トランスミッション 警告灯 (セレクトポジション 表示灯兼用)	○		○	○	○
 シートベルト警告灯	○	○	○	○	○
 燃料残量警告灯	○	○	○	○	○
 ドア開閉警告灯	○	○	○	○	○
 テールゲート開閉警告灯	○	○	○	○	○
 SRSエアバッグシステム 警告灯	○	○	○	○	○
 アンチロックブレーキ システム(ABS)警告灯	○	○	○	○	○
 ビークルスタビリティ アシスト(VSA)警告灯			△		△

○：標準装備  
△：注文装備



### 油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。

#### 点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにホンダ販売店へご連絡ください。



#### アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



### ブレーキ警告灯

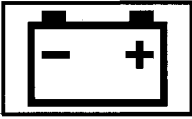
パーキングブレーキが完全に戻っていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。

#### 点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにホンダ販売店へご連絡ください。

ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにホンダ販売店で点検を受けてください。

**充電警告灯**

充電系統が異常のときに点灯します。

**点灯したときは**

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、ヒーター・エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。

**PGM-FI警告灯**

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

**点灯したときは**

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。

**トランスミッション警告灯  
(セレクトポジション表示灯兼用)**

**オートマチック車**

トランスミッションが異常のときに点滅します。

**点滅したときは**

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。

**シートベルト警告灯**

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまで点灯し続けます。

**燃料残量警告灯**

燃料タンク内のガソリン残量が9ℓ前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →40ページ

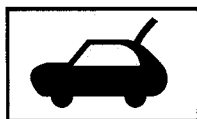


### ドア開閉警告灯

ドアが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドアを完全に閉めてください。



### テールゲート開閉警告灯

テールゲートが完全に閉まっていないときに点灯します。



テールゲートを完全に閉めてください。



### SRSエアバッグシステム警告灯 (シートベルトプリテンショナー 警告灯兼用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム警告灯

→121ページ

シートベルトプリテンショナー警告灯

→123ページ



### アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

→125ページ



# VSA

## ビークルスタビリティアシスト (VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯

VSA装備車

VSAが異常のときに点灯します。

→128ページ

### 知識

- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。

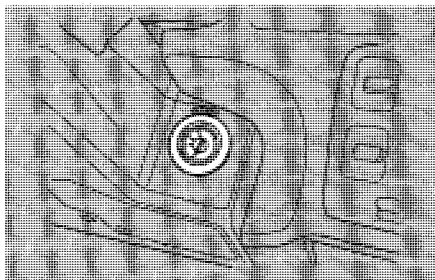
## 警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、ホンダ販売店へご連絡ください。

- 油圧警告灯  
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯  
(パーキングブレーキを完全に解除すると消灯)
- 充電警告灯  
(エンジン始動後消灯)
- トランスミッション警告灯  
(数秒後消灯)
- PGM-FI警告灯  
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯  
(約6秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム  
(ABS)警告灯  
(数秒後消灯)
- ビークルスタビリティアシスト  
(VSA：車両挙動安定化制御システム)警告灯  
(エンジン始動後消灯)

# スイッチの使いかた

## エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

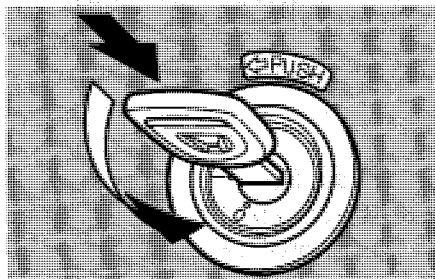
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

## キーを抜くとき

- ・オートマチック車は、セレクトレバーを回に入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



## 知識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- オートマチック車**  
セレクトレバーが回以外の場合は、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

**“0”から“I”にキーが回らないとき**  
ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。





### 警告

- 走行中にエンジンを止めないでください。  
マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを「0」にするとキーが抜けることがあります。ハンドルがロックされ、乗客が事故につながる可能性があります。

### 知識

- エンジンを止めた状態で「II」のまま、長時間放置しないでください。バッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず「0」にしてください。

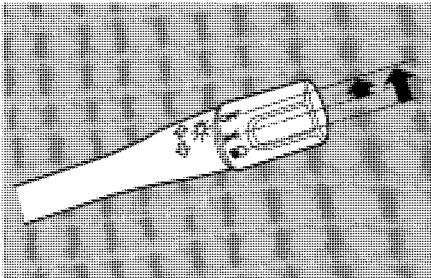
### ●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが「I」または「0」でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

## ライトスイッチ

### ●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	☺☹	☹☺
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

### 🎓 知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

### ●ライト消し忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“1”または“0”で、ライトを消し忘れたまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。

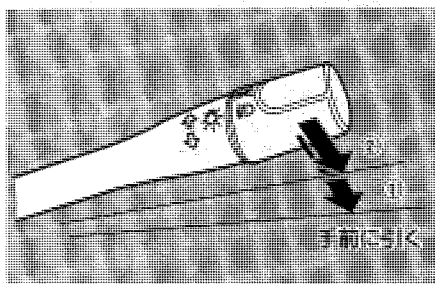


### ●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

レバーを①の位置まで引くと上向き下向きの切り換えができます。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライトの上向き(ハイビーム)  
表示灯 →78ページ



### 知識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

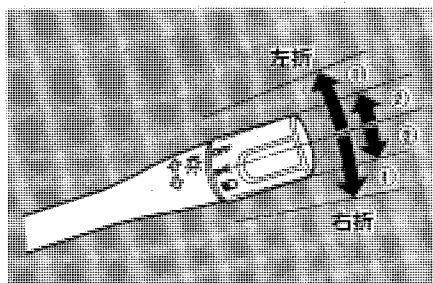
### ●追越合図(パッシング)

レバーを軽く②の位置まで引いている間、上向きが点灯します。

### 方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが「II」のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。

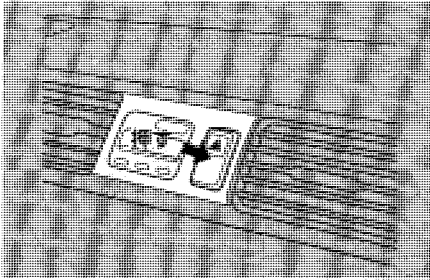
この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。



## 非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するとき使います。



### 知識

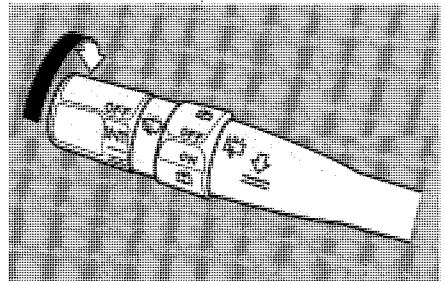
- 非常時にのみお使いください。完全充電の新しいバッテリーでも約2時間以上使うとバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

## ワイパー/ウォッシャースイッチ

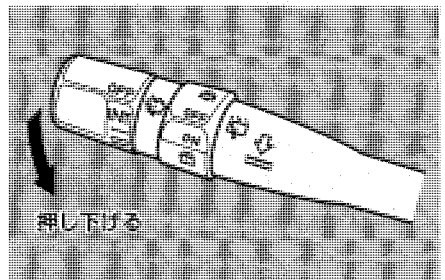
エンジンスイッチが「II」のとき使えます。

### ●フロントガラス

#### ワイパースイッチ



- OFF ..... 停止
- INT(間欠) ..... 雨量の少ないとき
- (低速) ..... 普通雨量のとき
- = (高速) ..... 雨量の多いとき



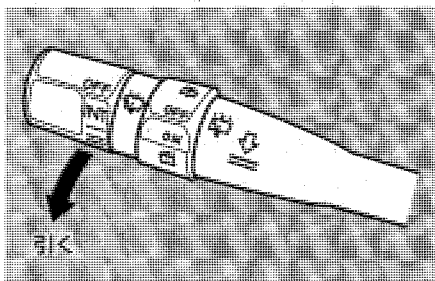
レバーを押し下げている間、高速で作動します。

霧や小雨のときなどに使うと便利です。

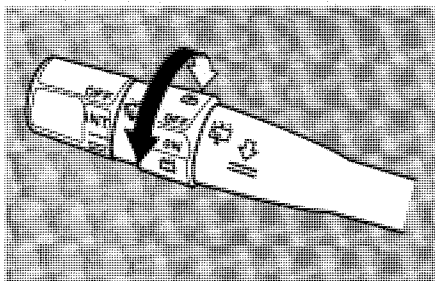



### ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。



### ●リヤガラス



- OFF …………… 停止  
 ON …………… ワイパーが作動します。  
 …………… スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

### △注意

- 表が凍結したフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。  
 ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

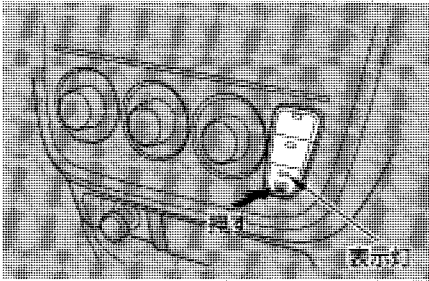
### 🎓知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。  
 ウォッシャー液がないままで動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでヒーターでフロントガラスを暖めてください。  
 凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。  
 デフロスター →141ページ
- ワイパーアームを起こした状態でワイパーを動かさないでください。  
 立てたまま動かすと、ワイパーがガラスに強くあたりガラスが傷つくおそれがあります。

## リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取ることができます。

▼  
エンジンスイッチが「II」のときスイッチを押すと「ON」になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと「OFF」になり、作動表示灯は消灯します。



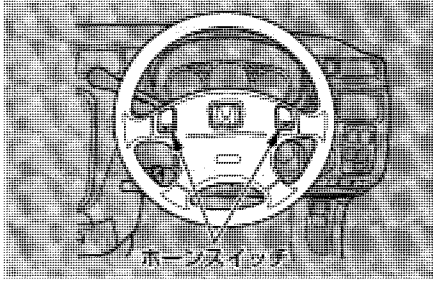
## 知識

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたら「OFF」にしてください。「ON」のままであっても、約25分経過後自動的に「OFF」になります。また、エンジンの回転が低いとき長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。
- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。



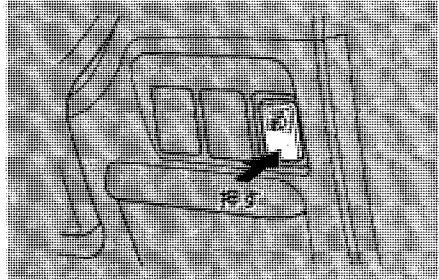
### ホーンスイッチ

ハンドルにあるスイッチを押すとホーンが鳴ります。



### フォグライトスイッチ

ライトスイッチが“OFF”以外のときスイッチを押すとフォグライトが点灯します。同時にスイッチ内の表示灯が点灯します。もう一度押すと消灯します。



# 運転のしかた

## エンジンのかけかた

### ⚠警告

- バッテリーが不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。  
バッテリーが破損するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところではエンジンをかけたままにしないでください。  
室内や屋内などに排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

### ⚠注意

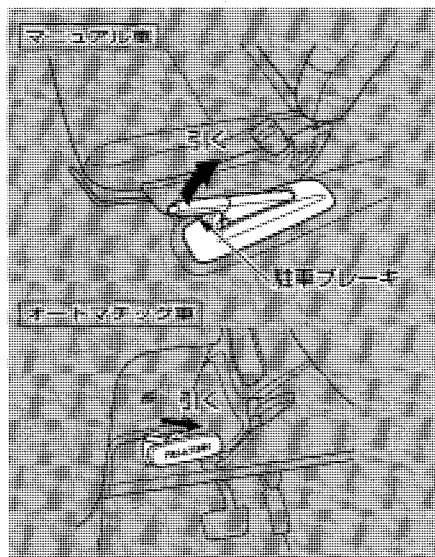
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- **マニュアル車**  
息絶したエンジンをつけないでください。  
チェンダレジャーがNにオートマシフトが入っていると車が急に動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### 🔧アドバイス

- 排気量が変わった時、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずホンダ販売店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作 →96ページ



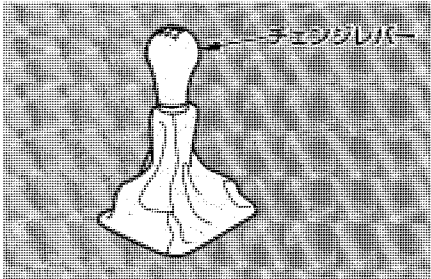




## ② マニュアル車

チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

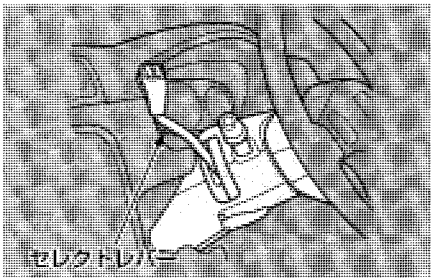
チェンジレバーの操作 →98ページ



## オートマチック車

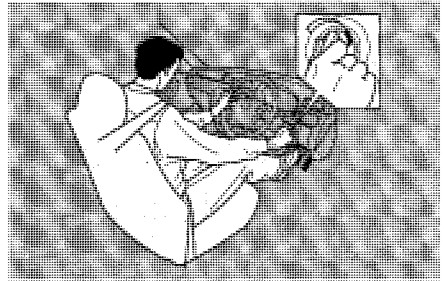
セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →100ページ



③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。マニュアル車は、クラッチペダルもいっばいに踏み込んで行きます。

④アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



## 知識

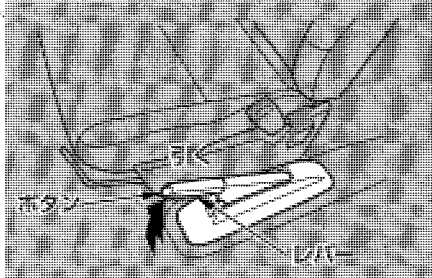
- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは"OFF"にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを"1"に戻して10秒以上待ってから再始動してください。
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

## パーキングブレーキ

### かけるとき

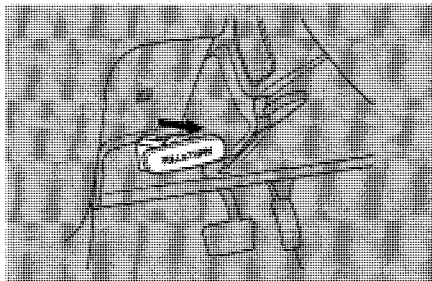
#### マニュアル車

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



#### オートマチック車

ハンドルをいっぱいに引きます。

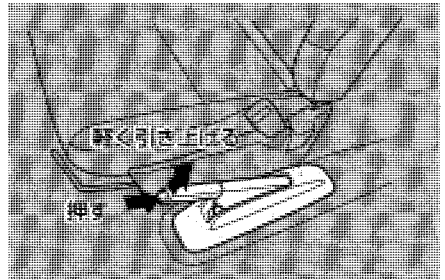


後輪ブレーキがききます。

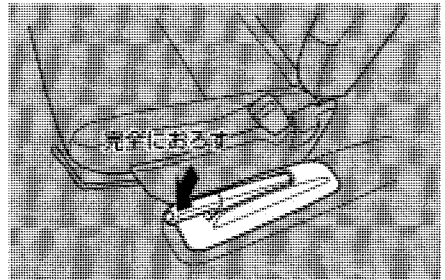
### 解除するとき

#### マニュアル車

①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



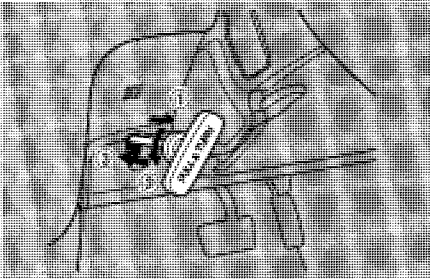
②ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。





### オートマチック車

ハンドルを手前に引きながら約45° 左へ回転させ、そのまま前方へ戻します。



### △注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

### ◆知識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの取り扱い →232ページ

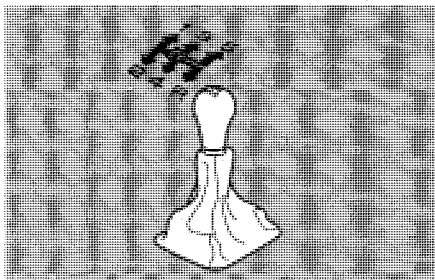
### オートマチック車

- パーキングブレーキを確実に解除するために、ハンドルを完全に戻してから手を放してください。
- パーキングブレーキを解除するときは、ハンドルを手前に引いてから回さないと約100° までロック状態を保持します。それ以上回せば解除されます。

## チェンジレバーの操作

マニュアル車

### ●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

### Rに入れるとき

誤操作を防ぐために、5からRへは直接入れられません。一度Nへ戻してからRに入れてください。

### ⚠️ アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

### ●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

チェンジレバーの位置	速度範囲
1	0～50km/h
2	20～85km/h
3	30～125km/h
4	35km/h～
5	45km/h～



### △注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。ソフトダウンする際の車速には十分注意してください。

### 🚗アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(ソフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数 ..... 6,700rpm

### 🎓知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

## セレクトレバーの操作

オートマチック車

### ●それぞれの位置のはたらき

P

パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。  
キーを抜く位置。

#### 知識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

R

リバース

車を後退(バック)させる位置。  
チャイムが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを運転者に知らせます。

N

ニュートラル

中立位置。  
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)

D

ドライブ

通常の走行をする位置。  
O/DスイッチONのときは、1速から4速まで自動的に変速されます。  
O/DスイッチOFFでは、1速から3速まで自動的に変速されます。

2

セカンド

エンジンブレーキが必要なときや、雪道などの滑りやすい路面での発進に使う位置。  
(2速のままに変速されません。)

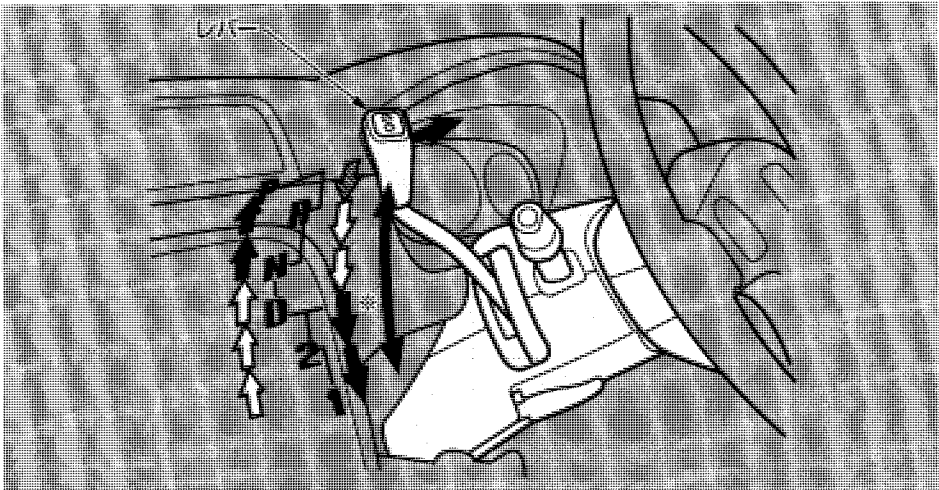
1

□一

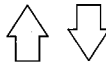
強力なエンジンブレーキが必要なときに使う位置。  
(1速のままに変速されません。)



### ●セレクトレバーの動かしかた



ブレーキペダルを踏んだまま、レバーを手前に引いて操作します。



そのままレバーを操作します。



レバーを手前に引いて操作します。

※：いっぱい引くと回に入らないようになっています。少し引いて操作してください。

### 📖 知識

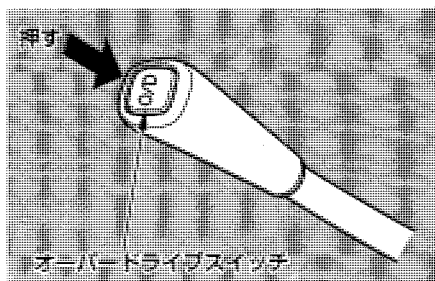
- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- 回るときは、レバーを手前に引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが「1」または「0」のときは、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられません。
- いつもレバーを引いて操作すると意に反して回回回回に入れてしまうおそれがあります。

↑ ↓ の操作は、レバーを引かずに動かす習慣をつけてください。

●**オーバードライブ(O/D)スイッチ**  
スイッチを“ON”にしておくと回の位置で走行中、4速ギヤに入り、低いエンジン回転で走行ができ、燃費や静粛性に効果があります。

- ・スイッチを押すごとにONとOFFに切り換わります。
- ・OFFのときオーバードライブOFF表示灯が点灯します。

(→79ページ参照)



#### **スイッチがONのとき**

通常走行に適します。  
速度によりギヤが1速から4速に自動変速します。

#### **スイッチがOFFのとき**

ゆるい坂道走行などに適します。  
速度によりギヤが1速から3速まで自動変速します。  
下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。  
上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。

#### **知識**

- エンジンスイッチをOFFにするとオーバードライブ(O/D)スイッチはONの状態にもどります。





### ●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各セレクトレバー位置での速度範囲内で切り換えを行ってください。

セレクトレバーの位置		速度範囲	変速範囲
D	ODスイッチON	0 km/h～	1↔2↔3↔4速
	ODスイッチOFF	0～155km/h	1↔2↔3速
2		0～110km/h	2速固定
1		0～60km/h	1速固定*

\*：急激なエンジンブレーキによるショックを避けるため50km/h以上で1へ切り換えた場合は、一旦2速に入ります。

### ▲注意

- 濡りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の減速には、十分注意してください。

### 🎓知識

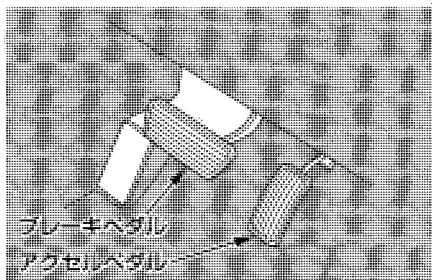
- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

## オートマチック車の 運転のしかた

オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になります。が、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

## エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



### 📖 知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。  
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



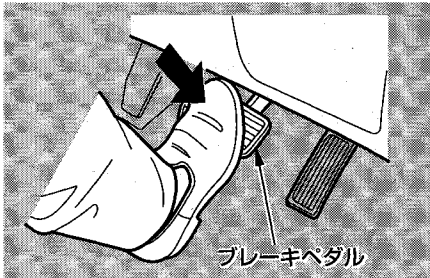
## エンジン始動

- ①パーキングブレーキがかかっていることを確認。
- ②セレクトレバーが回に入っていることを確認。

### 知識

- Ⓐ**でも始動できますが、安全のため駆動輪が固定される**Ⓐ**で行ってください。

- ③ブレーキペダルを右足で踏んで始動。

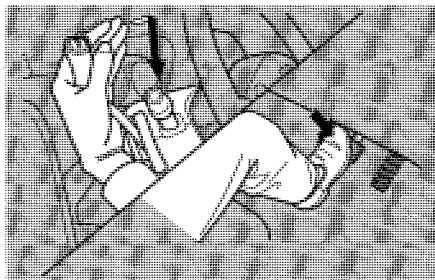


### 知識

- 始動時にアクセルペダル操作が必要な場合は、始動後、右足でブレーキペダルを踏んでください。

## 発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進は回、後退は回に入れる。



## ▲注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して他の乗客の怪傷になります。

## 🎓 知識

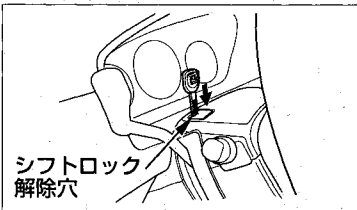
- 助手席回転シートが前向きでロックされていないときは、セレクトレバーを回の位置から他の位置へ切り換えられません。
- セレクトレバーを回回以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーを引いたままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。



- ②レバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で再確認。
- ③パーキングブレーキをもどす。
- ④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。  
(→82ページ)
- ⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

### 知識

- マニュアル車は、発進時の速度を、クラッチ操作とアクセル操作を併用して調節しますが、オートマチック車は、アクセル操作のみで行うので、アクセル操作は慎重に行ってください。
- 万一、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



### 急な坂道での発進

セレクトレバーの位置をメーター内のセレクトポジション表示灯で確認し、

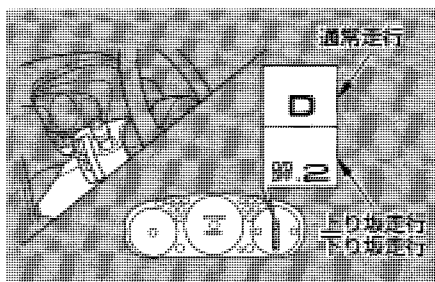
- ・パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルを離し、
- ・アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・車が動き出す感触を確認しながら、
- ・パーキングブレーキをもどして発進。

## 走行

走行中はセレクトレバーをⅡにしないでください。

### 知識

- Ⅱにするとエンジンブレーキが全くきかなくなるため思わぬ事故の原因になります。  
またⅡにしても燃費の差はほとんどありません。



### 注意

- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱しききが弱くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →16ページ

### 通常走行

セレクトレバーをⅡにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、1速から4速まで自動的に変速されます。

### 注意

- 急加速中に過熱した油が入り込んでください。急激なエンジンブレーキがかかり、タイヤがスリップしたら、エンジンが過熱になり故障することがあります。

### 急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

### 上り坂走行

坂の勾配に応じ、O/DスイッチOFFまたはⅡにしておく、エンジン回転の変化がすくない、なめらかな走行ができます。

### 下り坂走行

下り坂をⅡのまま走行すると、エンジンブレーキのききが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。

このようなときは、O/DスイッチをOFFまたはⅡにします。

さらに強力なエンジンブレーキが必要なときはⅡにします。



## 停車

- ①回のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。  
必要に応じてパーキングブレーキをかける。

### アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、止り坂でP/N以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

### 知識

- 急な上り坂での停車はクリーブ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが回N以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリーブ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。

- ②停車時間が長くなるときはセレクトレバーをNに入れる。

### 注意

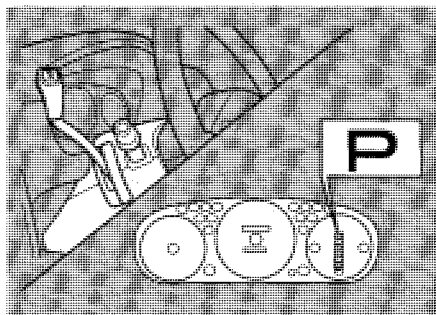
- 停車時、急なふかしのしないでください。ブレーキペダルがP/N/N以外で、急なふかしの原因になります。

### 知識

- 停車後、再発進するときは、思い違いのないようセレクトレバーが回にあることを確認してください。
- セレクトレバーがNでもエンジンが冷えているときは、トランスミッションオイルの粘性により車がわずかに動き出すことがありますので、ブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。

## 駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



### 知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

### 注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クレーブ現象で車がひとりでに動き出した。また、急な急減速によってアクセルペダルを踏み急減速するおそれがあります。

### アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入らないでください。トランスミッション破壊の原因となります。

### 知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。





### ほかに気をつけたいこと

#### 車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

#### 車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。

---

Blank writing area with a solid top line, a solid bottom line, and 21 horizontal dashed lines in between.



## 安全装備

### ●SRSエアバッグシステム

#### SRSエアバッグシステムの

しきみ	114
作動するとき	116
作動しないとき	117

#### SRSエアバッグシステムの

効果を十分に発揮させる ために	118
お子さまを乗せるときは	119
取り扱いについて	120

### ●シートベルト

#### プリテンショナー

シートベルトプリテンショナー のしきみ	122
取り扱いについて	123

### ●アンチロックブレーキシステム

#### (ABS)

ABSのしきみ	124
運転のしかた	124
取り扱いについて	125

### ●ビークルスタビリティ

#### アシスト(VSA)

VSAのしきみ	126
運転のしかた	127
取り扱いについて	128

### ●四輪駆動機構(4WD)

運転するとき	130
取り扱いについて	130

### ●その他の安全装備

	131
--	-----

# 3

# SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

## SRSエアバッグシステムのしくみ

### ●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。**必ず、シートベルトを着用してください。**

### ▲警告

- SRSエアバッグシステムは、必ずしも、必ずしもシートベルトを着用してください。シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとり、衝突などの場合、SRSエアバッグが効果的に発火されず、重大な怪傷や死亡などの危険性が低くなります。

\*SRS：サブプリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

### ●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

### ▲注意

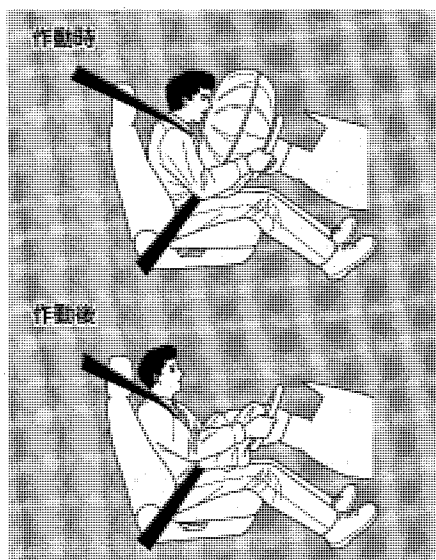
- SRSエアバッグが膨らんだ直後、SRSエアバッグが膨らんだ直後に離れなしてください。構成部品が熱くなっているため、けがや火災の原因になることがあります。



### 🏠 知識

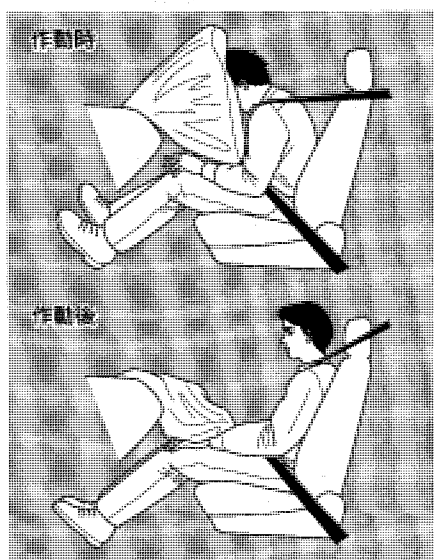
- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、SRSエアバッグとの接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼみます。視界をさまたげません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。  
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。  
ホンダ販売店で交換してください。

### 運転席用SRSエアバッグシステム



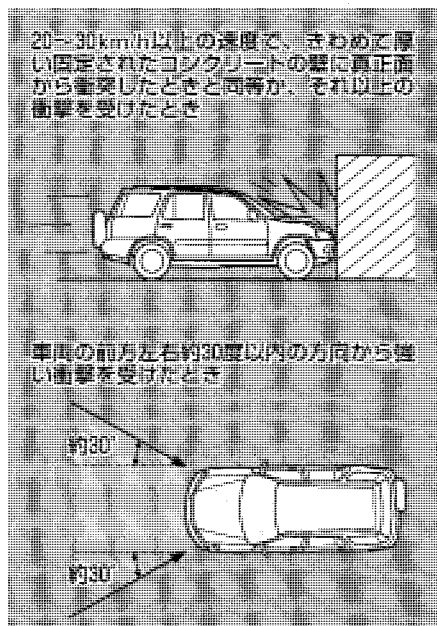
### 助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用SRSエアバッグシステムは、同乗者がいなくても作動します。



## 作動するとき

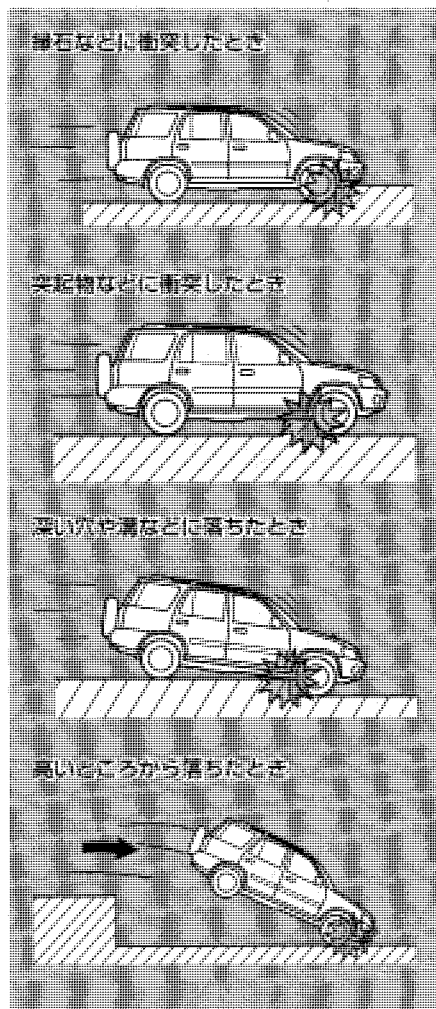
次のような場合に作動します。



### 知識

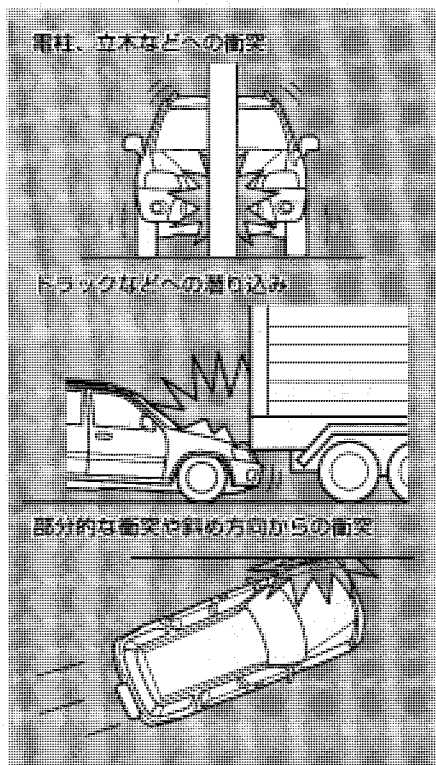
- 衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。





衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

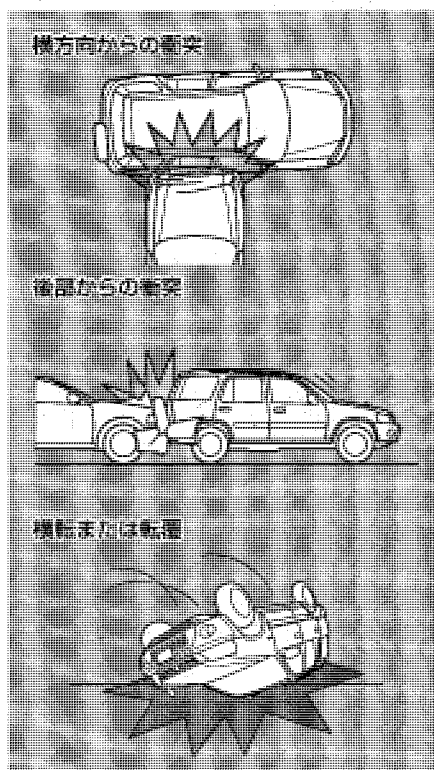


#### ◆ 知識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

### 作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がありませんので作動しません。



#### ◆ 知識

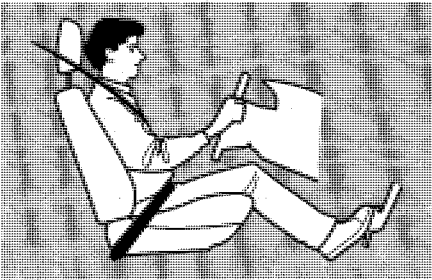
- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

## SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

### ●正しい乗車姿勢で

#### 運転席

正しい運転姿勢(シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる状態)がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

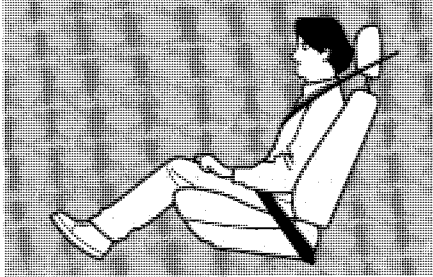


**⚠ 警告**

- ハンドルに頭や腕などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

#### 助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



**⚠ 警告**

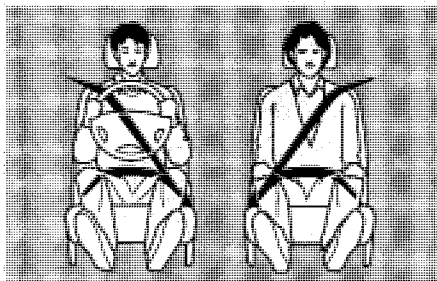
- インストルメントパネルに頭や腕などを近づけたり、シートを後ろに下げすぎると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。





### ●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



### お子さまを乗せるときは

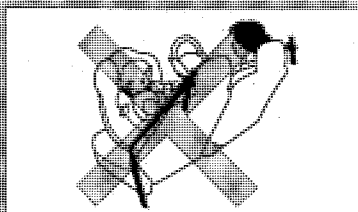
お子さまは、後席に乗せ必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートなどをお使いください。

### ●チャイルドシートなどの取り付けについて

#### ▲警告

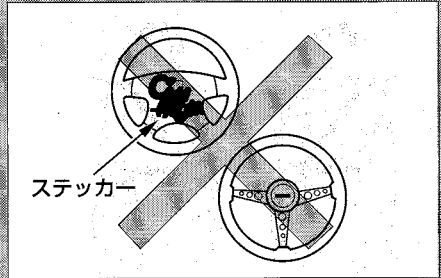
- 取手箱にはベビーシートを取り付けしないでください。また、チャイルドシートを乗る前に取り付けてください。SRSエアバッグが膨らむ際、ベビーシートや、チャイルドシートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。また、やむを得ず取手箱に取り付ける場合は、SRSエアバッグから溢びるため、シートを一番後ろに下げてください。



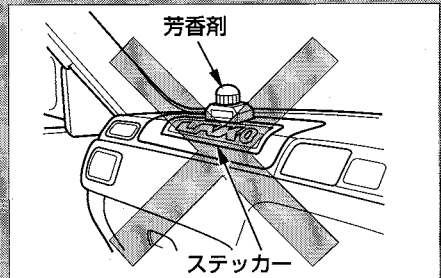
## 取り扱いについて

### ⚠ 注意

- SRSエアバッグの取り外し、分解などはしないでください。  
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インstrumentパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。  
フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。  
また、SRSエアバッグと乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。  
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物かとぶことがあります。



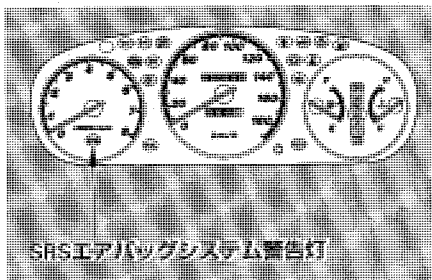


### 知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダ販売店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずホンダ販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(ホンダ純正品を除く)

### ●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

### アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダ販売店で点検を受けてください。
  - ・運転中に点灯したとき
  - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
  - ・必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

# シートベルトプリテンショナー

## シートベルトプリテンショナーのしくみ

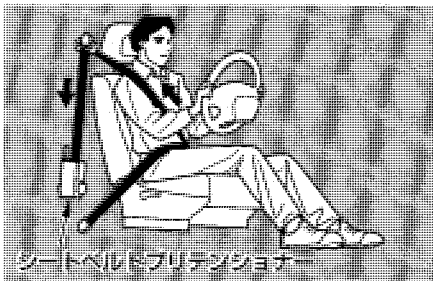
### ●シートベルトプリテンショナーとは

前方向からの衝突により、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。SRSエアバッグシステムと同じ条件で作動します。

SRSエアバッグシステム →114ページ

### ●どのように作動するか

エンジンスイッチが「II」のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、前席シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



### ▲注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。守らないとプリテンショナーが作動し、乗客を殺傷しませぬ。
  - ・シートベルトを正しく着用してください。
  - シートベルト →132ページ
  - ・正しい運転・乗車姿勢をとってください。
  - 正しい運転姿勢 →46ページ

### ▲知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。ホンダ販売店で交換してください。なお、シートベルトを着用していなくても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



## 取り扱いについて

### ▲注意

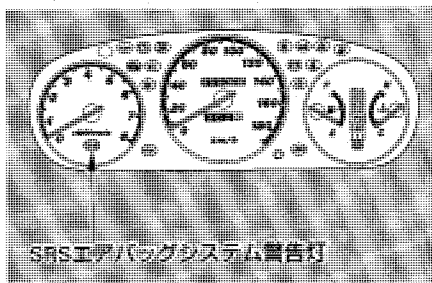
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。不適切な取扱いによって作動したり、正常に機能しなくなります。

### ◆知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずホンダ販売店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずホンダ販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

### ●シートベルトプリテンショナー警告灯(SRSエアバッグシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



SRSエアバッグシステム警告灯

エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

### 🚗アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダ販売店で点検を受けてください。
  - ・ 運転中に点灯したとき
  - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
 必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

# アンチロックブレーキシステム (ABS)

## ABSのしくみ

### ●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

### ●作動について

- ・ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- ・低速(約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動にります。

### 🏠 知識

- エンジン始動時や、エンジンが冷えているときの発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

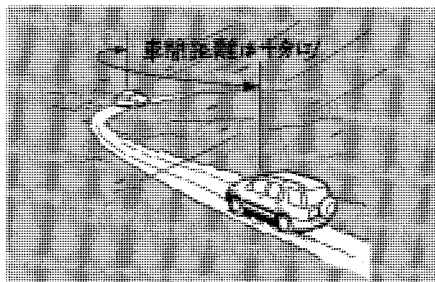
## 運転のしかた

- ・この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- ・悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなる場合があります。

このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





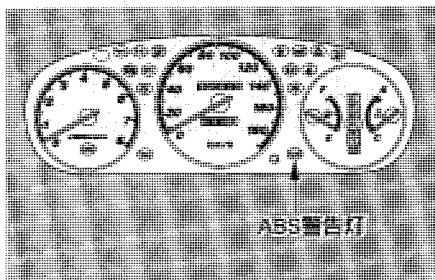
## 取り扱いについて

### 知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなる可能性があります。

### ●アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを「II」にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

### アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにホンダ販売店で点検を受けてください。
  - ・運転中に点灯したとき
  - ・エンジンスイッチを「II」にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

# ビークルスタビリティアシスト(VSA) (車両挙動安定化制御システム)

タイプ別注文装備

## VSAのしくみ

### ●VSAとは

ABS機能、TCS機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

### ABS(アンチロックブレーキシステム)

#### 機能

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする機能です。

### TCS(トラクションコントロールシステム)

#### 機能

滑りやすい路面などでの駆動輪(前後輪)の無駄な空転を防止し、駆動力・操舵能力を確保しようとする機能です。

### 横滑り抑制機能

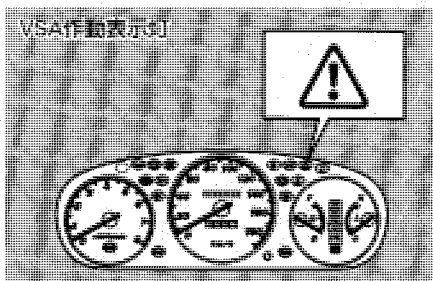
急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。

### ●作動について

TCS機能は、エンジンを始動すれば自動的に“ON”になります。

横滑り抑制機能は、通常エンジン運転中に車速が約20km/h以上になると作動可能状態になります。

TCS機能または横滑り抑制機能が作動中は、メーター内のVSA作動表示灯が点滅します。



### 🎓 知識

- 発進時等にエンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

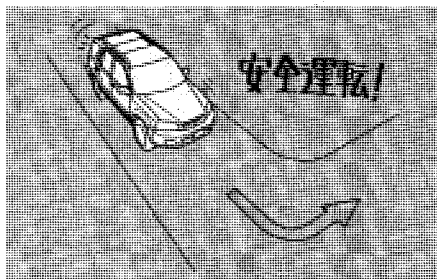




## 運転のしかた

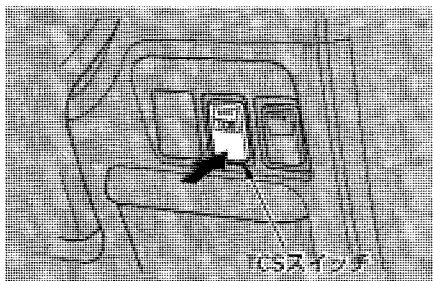
VSAが作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。

- カーブの手前では十分に速度を落としてください。
- 雪道、凍結路を走るときは、冬用タイヤまたはタイヤチェーンを装着し、ひかえめな速度で運転してください。



### TCSを作動させたくないとき

エンジン始動後に、スイッチを押すとTCSが“OFF”になりメーター内の“TCS OFF”表示灯が点灯します。



スイッチを押すごとに“OFF”と“ON”をくり返します。

### 知 識

- TCSが作動中には、スイッチを押しても“OFF”にすることはできません。

## 取り扱いについて

### アドバイス

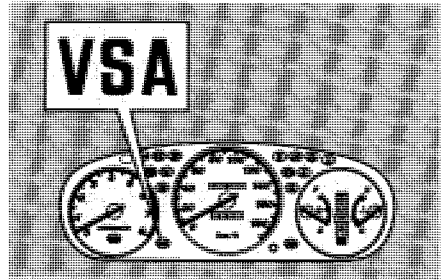
- VSA装置車は四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなる場合があります。また、応急用スペアタイヤを装着した場合も、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

### 知識


- エンジン始動時に、エンジン冷却水の温度が非常に低いときには自動的にTCS機能が“OFF”になることがあります。メーター内の表示灯が点灯しますが異常ではありません。この場合、エンジンを暖機している間に自動的に“ON”になります。

### ●ビークルスタビリティアシスト (VSA)警告灯


メーター内に組み込まれており、VSAが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。

 **アドバイス**

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの動作が考えられますので、すみやかにホンダ販売店まで連絡を受けてください。
  - ・運転中に点灯したとき
  - ・エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないときなお、この場合でも通常走行には支障はありません。

 **知識**

- けん引されたときやけん引したときは、警告灯が点灯することがあります。この場合はエンジンを再始動させて警告灯が消灯すればVSAは正常です。
- ABS警告灯が点灯するとVSA警告灯も同時に点灯します。

## 運転するときは

四輪駆動車(4WD車)は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において二輪駆動車(2WD車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。

4WD車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行はしないでください。
- ・渡河などの水中走行はしないでください。
- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。

## 知識

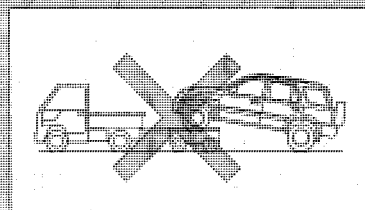
- 4WDの状態で行進中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。  
しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

## 取り扱いについて

### アドバイス

- 四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗具合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に影響をあたえます。
- けん引される場合、前輪または後輪を台車に載せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

けん引 → 取付ページ





## その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

### ●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。  
(→21ページ)

### ●後席三点式シートベルト

上半身も拘束する三点式シートベルトを後席(外側2座席)にも採用しています。  
(→70ページ)

### ●シートベルト警告灯

シートベルトの未着用をランプで知らせ、ベルトの着用を促します。  
(→83ページ)

### ●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

### ●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

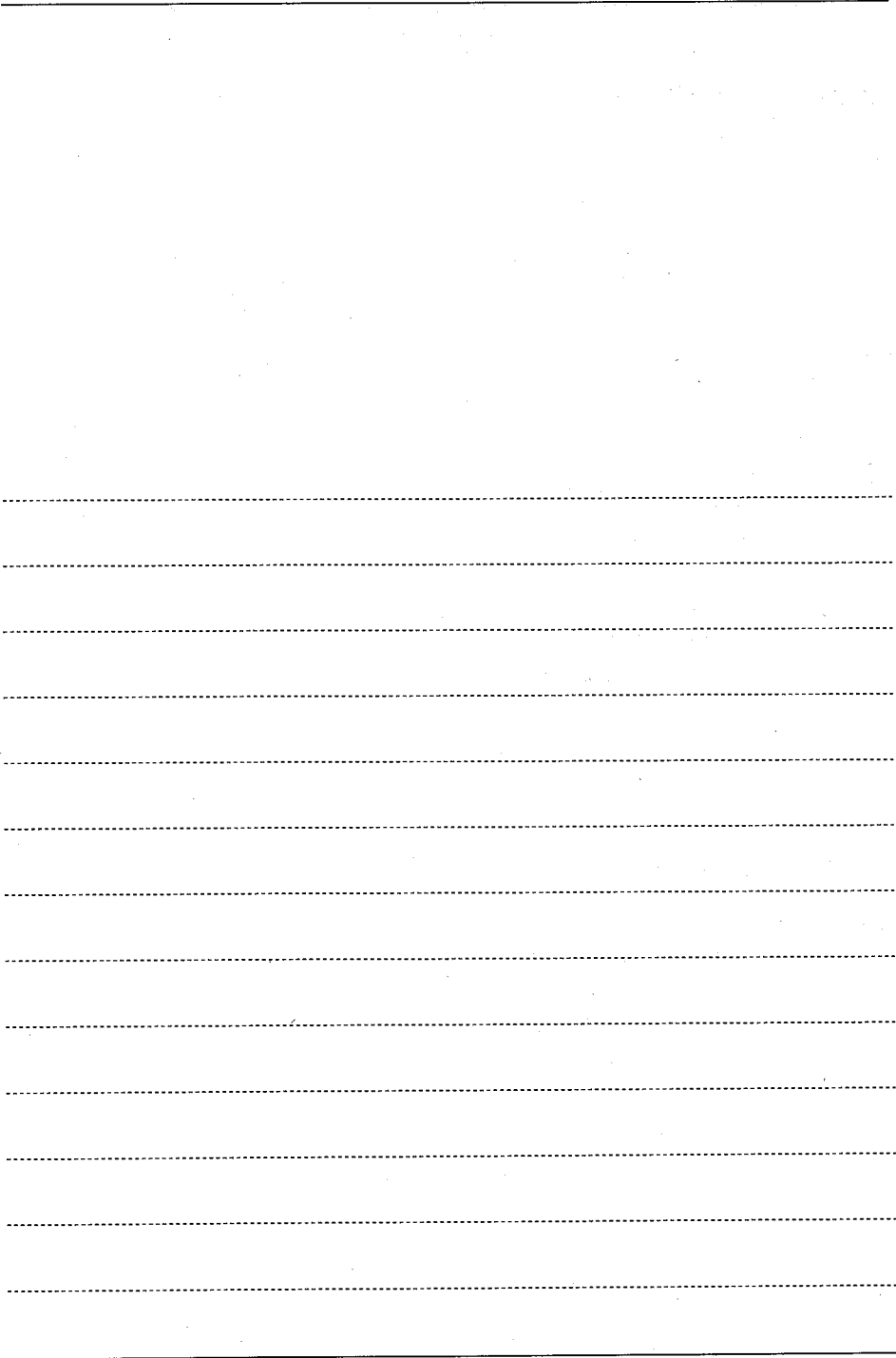
### ●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

### ●リヤワイパー

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→91ページ)



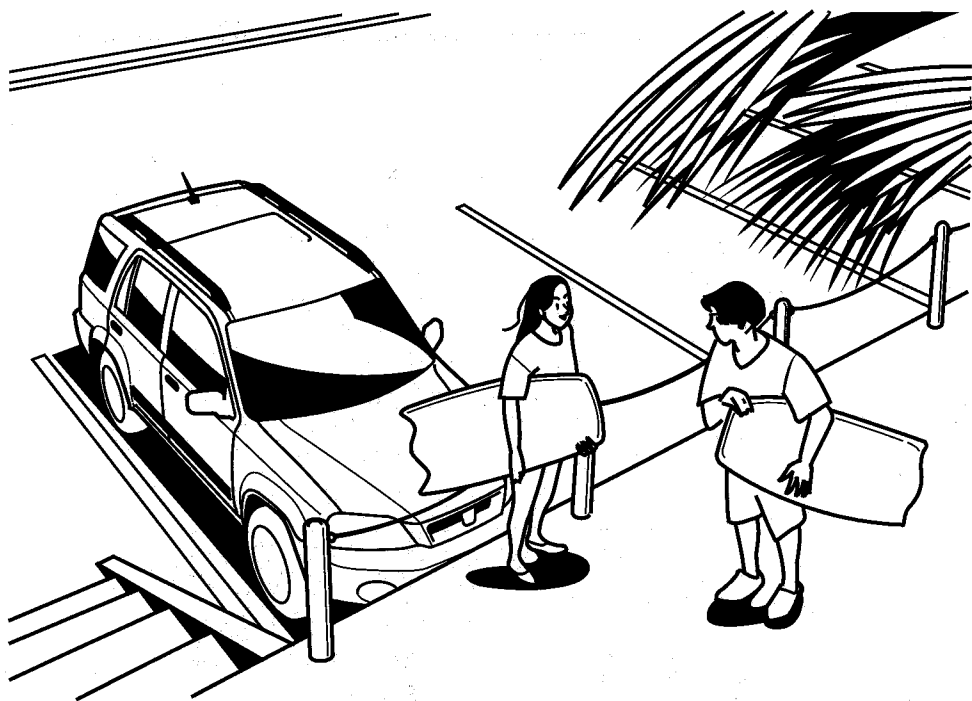


---

Handwriting practice lines consisting of 18 horizontal dashed lines.

---





## ドライブを快適にする装備

### ●エアコン

- 吹き出し風の調節……………137
- オートエアコン……………138

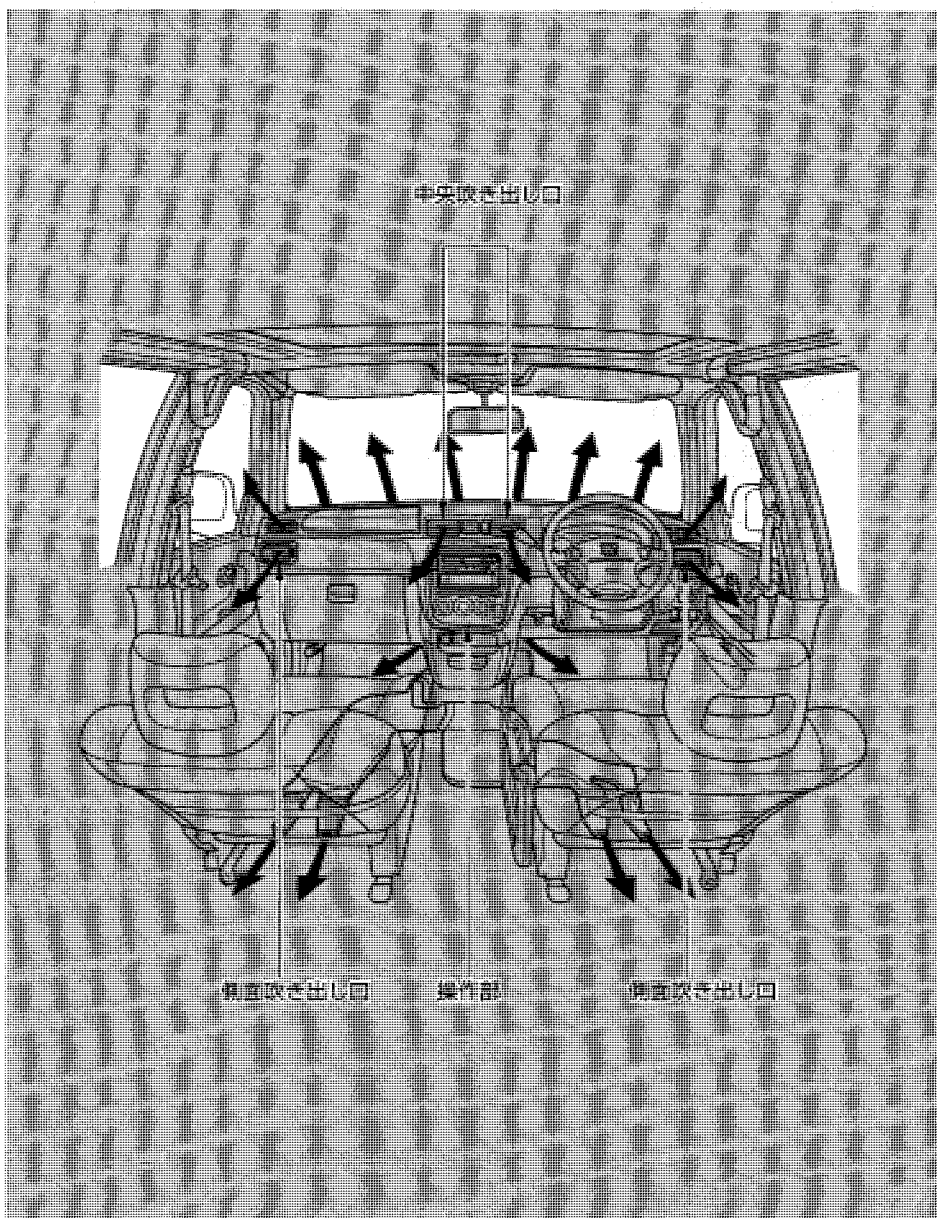
### ●オーディオ

- 上手な使いかた……………144
- アンテナ……………146
- オーディオインデックス……………147
- AM/FMラジオ一体式  
カセットステレオ……………148

### ●室内装備品

- 時計／外気温表示……………158
- 室内灯……………160
- カーゴルームランプ……………161
- スポットランプ……………161
- エンジンスイッチ照明灯……………161
- シガレットライター……………162
- 灰皿……………163
- サンバイザー……………164
- アクセサリースOCKET……………164
- センターテーブル……………165
- カップホルダー……………166
- ビルトインテーブル……………168
- 小銭入れ(コインボックス)……………170
- 小物入れ……………170
- 荷物フック……………173
- カーゴネット……………174

# エアコン

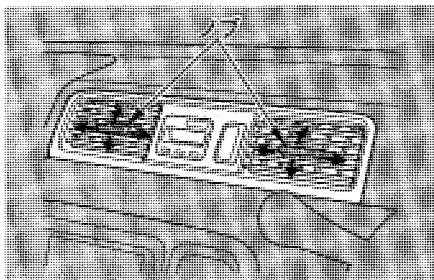




### 吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

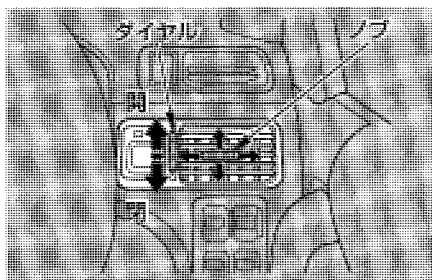
#### ・中央吹き出し口



#### ・側面吹き出し口

ダイヤルで開閉できます。

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回して吹き出し風の量を調節します。



#### 知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

## オートエアコン

エンジンをかけた状態で使います。

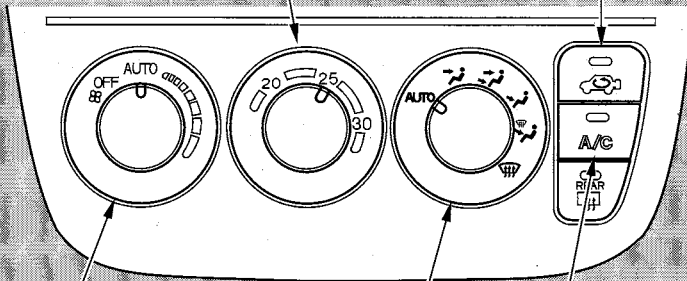
### 温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を設定します。  
表示温度は室温設定時のめやすとなります。

### 内外気切り換えボタン

ボタンを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。

トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。



### 吹き出し口切り換えダイヤル

### ファンスピード切り換えダイヤル

ダイヤルの位置	OFF	AUTO	.....
風量	停止	自動切換	弱↔強

### エアコンスイッチ

ファンスピード切り換えダイヤルが"OFF"以外のとき、スイッチを押すとエアコンが作動します。(表示灯点灯)

冷房や除湿暖房をするときに使います。

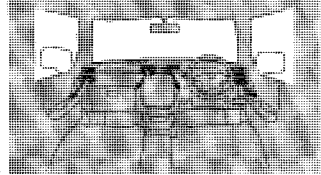


## 吹き出し口切り換えダイヤル

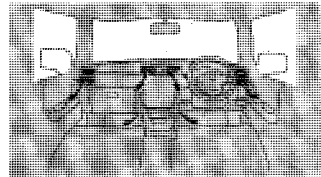
AUTOにすると、吹き出し口は自動で切り換わります。ただし、側面の吹き出し口からはいつでも風がでます。

ダイヤルを回すと吹き出し口が切り換わります。

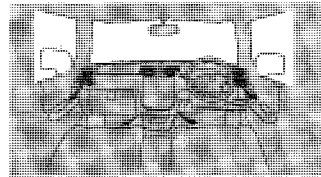
上半身に送風したいとき



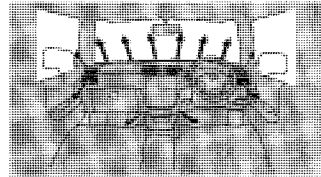
上半身、足元に送風したいとき



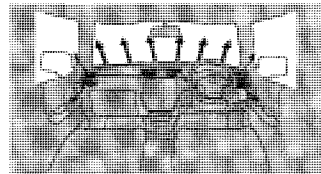
足元に送風したいとき



足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



窓ガラスの曇りを取りたいとき



---

### 通常の使いかた

- ①ファンスピード切り換えダイヤルを**AUTO**にします。
- ②吹き出し口切り換えダイヤルを**AUTO**にします。
- ③温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。
- ④冷房や除湿暖房をするときは、エアコンスイッチを入れます。

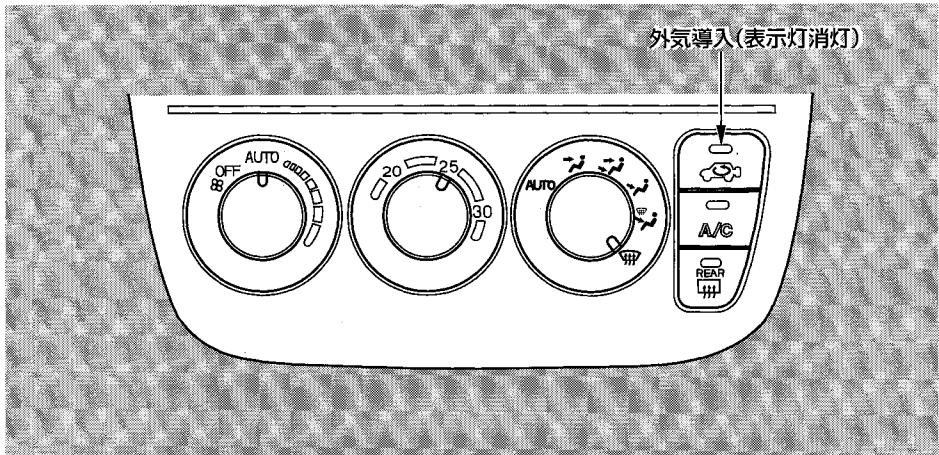
停止するときはファンスピード切り換えダイヤルを**OFF**にします。

### 知識

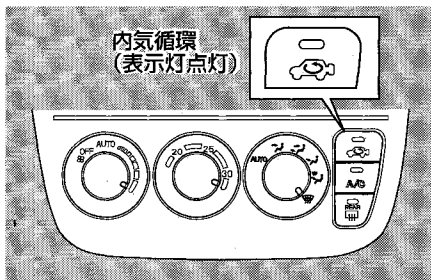
- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、熱気を追い出すため窓を開け、冷房を開始してください。



### ●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)



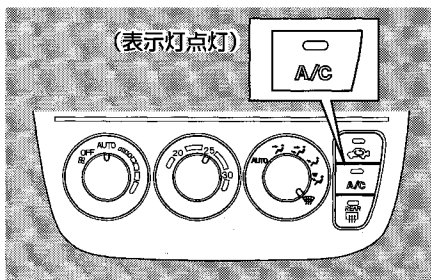
#### 急速に霜を取りたいとき



#### 🎓 知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界のさまたげになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。

#### 梅雨時など湿度の高いとき



#### 🎓 知識

- エアコンスイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあるとガラスの外側が曇ることがあり、視界のさまたげになります。

## ●エアコンを常用しないとき

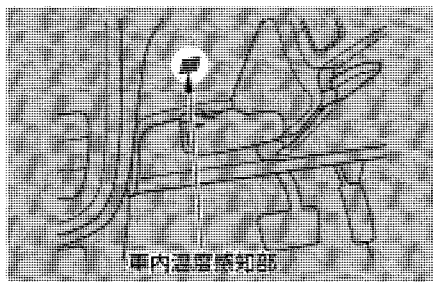
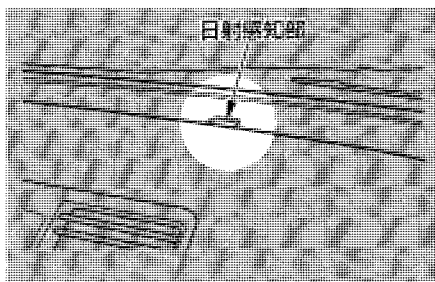
装置各部のオイルをきらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

### 知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからエアコンスイッチを入ると作動します。

## ●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



## ●エアクリーンフィルター

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリーンフィルターが取り付けられています。

エアクリーンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに、ホンダ販売店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

ホンダ販売店で点検を受けてください。



#### 4. ドライブを快適にする装備

エアコン



# オーディオ

## 上手な使いかた

### 知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転のさまたげとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

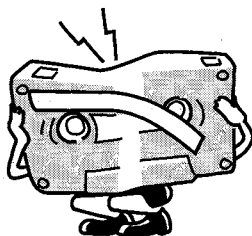
### ●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

### ●カセットについて

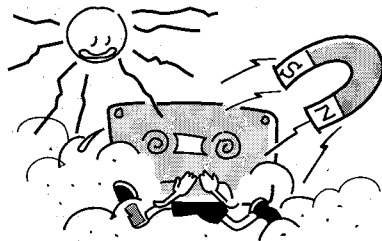
次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。



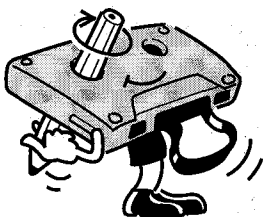
- 120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。





カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

#### ●CD/MDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

#### CD

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

**COMPACT**  
**disc**  
**DIGITAL AUDIO**

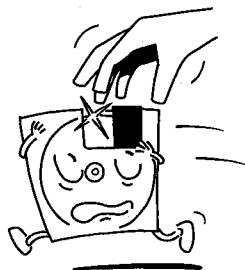
#### 知識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

#### MD

シャッターを無理にあげないでください。こわれることがあります。

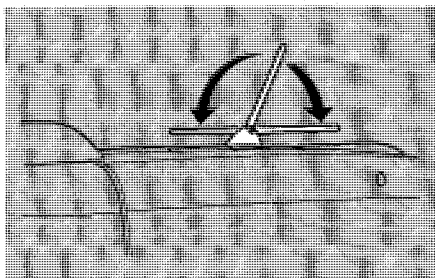
また、ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。



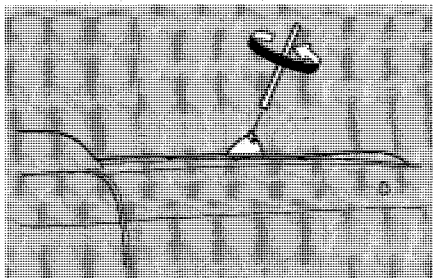
## アンテナ

### ●センターアンテナ

#### 倒しかた



#### 外しかた



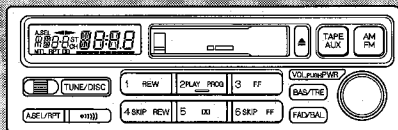
#### 知識

- 自動洗車機を使用する場合は、アンテナを外して使用してください。



## オーディオインデックス

## AM/FMラジオ一体式カセットステレオ

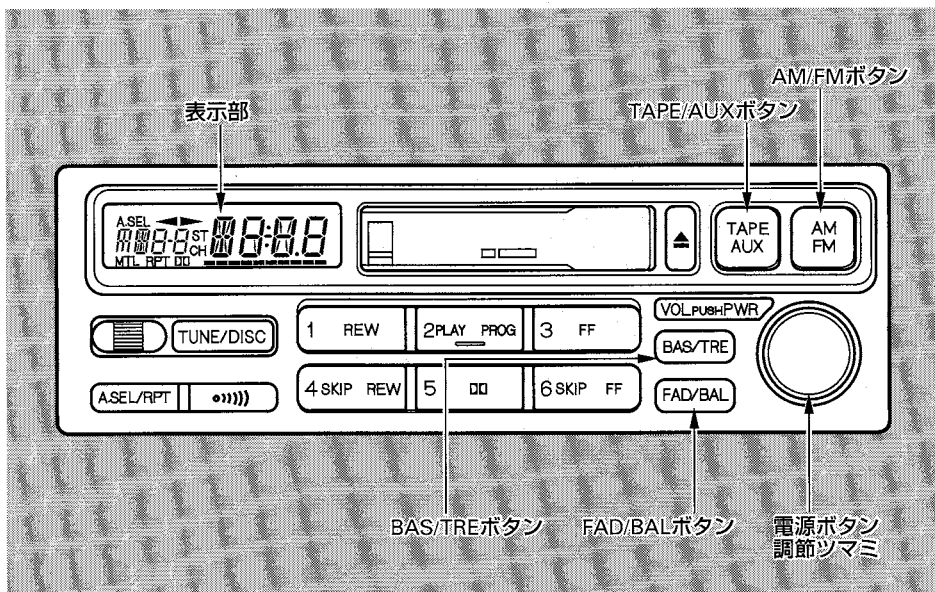


- 電源の入れかた ..... 148
- 音量調節のしかた ..... 148
- 音質、バランス調節のしかた ..... 149
- モードの切り換えかた ..... 149
- ラジオの使いかた ..... 150
- カセットプレーヤーの使いかた ..... 152
- CDチェンジャーコントローラー等  
（CD/MDチェンジャー、CD/MDプレーヤー等の接続時）  
使いかた ..... 154
- エラーコード ..... 156

ナビゲーションシステム装備車のオーディオ・テレビの取り扱いについては、別冊のナビゲーションシステム取扱説明書をご覧ください。

## AM/FMラジオ体式カセットステレオ

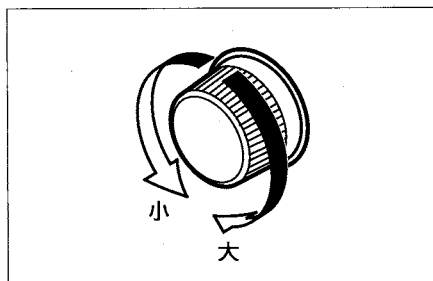
エンジンスイッチが“I”または“II”のときに使えます。



### ●電源の入れかた

電源ボタンを押して、電源を入れます。  
押すたびに“ON” ↔ “OFF”になります。  
また、AM/FMボタン、TAPE/AUXボタンを押して、電源を“ON”にすることもできます。

### ●音量調節のしかた





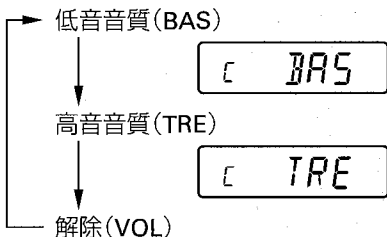
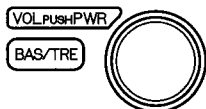
## ●音質、バランス調節のしかた

### 知識

- 調節後約5秒すぎると自動的に解除されます。
- 調節位置が中央のときに表示部に“C”(センター)を表示します。

### 音質調節

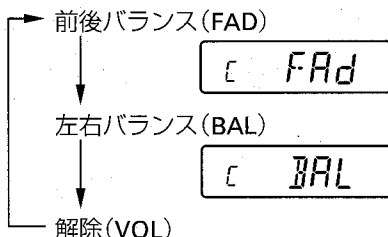
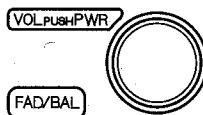
BAS/TREボタンを押して切り換え、調節ツマミ(VOL)で調節します。



BAS/TREボタンを押すたびに切り換わります。

### バランス調節

FAD/BALボタンを押して切り換え、調節ツマミ(VOL)で調節します。



FAD/BALボタンを押すたびに切り換わります。

### ●モードの切り換え

- ・AM/FMボタン



ラジオに切り換わります。

- ・TAPE/AUXボタン

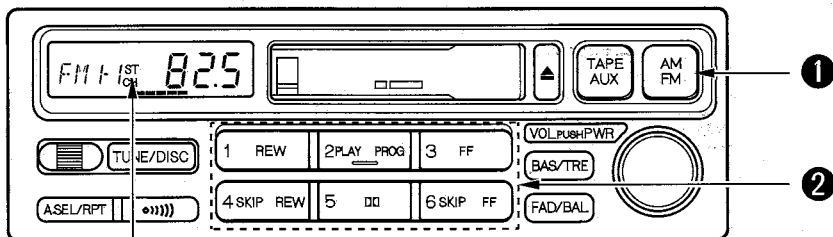


カセットテープが入っているときに押すと、テープ演奏に切り換わります。

別売のCD/MDチェンジャーやCD/MDプレーヤー等を接続しているときに押すと、それらのディスク演奏に切り換わります。

## ●ラジオの使いかた

### ラジオ放送のききかた



FMステレオ放送が感度よく受信できたときは、“ST”が点灯します。

#### ①ラジオに切り換え、バンドを選ぶ(AM/FMボタン)

ボタンを押して、AM/FM1/FM2を選びます。

#### ②選局する(ワンタッチ選局ボタン)

あらかじめ放送局をセットしておく、ワンタッチで選局できます。

AM 6局、FM12局(FM1、FM2それぞれ 6局)まで記憶できます。

### 自動で放送局を記憶するには(オートセレクト)

放送局の違う地域へ出かけたとときなど、セットされた放送局が聞けなくなった場合に操作します。

オートセレクトボタンを押します。(“A.SEL”が点滅)

ASEL/RPT

自動選局された電波の強い放送局が、周波数の低い順からワンタッチ選局ボタンにAM 6局、FM 6局まで自動的に記憶され“A.SEL”が点滅から点灯に変わります。

解除するときは、ボタンをもう一度押します。解除すると、ワンタッチ選局ボタンの記憶は、オートセレクトをする前の状態に戻ります。

### ■ 知識

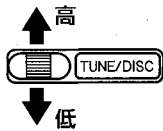
- 放送局が 6 局にみえない場合、残りのボタンには何も記憶されません。記憶されていないボタンを押すと、周波数が“0”と表示されます。
- オートセレクトされた放送局を個別に変更することもできます。





### ワンタッチ選局のセットのしかた

- ①AM/FMボタンでAM/FM1/FM2を選びます。
- ②選局スイッチで選局します。



- 短く押すと、押すたびに受信周波数が少しづつ変わります。(手動選局)
- “ピッ”という電子音がするまで押すと、自動選局になり放送を受信すると止まります。

#### 知識

- 受信電波が弱いときは、自動選局できないことがあります。このようなときは手動で選局してください。

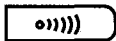
- ③ワンタッチ選局ボタンのいずれか一つを“ピッ”という電子音がするまで(約2秒間)押し続けます。

#### 知識

- 一度電源が切れた場合(バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど)、記憶が消去されます。そのときは再度記憶操作をしてください。

### 交通情報をきくとき

交通情報ボタンを押すと、ワンタッチで交通情報を受信できます。(“TI”が点灯)  
周波数を切り換えるとき(1620kHz↔1629kHz)  
…選局スイッチを押します。



#### 解除するとき

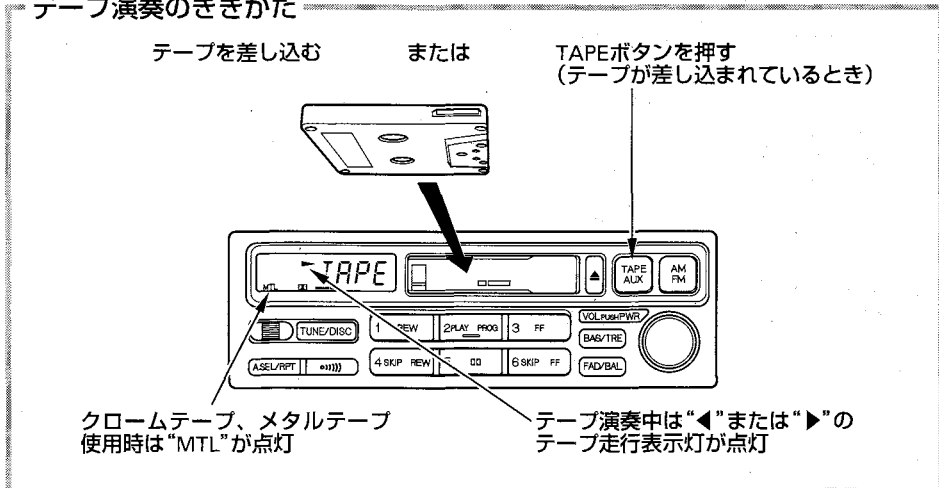
交通情報ボタンをもう一度押します。他のモードに切り換えたときも解除されます。

#### 知識

- 交通情報ボタンにあらかじめセットされている受信周波数を変えることはできません。

## ●カセットプレーヤーの使いかた

### テープ演奏のききかた



### 走行方向を切り換えるとき

プログラムボタンを押します。



テープの片面が終了したときは、自動的に切り換わり  
ます。

### テープを取り出すとき

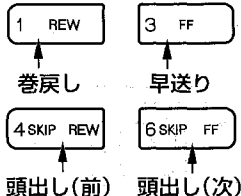
イジェクトボタンを押して、テープを取り出します。



テープ演奏中にエンジンスイッチを“0”にした場合でも、  
イジェクトボタンを押せばテープを取り出すことができ  
ます。



## 早送り／巻戻し、頭出しをするとき



- ・FF/REWボタンを押すと、早送り／巻戻しになり、“FF/REW”が点灯します。
- ・SKIP FF/SKIP REWボタンを押すと、頭出し(次の曲の最初／演奏中の曲の最初)になり、“FF/REW”が点滅します。

早送り／巻戻しを止めるときは、ボタンをもう一度押すかPLAYボタンを押します。

## 知識

- 曲間の無音部分が4秒以上ないときや雑音が入っているとき、曲の途中に無音部分があるときは、頭出し機能が働かないことがあります。

## 演奏中の曲を繰り返すとき(リピート)

リピートボタンを押します。(“RPT”が点灯)

ASEL/RPT

リピート機能を解除するとき、ボタンをもう一度押します。

## ドルビーNRについて

ドルビーNR録音されたテープを再生すると、高域雑音の少ない演奏が楽しめます。

5

ドルビーNRボタンで、ドルビーNR再生およびその解除を行います。(ドルビーNR再生中は“ ”が点灯)

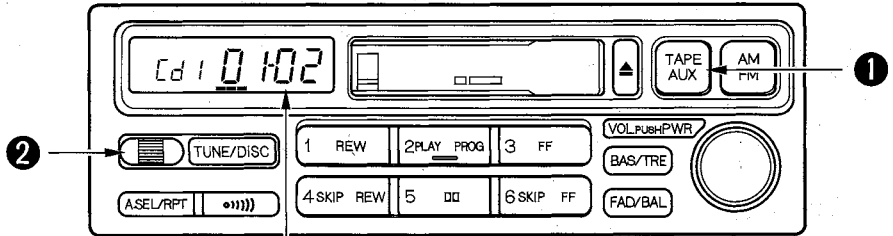
※ドルビーノイズリダクションシステムはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

●CD/MDチェンジャーコントローラー、CD/MDプレーヤーの使いかた

別売のCD/MDチェンジャー、CD/MDプレーヤー等の接続時

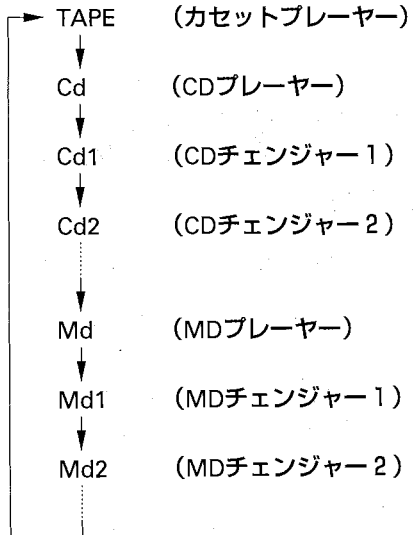
ディスク演奏のききかた



演奏中はディスク、トラックナンバーを表示

①切り換える(AUXボタン)

ボタンを押して、切り換えます。  
ボタンを押すたびに接続されているプレーヤー、カセットプレーヤーに切り換わります。



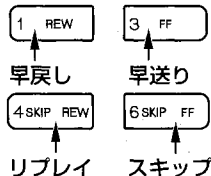
②ディスクを選ぶ(ディスクスイッチ)

CD/MDチェンジャー接続時

スイッチを上または下に押すたびに切り換わります。  
ディスクスイッチに続けてSKIP FF/SKIP REWボタンを短く押すと、トラックナンバーの指定もできます。



### 早送り／早戻し、スキップ／リプレイをするとき



- FF/REWボタンを押すと、早送り／早戻しになります。
- SKIP FF/SKIP REWボタンを押すと、スキップ(先の曲の頭出し)／リプレイ(演奏中、前の曲の頭出し)になります。

### 演奏中の曲を繰り返しきくとき(リピート)

リピートボタンを短く押します。("RPT"が点灯)

ASEL/RPT

リピート機能を解除するときは、ボタンをもう一度短く押します。

### 1枚のディスクの曲順をランダムに演奏するとき

オートセレクトボタンを約2秒押します。("A.SEL"が点灯)

ASEL/RPT

ランダム演奏の機能を解除するには、ボタンをもう一度約2秒押します。

## ●エラーコードについて

表示部にエラーコードが表示されたときは、表示されているディスクのプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、点検してください。



エラーが発生しているプレーヤーを表します。

エラーコードの種類を表します。

TA (本体カセットプレーヤー)

Cd (Cdプレーヤー)

Cd1 (Cdチェンジャー 1)

Cd2 (Cdチェンジャー 2)

Md (Mdプレーヤー)

Md1 (Mdチェンジャー 1)

Md2 (Mdチェンジャー 2)

エラーコード	原因
Err	カセットテープの取り出しができない等、機械的な不具合 ディスクマガジンやディスクの装着や取り外しができない等、 機械的な不具合
H0t	プレーヤー内部の温度上昇による一時停止状態
d 15C	ディスクマガジンにディスクが入っていない

#### 4. ドライブを快適にする装備

オーディオ



A series of horizontal dashed lines for writing.

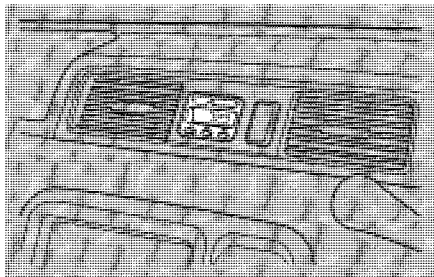


# 室内装備品

## 時計／外気温表示

### ●時刻表示

エンジンスイッチが“II”で表示されます。



### ●表示の合わせかた

「時」の調整

“H” ボタンを押している間、「時」の早送りができます。

「分」の調整

“M” ボタンを押している間、「分」の早送りができます。

「時報合わせ」

時報と同時に“R” ボタンを押すと時報に合わせることができます。

(例) 1:01～1:29の場合…1:00

1:30～1:59の場合…2:00

### 🎓 知識

- 「秒」表示はありませんが、“RESET” ボタンを押すと0秒から作動を始めます。
- バッテリーの取り外し、ヒューズ切れなどで電源が切れ、再び電源が接続されると“1:00”の表示から始まります。  
正しい時刻に合わせてください。

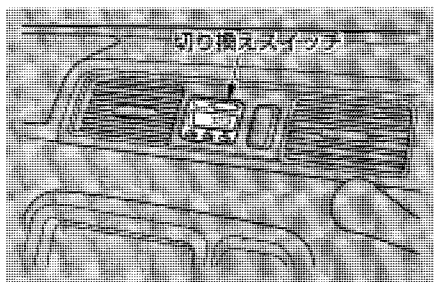




### ●外気温表示

切り換えスイッチを押して外気温表示にします。

もう一度スイッチを押すと、時計表示に戻ります。



外気温が下がってきて3℃以下になったとき、温度表示が約10秒間点滅します。(時計表示のときでも、一時的に外気温表示になります。)路面が凍結しているおそれがありますので、注意して運転してください。

### 🎓 知識

- フロントバンパー付近の外気温を測定しているため、エンジンルームや路面の熱の影響を受けやすい停車中や渋滞中などは正しい外気温を表示しないことがあります。

## 室内灯

### “ON”

ドアの開閉に関係なく点灯します。

### (中間)

ドアを開けると点灯し、閉めると消灯します。

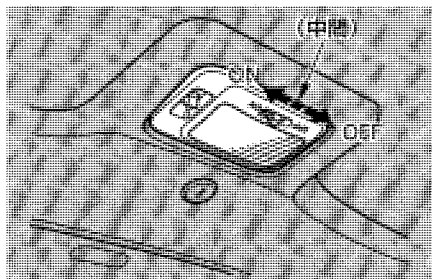
また、次の場合にも点灯し、その後消灯します。

- 運転席ドアを解錠したとき  
(ウエルカムライト機能)
- エンジンスイッチからキーを抜いたとき

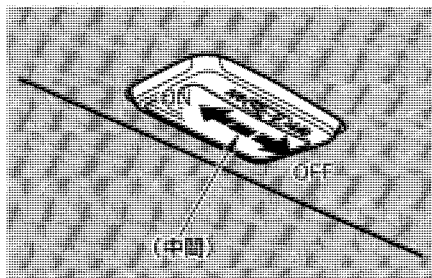
### “OFF”

ドアの開閉に関係なく消灯します。

サンルーフ装備車



サンルーフ非装備車





### カーゴルームランプ

#### “ON”

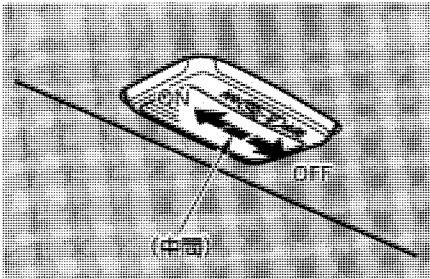
テールゲートの開閉に関係なく点灯します。

#### (中間)

テールゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。

#### “OFF”

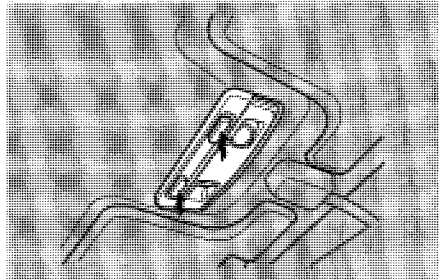
テールゲートの開閉に関係なく消灯します。



### スポットランプ

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

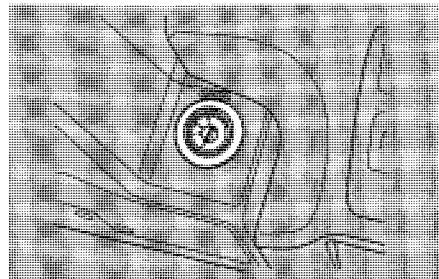
夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



### エンジンスイッチ照明灯

運転席ドアを開けると点灯します。

運転席ドアを閉めると数秒後に消灯します。

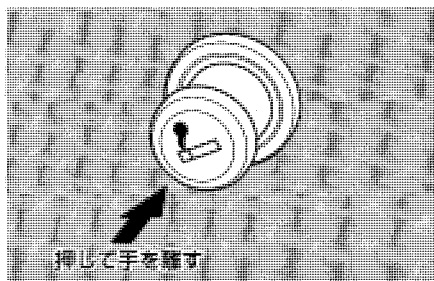


## シガレットライター

エンジンスイッチが“I”または“II”のときだけ使えます。

ライターを押し込んで、手を離し、元の位置に戻るまで待ちます。

ヒーター部が赤熱すると自動的に戻りません。



ライター使用後は灰皿で灰を落としてからすみやかに元に戻してください。

## 注意

- シガレットライターは金属部分に熱が伝わりやすいため、ライターを押し込んでから手を離すおそれがあります。

## 知識

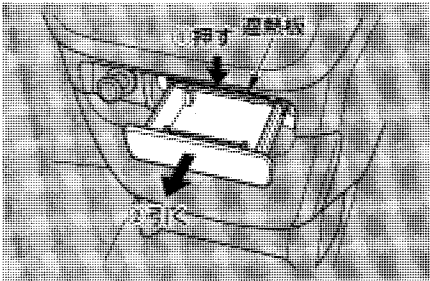
- シガレットライターの損傷を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・ライターを押し込んだあと、押さえ続けしないでください。
  - ・ヒーター部に灰や異物が付着したまま使用しないでください。
  - ・ライターのさし込み口からは、ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。
- 他の車のライターを使ったり、自車のライターを修正したりしないでください。戻らなかったり、とび出したりするおそれがあります。
- ライターを押し込んでから、30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き出し、ホンダ販売店で点検を受けてください。



## 灰皿

### ●前席用

清掃するときは遮熱板を下に押さえながら外します。

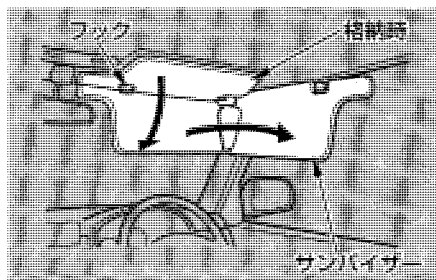


### △注意

- タバコ、マッチなど可燃物に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず空めてください。
- また、吸い殻をためすぎたり、長く燃やした燃えやすいものを入れおいてください。
- タバコなどの火が燃え広がるおそれがあります。

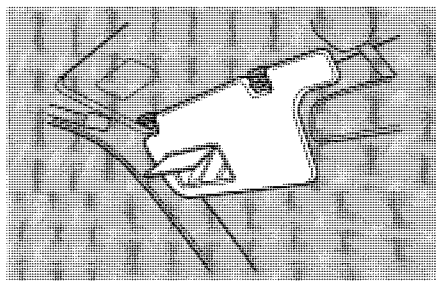
## サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



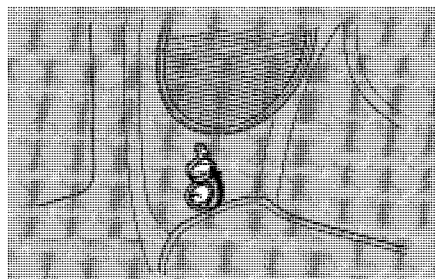
## ●バニティミラー(化粧鏡)

助手席のサンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。



## アクセサリースOCKET

カバーを開けて使います。  
定格120W(12ボルト、10アンペア)まで  
使用できます。



## 知識

- ホンダ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。バッテリーあがりやアクセサリースOCKETの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリースOCKETを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

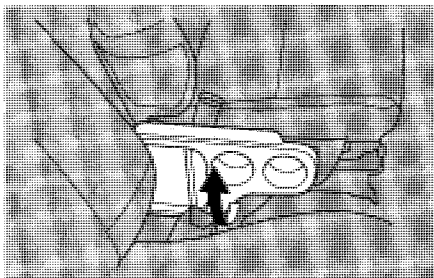


## センターテーブル

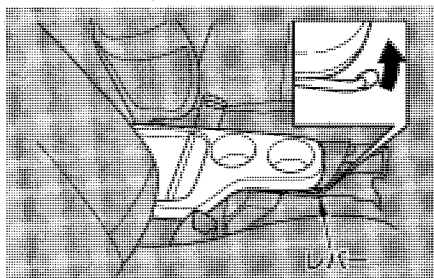
### マニュアル車

#### ●使いかた

上に引き起こして固定します。



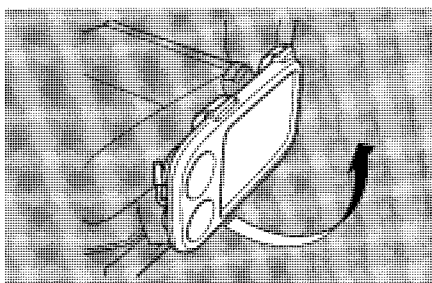
元に戻すときは、レバーを引いてテーブルをおろします。



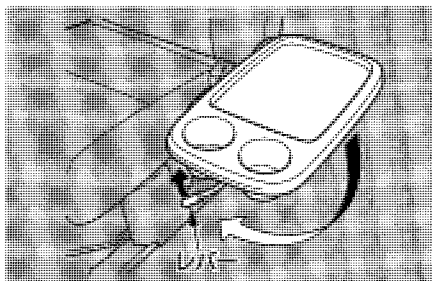
### オートマチック車

#### ●使いかた

上に引き起こして固定します。



元に戻すときは、レバーを引いてテーブルをおろします。



### 知識

- テーブルの上に乗ったり、下にもぐったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。破損や変形などの原因になります。
- 走行中にテーブルの上に物を置いておくと、落ちたり飛び出すことがあります。

## カップホルダー

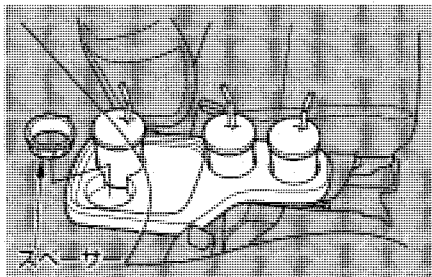
カップなどを置くときに使います。

### 知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。  
熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。
- 飲み物がオーディオ等にかかると、故障の原因となりますので注意してください。

### マニュアル車

センターテーブルを起こして使います。



用途に応じて、ロング細缶用スペーサーを使用します。

### 知識

- スペーサーを外したときは、グローブボックス等に入れてください。

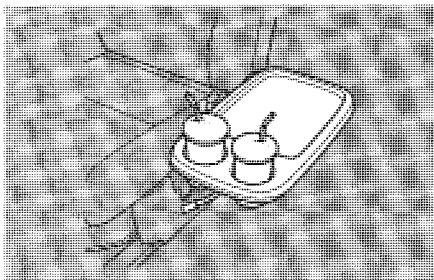




### オートマチック車

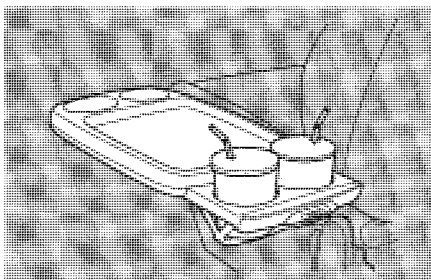
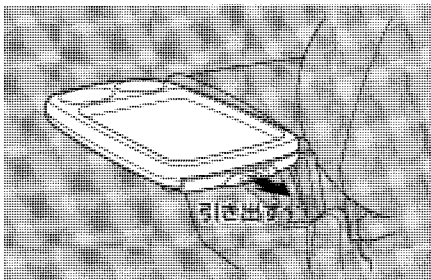
#### ●前席用

センターテーブルを起こして使います。



#### ●後席用

引き出して使います。



格納するときは、そのまま押し込みます。

#### 🎓 知識

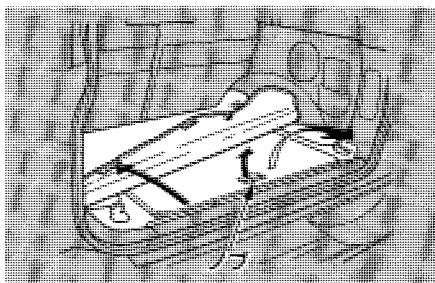
- カップホルダーに手をついたり荷物を置くなど無理な力をかけないでください。
- 飲み物が入っている状態でテーブルをおろさないでください。

## ビルトインテーブル

トランクルーム内のリッドを取り出して  
テーブルとして使えます。

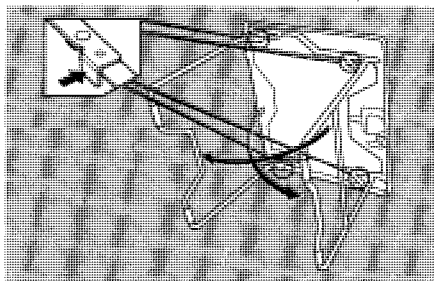
### ●取り出しかた

カーペットをめくり、ノブを引いて取り  
出します。

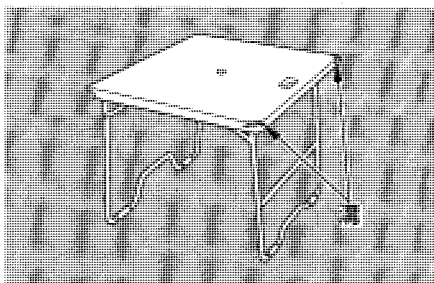


### ●テーブルの組み立てかた

テーブルの足をいっぱいにかき、確実に  
ロックします。



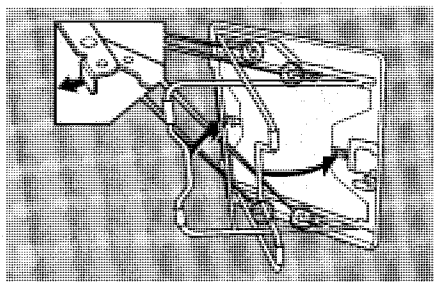
テーブルの端2ヵ所に、小物や袋をかけ  
られる溝があります。



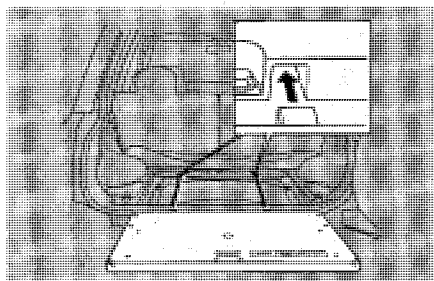


### ●収納のしかた

- ① テーブルのロックを外して足をたたみ、確実に固定します。



- ② テーブルの突起部をトランクルームの切り欠き部に合わせ確実に取り付けます。



### ▲注意

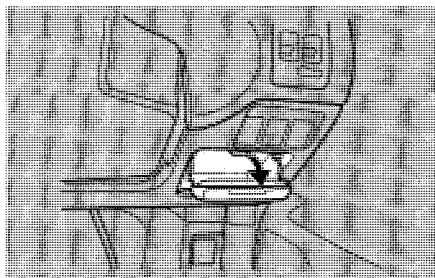
- テーブルを積み重ねたり、収納するときは、損傷と落下を防止するために十分注意してください。

### ◆知識

- テーブルを使うときは、倒れないように足をいっぱいを開き、なるべく平らな場所でお使いください。また、テーブルの端の溝に重い物をかけないでください。
- テーブルの上に乗ったり、重い物を置くなど無理な力をかけないでください。  
破損や変形などの原因になります。
- テーブルの上で熱い物を直接のせたり、たき火や調理器具など高熱になるところのそばでは使わないでください。  
変形などの原因になります。
- テーブル中央部にビーチパラソルを立てるときは、ぐらついたり倒れたりしないようにパラソルを地面に突き差すなどして確実に固定してください。また、風があるときは、ビーチパラソルは使わないでください。
- ノブやテーブルの足の部分などに飲み物をこぼしたときは、さびの原因になりますのですぐに拭き取ってください。
- テーブルをしまうときは、汚れや水分を拭き取り、元の場所に確実に固定してください。

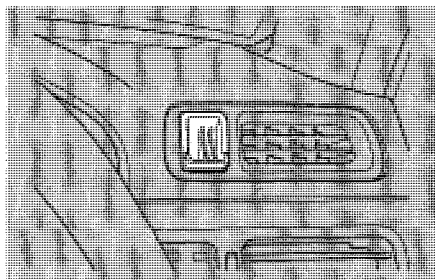
## 小銭入れ(コインボックス)

ふたを下げると開きます。小銭を入れておくと有料道路の料金所などで便利です。



## ●コインホルダー

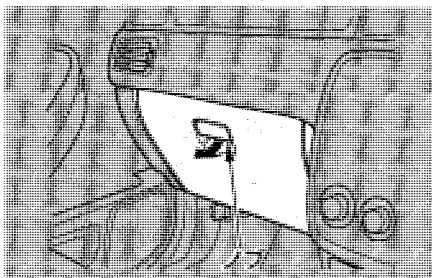
サンルーフ非装備車



## 小物入れ

### ●グローブボックス

ノブを引くと開きます。



### ▲警告

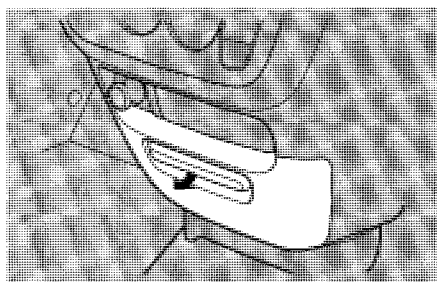
- 走行中は、グローブボックスのふたを必ず閉めてください。グローブボックスのふたが開いていると、衝突したときなどにふたが飛び出したり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。



### ●センターポケット

オートマチック車

ノブを引くと開きます。

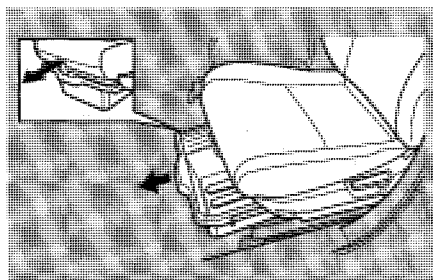


#### 知識

- ナビゲーションシステム装備車は、ナビゲーション本体があります。

### ●シートアンダーボックス (助手席のみ)

前端部を上を持ち上げながら、引き出します。

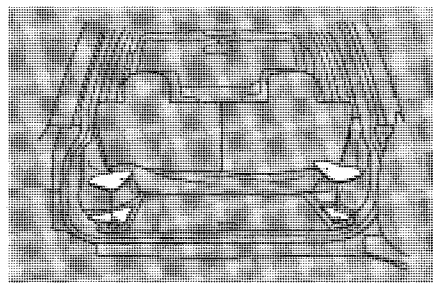


前側は、カードやティッシュボックスを置くのに便利です。

#### 知識

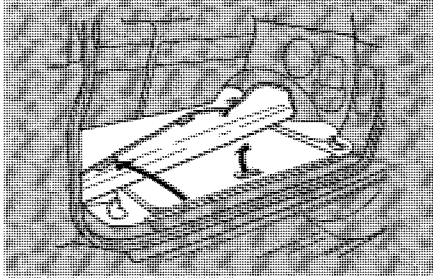
- シートアンダーボックスを引き出した状態で、上に乗ったり無理な力をかけないでください。破損や変形などの原因になります。

### ●カーゴフロアポケット 左右

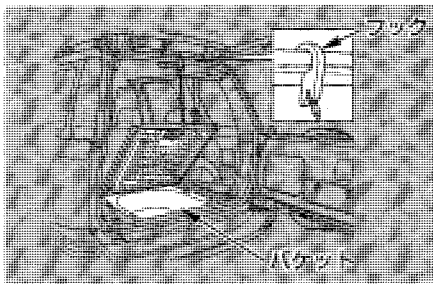


## 中央

ノブを引いてリッドを開けます。



リッドを開けたままにしておきたいときは、フックを外して図の位置にかけます。



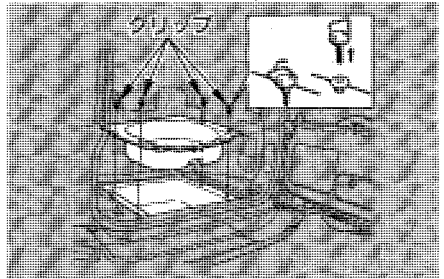
バケツは防水構造のため、水着などのぬれたものを入れるのに便利です。

### 知識

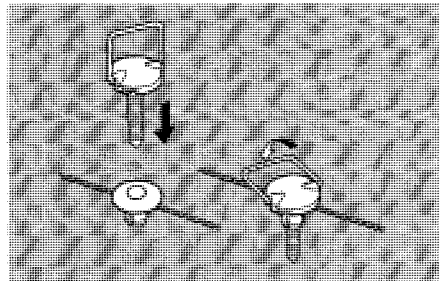
- フックをかけたままテールゲート（ハッチガラス）を閉めないでください。フックや車体などに損傷を与えます。

### ・バケツの取り出しかた

クリップを4カ所引き抜き、バケツを取り出します。



クリップを取り付けるときは、クリップを差し込んでリングを倒します。



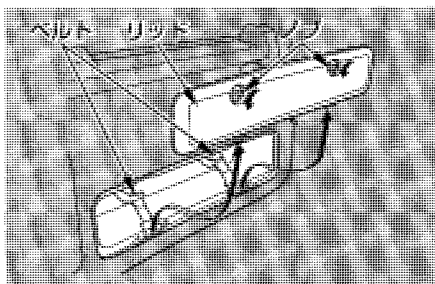
### 知識

- バケツの変形を防ぐために、先に荷物を出してからバケツを取り出してください。

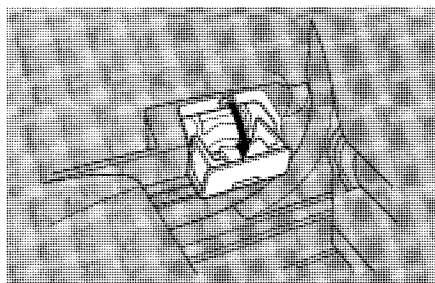


### ●テールゲートポケット

ノブを回してリッドを外します。  
荷物は、ベルトで固定できます。



### ●リヤウェットティッシュホルダー

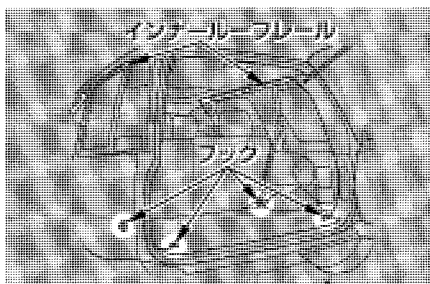


#### 📖 知識

- シートと干渉するため、シートアレンジを行うときはリヤウェットティッシュホルダーを収納してください。
- ドリンクホルダーとして使用しているときにドアを閉めると飲み物がこぼれるおそれがあります。

### 荷物フック

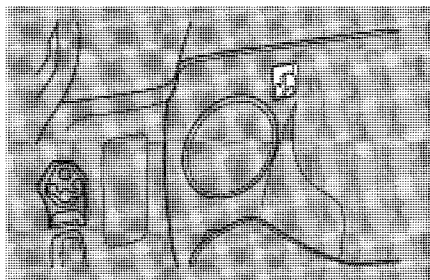
荷物を固定するときに使います。



#### 📖 知識

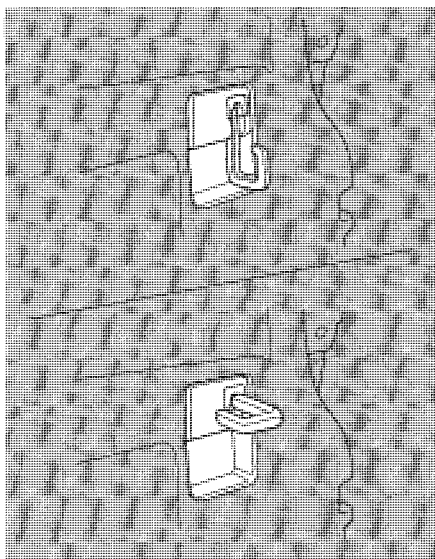
- インナーレールには、長時間強い力をかけつけないでください。  
樹脂部が変形することがあります。

### ●カーゴサイドフック



## ●フレキシブルカーゴフック

図のように引き出したり、起こして使えます。



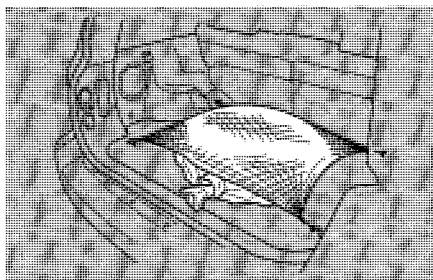
### 🎓 知識

- フックや車体の破損を防ぐため、次のことをお守りください。
  - ・約 3 kg 以上の荷物はかけないでください。
  - ・フックに荷物をかけたままテールゲート(リアゲート)の開閉はしないでください。

## カーゴネット

タイプ別装備

カーゴフックを使って荷物の固定をするときなどに使います。







## 万-のとき

### ●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	176
工具の種類	177
発炎筒について	177

### ●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	178
高速道路で故障したとき	178
道路で動けなくなったとき	179
故障の修理について	179

### ●事故が起きたとき

#### ●けん引

けん引されるとき (ロープによるけん引)	182
故障車をけん引するとき	185

### ●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	186
スペアタイヤカバー	188
スペアタイヤ	192
タイヤ交換	194

### ●オーバーヒートしたとき

	198
--	-----

### ●電気系統が異常のとき

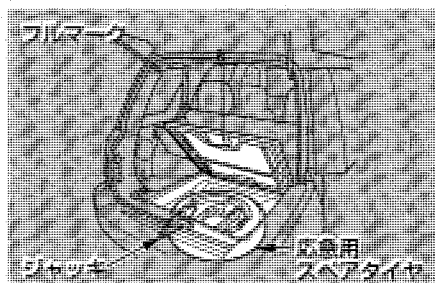
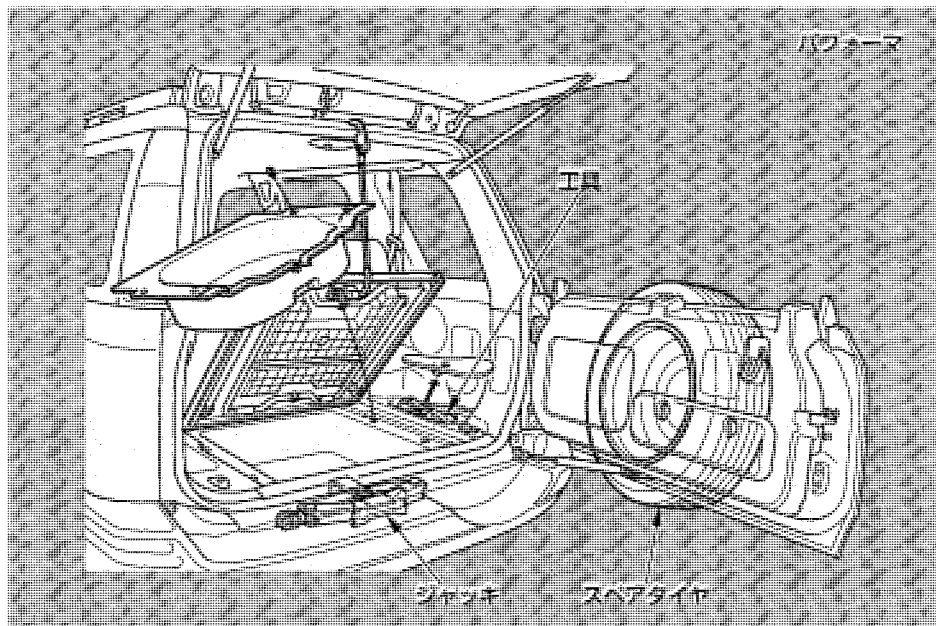
バッテリーあがりのとき	200
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	202
サンルーフが作動しないとき	212

# 5

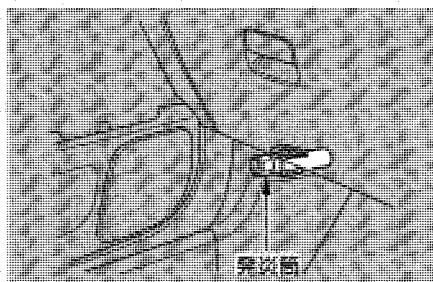
# 工具・スペアタイヤ・発炎筒

## 格納場所

### ●工具・スペアタイヤ



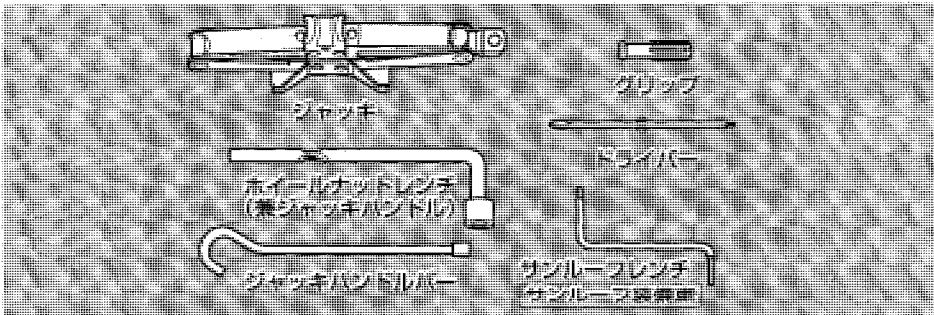
### ●発炎筒



発炎筒は助手席足元にあります。



## 工具の種類



### 知識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

## 発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

### 警告

- 缶ノリなどの燃えやすいものそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

### 注意

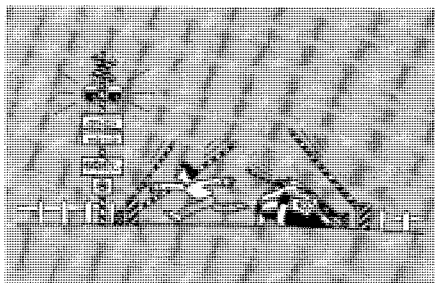
- お子さまに近づけないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故やけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔やからだに向はるとやけどなどをすることがあるのでおやめください。
- トンネル内では消火を要くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を点滅してください。

# 故障したとき

車を路肩に止め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

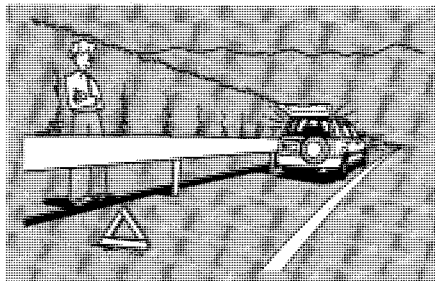
## 踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



## 高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。

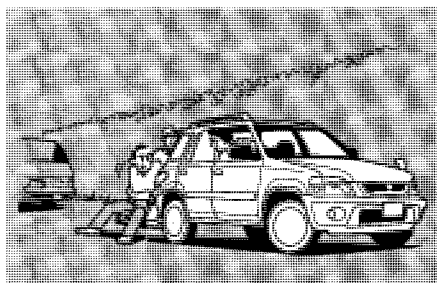


人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



### 道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



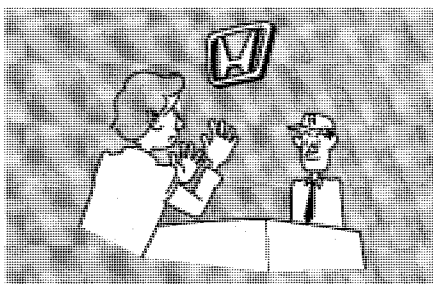
または、マニュアル車の場合は、ギヤを2に入れて、クラッチペダルを踏まずにスターターを回して移動します。

#### 知識

- オートマチック車はスターターを回して車を動かすことはできません。

### 故障の修理について

ホンダ販売店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもホンダ販売店へご連絡ください。

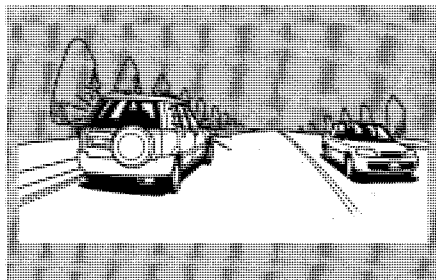
ホンダ販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

# 事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。

## 1 事故の続発を防ぐ。

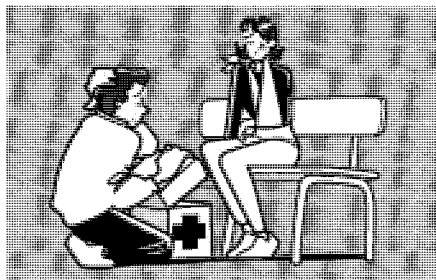
他の交通のさまたげにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンを止めます。



## 2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



### ◆ 知識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



### 3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



### 4 相手方、事故の状況をメモする。

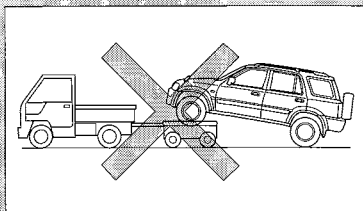
### 5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

# けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。

## アドバイス

- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。
- 4WD車の場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車からとび出すおそれがあります。

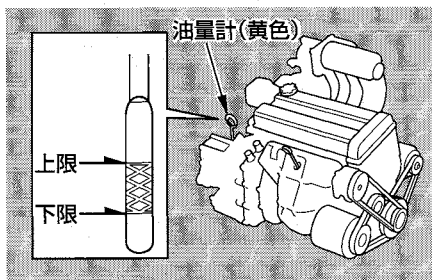


## けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

### ① オートマチック車

トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。

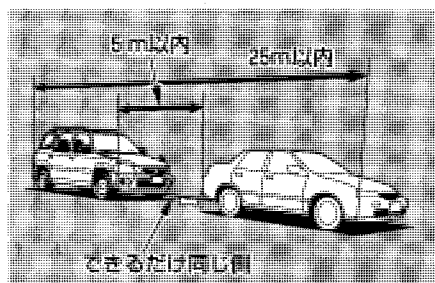
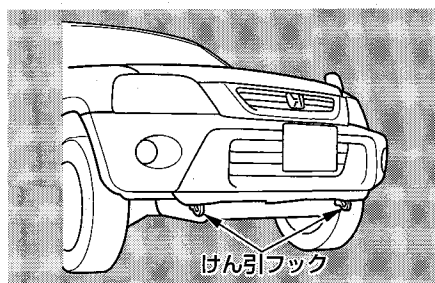


下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。





- ②ロープをけん引フックにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ③チェンジレバーまたはセレクトレバーはN(ニュートラル)に、エンジンスイッチは"Ⅰ"または"Ⅱ"にします。
- ④パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。
- ⑤ **オートマチック車**  
速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

### アドバイス

- けん引フックにロープをかけるときは、車体やフックの破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
  - ・けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
  - ・けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使ってけん引されるときは、車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどして行ってください。そのままけん引されると、バンパーに傷をつけるおそれがあります。

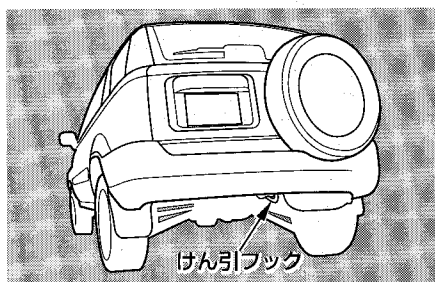
### 知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
  - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキのききが悪くなります。
  - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
  - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキがきかなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



## 故障車をけん引するとき

やむをえず故障車をけん引するときは、  
 自転車より重い車のけん引は避けてくださ  
 い。



## アドバイス

- けん引フックにロープをかけるこ  
 ときは、車体やフックの破損・変形  
 を防ぐために次のことに気をつけ  
 てください。
  - ・けん引フック以外のところにロ  
 ープをかけないでください。
  - ・けん引時にけん引フックに大き  
 な衝撃が加わるような運転をし  
 ないでください。
- ワイヤーロープや金属製のチェ  
 ーンなどを使ってけん引するときは、  
 車体にあたる部分のチェーンに布  
 をまくなどして行ってください。  
 そのままけん引すると、ナンバー  
 に傷をつけるおそれがあります。

# パンクしたとき

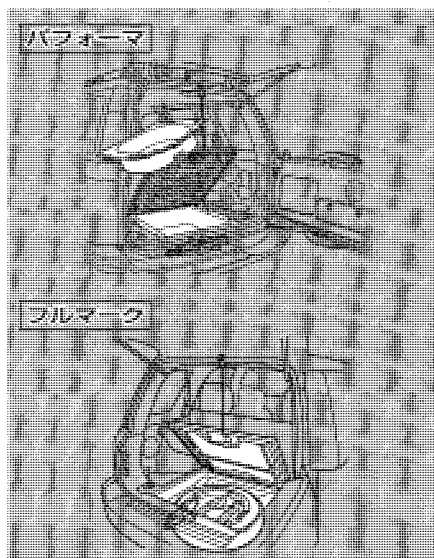
## ジャッキの取り扱い

### ●ジャッキの取り出しかた

①カーゴフロアバケットを外します。

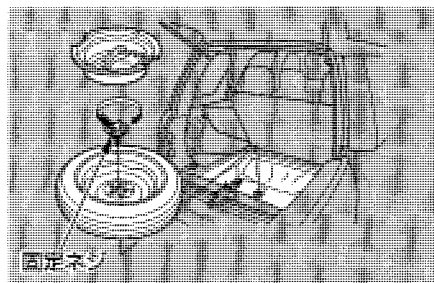
カーゴフロアバケットの外しかた

→172ページ

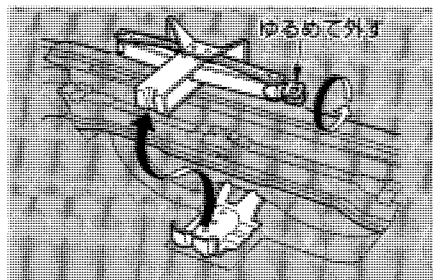


### ② フルマーク

ビルトインテーブルを取り出します。  
固定ネジをゆるめて応急用スペアタイヤを取り出します。



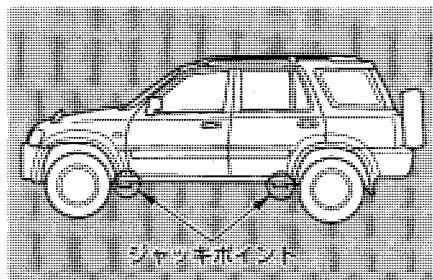
③ジャッキをゆるめて外します。



### 知識

- ジャッキを格納するときはドライバーなどで無理に締めないでください。  
ジャッキ取り付け部が変形するおそれがあります。

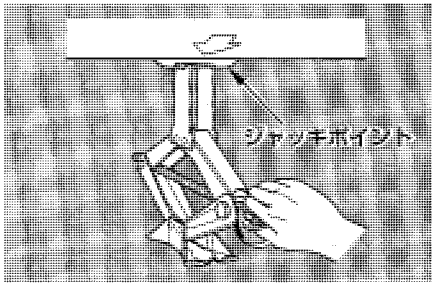
### ●ジャッキをかける位置



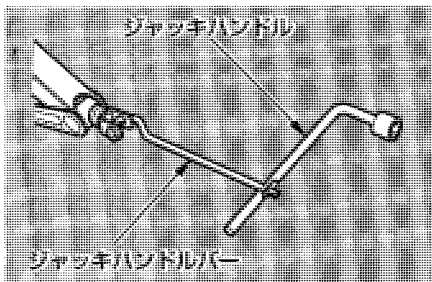


### ●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



### ⚠警告

- 車がジャッキで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の内に入ったりしないでください。万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

### ⚠注意

- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
  - ・エンジンをかけたままにしない
  - ・地面が固い平らなところ以外では使用しない。
  - ・指定された位置以外にかけない。
  - ・人や荷物をのせたままにしない。
  - ・ジャッキの上や下に足をかけたりしない。
  - ・タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

### ◆知識

- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

## スペアタイヤカバー

タイプ別装備

### ●取り外しかた

①ロアゲートを開けます。

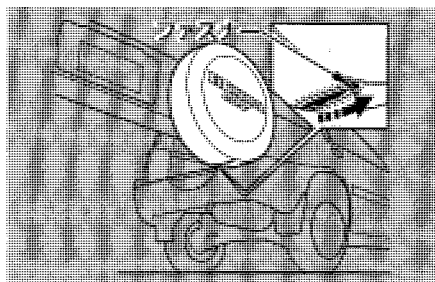
ロアゲートの開けかた →37ページ

### 🎓 知識

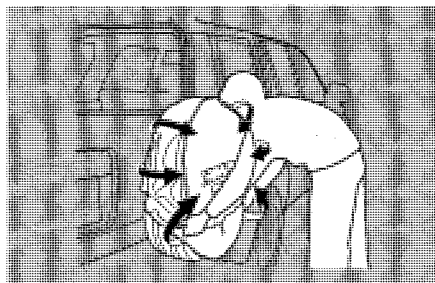
- 作業をする場合は、安全で、堅く水平な場所に車を止めてください。

### ソフトタイプ

②タイヤカバーの下側にあるファスナーを開きます。



③カバーの下側をめくりあげます。



④徐々にカバーを上方にめくりあげます。

⑤カバーを取り外します。

### 🎓 知識

- 無理な力をかけてカバーを引っ張らないでください。  
カバーを破損するおそれがあります。
- 気温が低いときは、脱着がしづらくなります。
- タイヤカバーを取り外した状態のときは、スペーサーを外して走行してください。

スペーサー →192ページ

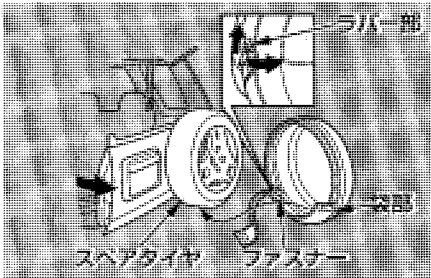
### 🚗 アドバイス

- ファスナーが氷結して開きにくいときは、雪や氷を取り除いてから少しずつ開いてください。

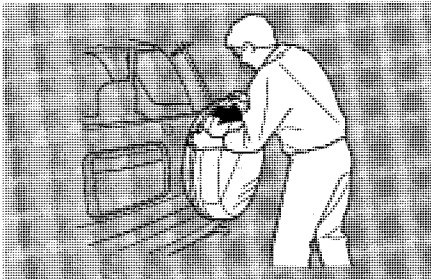


### ハードタイプ

- ② タイヤカバーの左下側にあるマジックファスナーを開きます。
- ③ タイヤカバーの左下側からファスナーを開きます。



- ④ カバーを上側から手前に引いて取り外します。



### 知識

- ファスナーを開閉するときは、ラバーをめくりながら開閉してください。無理に行うとファスナーを破損するおそれがあります。

### アドバイス

- ファスナーが氷結して開きにくいときは、雪や氷を取り除いてから少しずつ開いてください。

## ●取り付けかた

- ①指定のタイヤサイズ、空気圧であることを確認します。

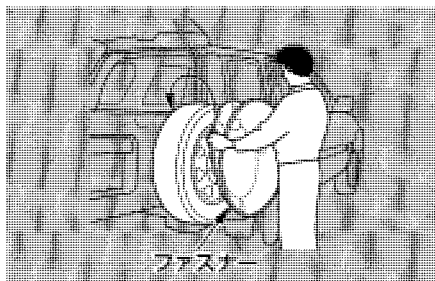
タイヤサイズ、空気圧 →247ページ

## 🎓 知識

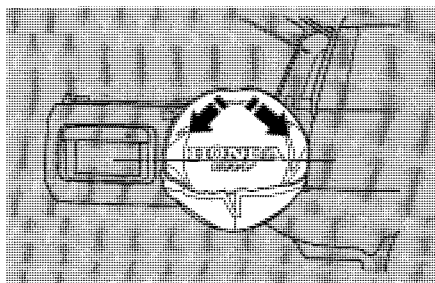
- 指定したサイズ以外のタイヤや異なる空気圧の場合は、カバーが取り付けできないことや、脱落するおそれがあります。

## ソフトタイプ

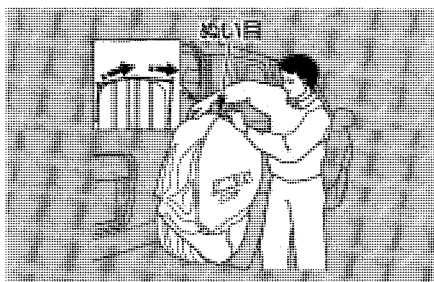
- ②ファスナーが真下になるようにカバーを持ち、上側をスペアタイヤにかぶせます。



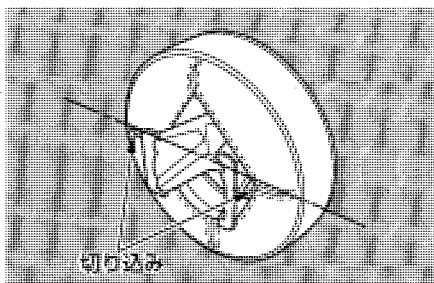
- ③カバーの文字が水平になるように合わせます。



- ④タイヤの上部からカバーのぬい目がタイヤの輪郭に合うように徐々に引っ張ります。



- ⑤カバーの下側をタイヤにかぶせます。  
⑥裏側の切り込み部分が水平になっていることを確認します。



- ⑦カバーの下側のファスナーを閉めます。

## 🔧 アドバイス

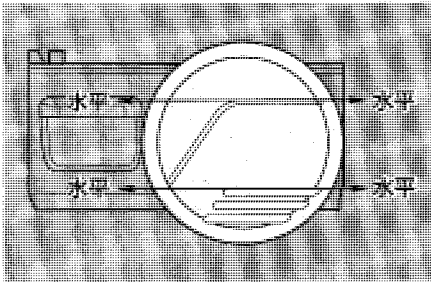
- タイヤワックス等が塗布してあるタイヤに使用すると、タイヤカバーが変色する原因になります。



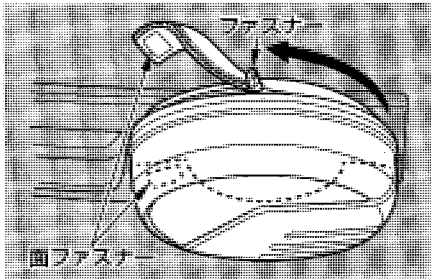


### ハードタイプ

- ②デザイン線が水平になるようにカバーを持ち、下側の袋部分からスペアタイヤにかぶせます。
- ③デザイン線が水平になるように合わせます。



- ④ファスナーを閉めて、マジックファスナーで固定します。



- ⑤ゆるみやガタつきがないか確認します。

### 知識

- ソフトカバー部にはリングが付いており、ファスナーを鍵でロックすることができます。
- 取り付けが確実でない場合は、再度取り付け直してください。

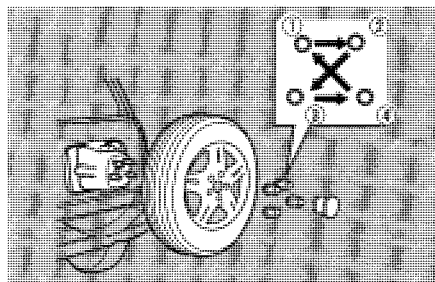
## スペアタイヤ

パフォーマ

### ●取り外しかた

スペーサー(ソフトタイプタイヤカバー  
装備車)を引き抜きます。

ホイールナットレンチで図の番号順にナ  
ットをゆるめ外します。



### ●取り付けかた

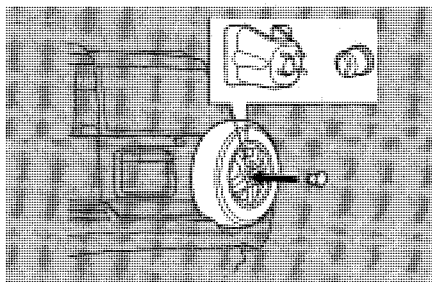
取り外したときの逆の手順で取り付け  
ます。

(参考)ホイールナット締め付けトルク:

5-6 kgf·m

### ソフトタイプタイヤカバー装備車

スペーサーの突起をブラケットの穴に合  
わせて押し込みます。

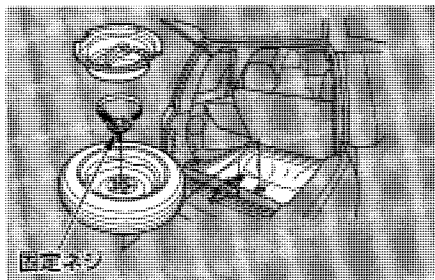




## 応急用スペアタイヤ

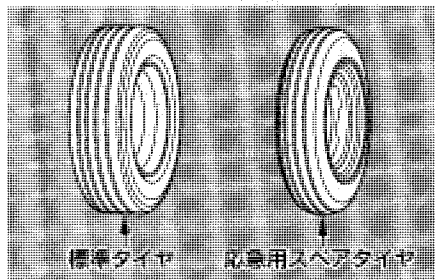
フルマーク

固定ネジをゆるめて取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。

標準タイヤの収納 →196ページ



標準タイヤ

応急用スペアタイヤ

お使いになるときは次のことをお守りください。

### 知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

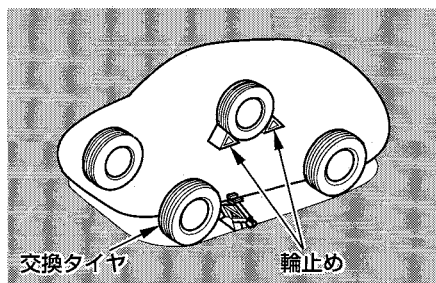
指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm<sup>2</sup>)

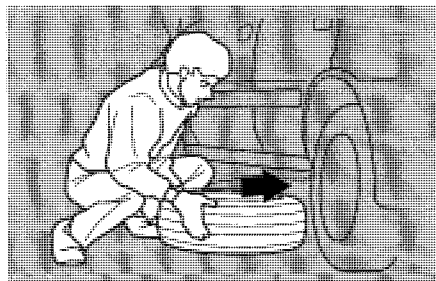
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。

## タイヤ交換

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に止め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



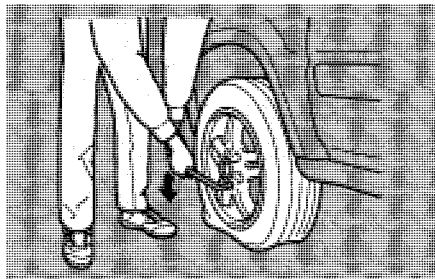
- ③スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。



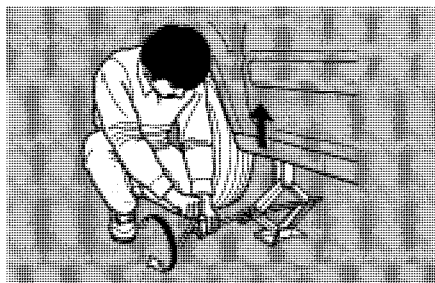
- ④ジャッキをセットします。

→187ページ

- ⑤ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

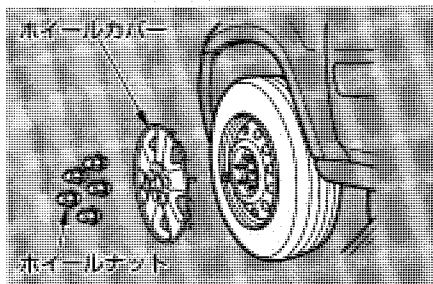


- ⑥タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。





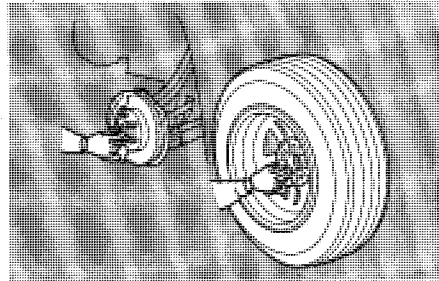
- ⑦ホイールナット、ホイールカバー(タイプ別装備)を外し、タイヤを外します。



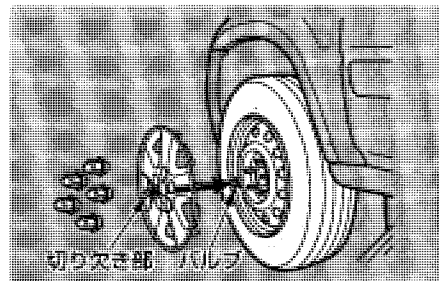
### 知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。  
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。
- ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。ドライバーなどで無理にこじらないでください。

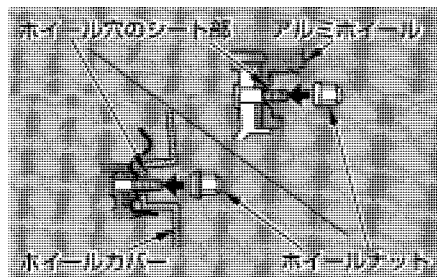
- ⑧交換するタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



- ⑨ホイールカバーを取り付けるときは、切り欠き部がバルブの位置にくるようにします。



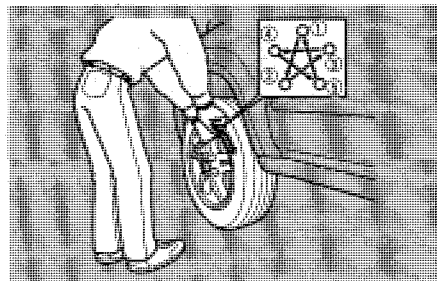
- ⑩ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ⑪ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク:

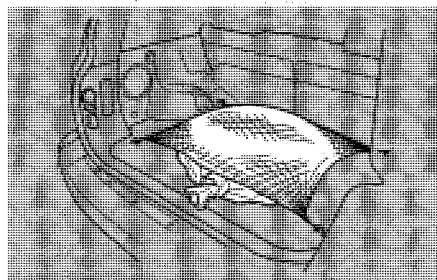
10.0 - 12.0 kgf·m



## 標準タイヤの収納

フルマーク

- ①パンクしたタイヤを収納袋に入れカーゴルーム中央に置きます。
- ②カーゴネットをかけカーゴフックに固定します。





### アドバイス

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響をあたえます。
- VSA装備車は四輪とも、同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤを指定空気圧にてお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを混用したり、指定空気圧でない場合、VSAが正常に機能しなくなる場合があります。また、応急用スペアタイヤを装着した場合も、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。

### 知識

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダ販売店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらホンダ販売店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の硬い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。

タイヤの空気圧 →247ページ

#### ● **ホイールカバー装備車**

ホイールカバーは、ホイールナットを外さないと取り外しができません。ドライバーなどで無理にこじらないでください。

#### ● **アルミホイール装備車**

パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

# オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

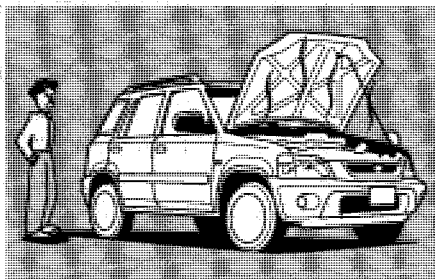
- 水温計の針が“H”の目盛に入ったり、エンジンの力が急に落ちる。
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

## 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開け出し、蒸気や熱湯がふき出し、火傷などの重大な傷害を受けるおそれがあります。

## ●処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。



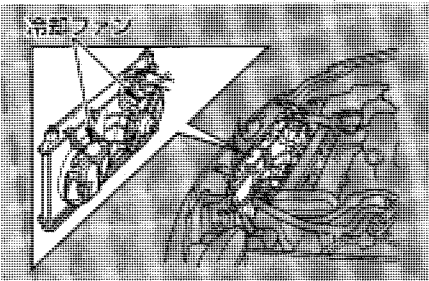
## ◆知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。蒸気が出なくなったらボンネットを開け、エンジンをかけてください。





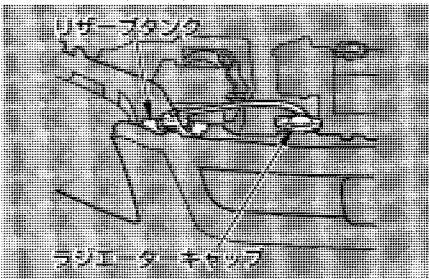
- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の針が下がってきてからエンジンを止めます。  
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



#### アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、ホンダ販売店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

#### 警告

- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。  
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯が心臓出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

#### アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。  
冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くホンダ販売店で点検を受けてください。

# 電気系統が異常のとき

## バッテリーあがりのとき

次のようなときは、バッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

## ●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車のバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

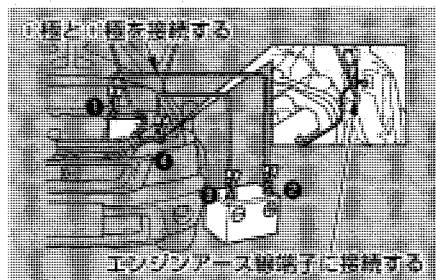
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

### 1本目

- ①自車のバッテリーの⊕端子
- ②救援車のバッテリーの⊕端子

### 2本目

- ③救援車のバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤ホンダ販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



## 警告

- バッテリーを取り扱う時などは次のことを必ず守ってください。  
 バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
  - ・バッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
  - ・火気を近づけないでください。
  - ・燃着した車でバッテリーに接しないでください。
  - ・換気には注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
  - ・バッテリーを充電するときは、すべてのモトトップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
  - ・自車のバッテリー極（端子）とブースターケーブルをつながないでください。
  - ・端子と端子を間違えないでください。
  - ・ケーブルの火花をうしを遠ざけないでください。
- バッテリー液は希硫酸です。目や皮膚に着くとその酸が侵されますので十分注意してください。  
 万一、付着したときはすぐに多量の水ですすぐとともみ分程度以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲むなどください。緊急処置後は、専門医の診察を受けてください。

## 知識

- バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。  
 バッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。  
 また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。

## ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

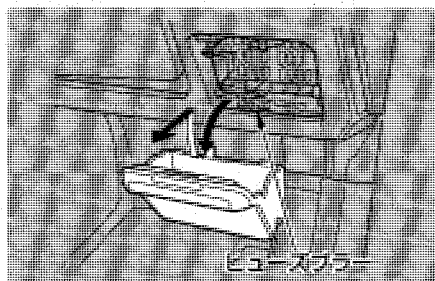
- ①エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ②ヒューズが切れていないかを点検します。
  - ・故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示で確認し、点検します。
- ③必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

## ●ヒューズの点検、交換

### ヒューズボックスの位置

#### ・運転席足元

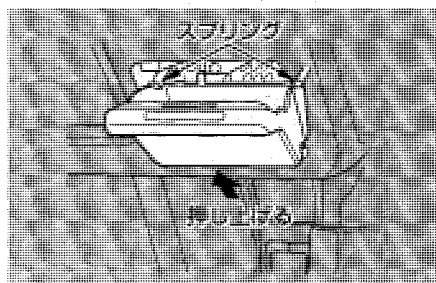
コインボックスを開け、持ち上げながら手前に引いて取り外します。



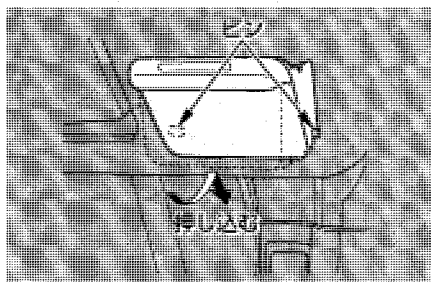


コインボックスを取り付けるときは、次の手順で行います。

- ①スプリングにポケットの溝を合わせて全体を押し上げます。

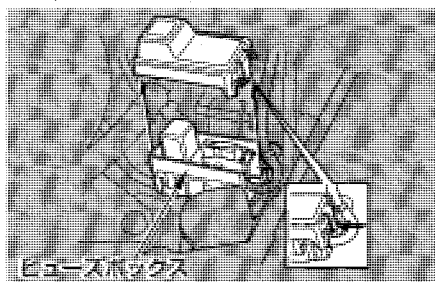
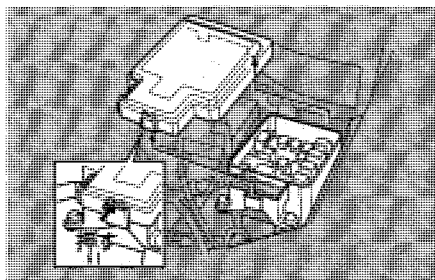


- ②下側を押し込み、両側のピンをポケットの溝に確実にセットします。



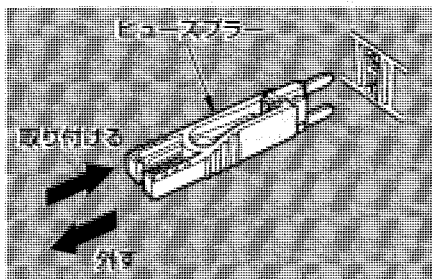
- ③コインボックスを閉めます。

・エンジンルーム内



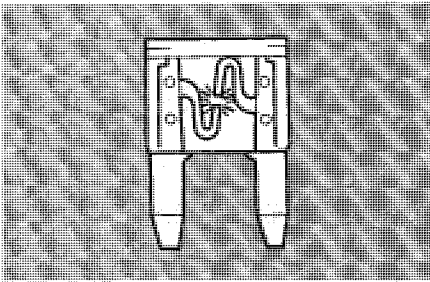
ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。







## ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

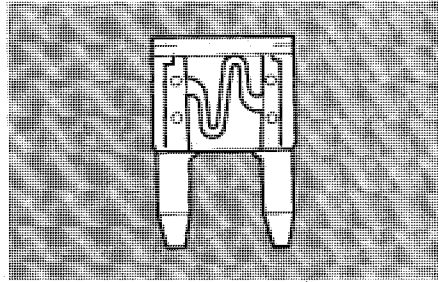
 **アドバイス**

- 規定容量のヒューズ以外のものは絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。


 **知識**

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダ販売店で点検を受けてください。

## ヒューズが切れていないとき



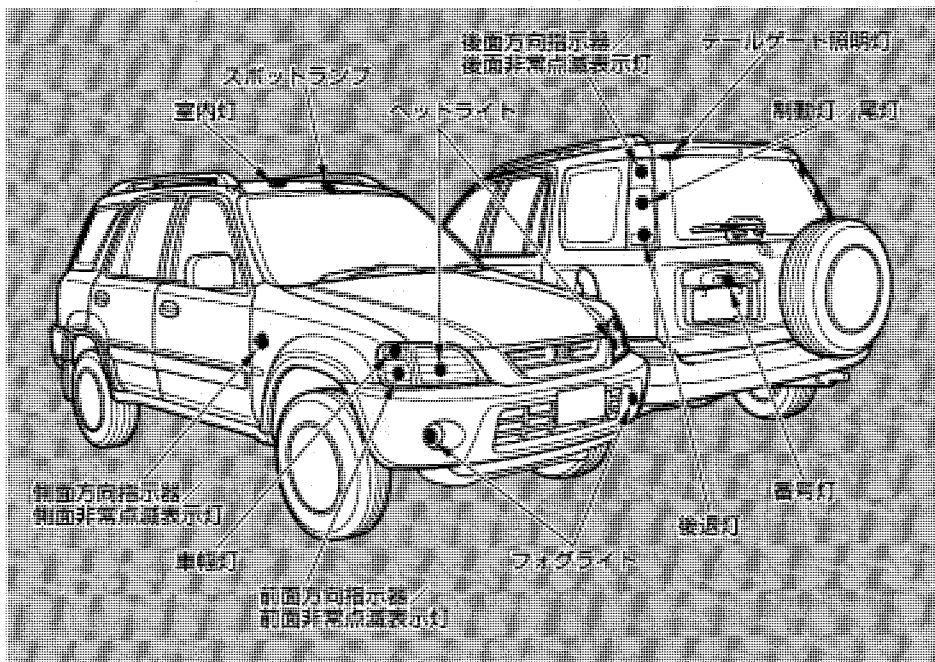
- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

 **知識**

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、ホンダ販売店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、ホンダ販売店で点検を受けてください。

## ●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。







### 🏠 知識

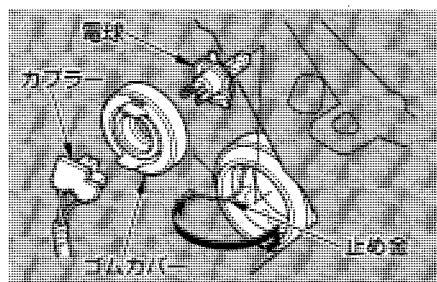
- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違うものを使わないでください。  
電球のワット数 →244ページ
- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。  
取り扱いには十分に注意してください。  
また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。  
使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。
- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。
- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。  
ただし、レンズ内面に大粒の水滴がついているときやランプ内に水がたまっているときは、ホンダ販売店にご相談ください。

## ヘッドライト

ハロゲンバルブを使用していますので、取り扱いに注意してください。

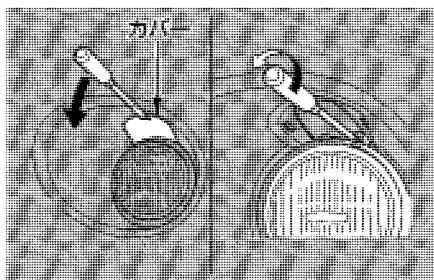
ハロゲンバルブ →207ページ

- ①カプラーを抜き取ります。
- ②ゴムカバーを外します。
- ③止め金を外し、電球を外します。
- ④電球本体を抜き取ります。

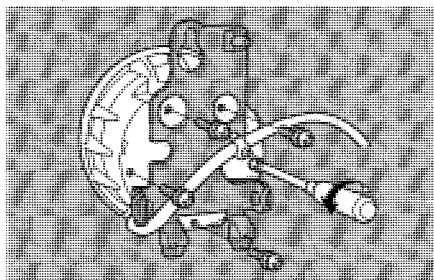


## フォグライト

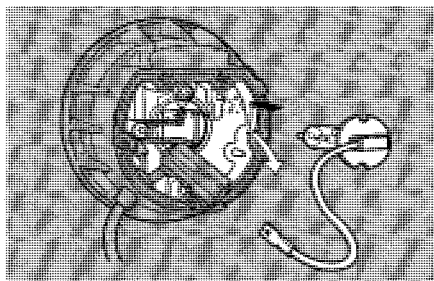
- ①バッテリーの⊖端子を外します。
- ②カバーを外します。
- ③ネジをゆるめフォグライトを車体より外します。



- ④ネジをゆるめブラケットを外します。



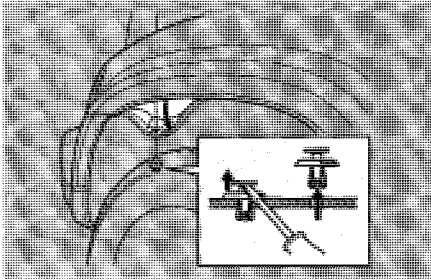
- ⑤電球本体を抜き取ります。



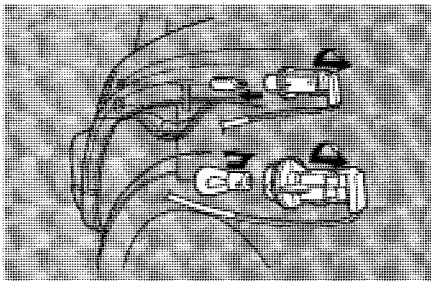


### 前面方向指示器／前面非常点滅表示灯、 車幅灯

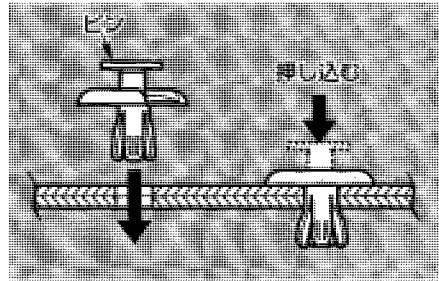
- ①交換する側と反対にハンドルをいっばいに切ります。
- ②クリップを外してインナーフェンダーをめくりみます。



- ③ソケットを左に回して外し、前面方向指示器／前面非常点滅表示灯は電球を押しながら左に回して抜き取ります。車幅灯は、電球を抜き取ります。

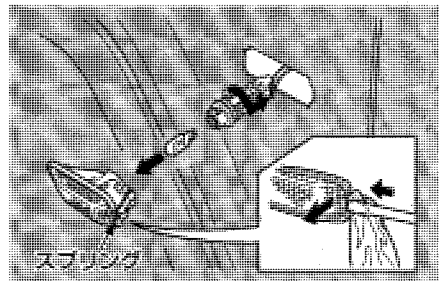


インナーフェンダーを固定するときは、クリップを中央部のピンを起こしたままインナーフェンダーに差し込み、ピンを平らになるまで押し込みます。



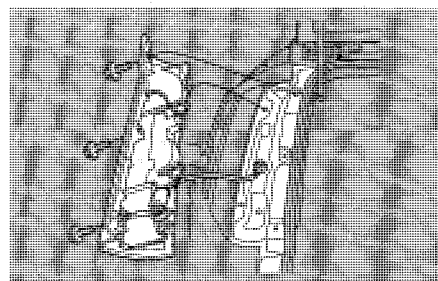
### 側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

ドライバーの先端に布などを巻き、下側よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

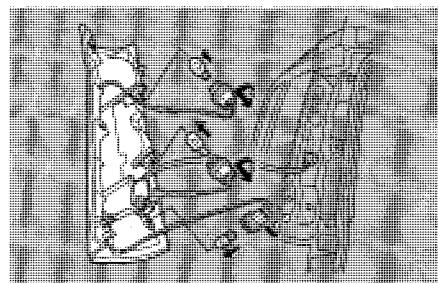


**制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯**

①ネジを外し、ランプ本体を外します。



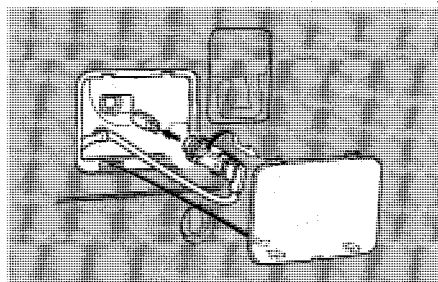
②ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



**番号灯**

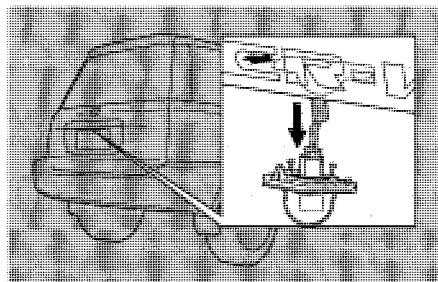
**パフォーマ**

□アゲートにあるカバーを開け、ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。



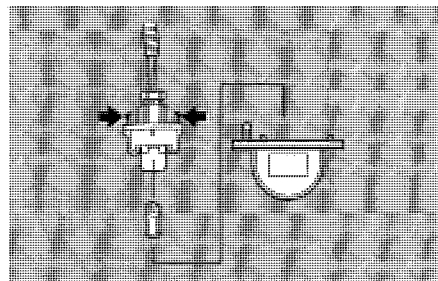
**フルマーク**

①側面を押し、ランプ本体を外します。



②ツメを押してレンズを外します。

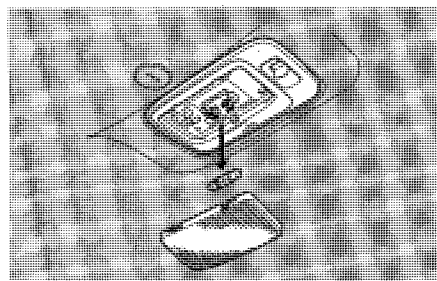
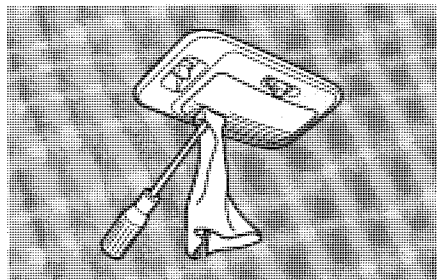
③電球を抜き取ります。





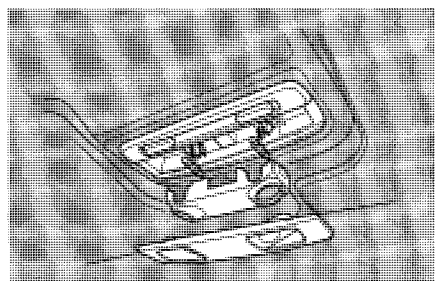
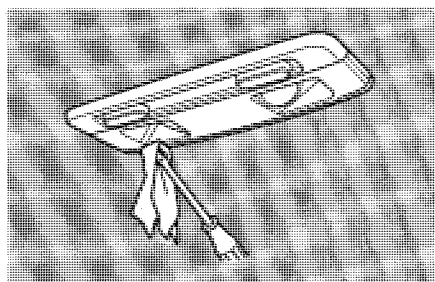
### 室内灯、カーゴルームランプ

レンズを外し、電球を抜き取ります。



### スポットランプ

レンズを外し、内側のカバーを外して電球を抜き取ります。



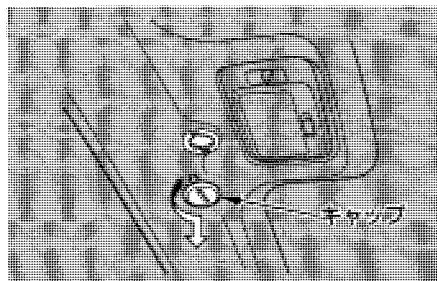
## サンルーフが作動しないとき

### サンルーフ装備車

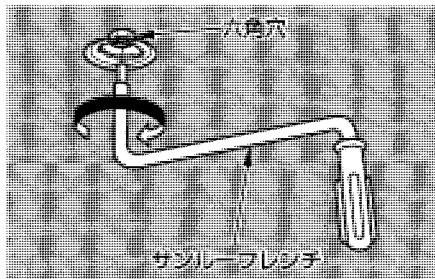
万一、電動でサンルーフが閉まらなくなった場合は、応急処置として工具袋内のサンルーフレンチを使って閉めてください。

工具 →177ページ

- ①前席ルーフ中央のキャップをコインなどで回し、キャップの溝が図のように左右を向いたところで取り外します。



- ②六角穴にサンルーフレンチを差し込んで回します。



### 知識

- 応急処置後はホンダ販売店で点検を受けてください。



## 車の手入れ

- 点検・整備について……214
- 日常の手入れ
  - 外装の手入れ……………217
  - 内装の手入れ……………219
  - タイヤについて……………220
  - アルミホイールについて……222
  - スペアタイヤカバー  
について……………223
- 車にあった部品の使用…224

# 6

# 点検・整備について

車は走行するにしたがい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



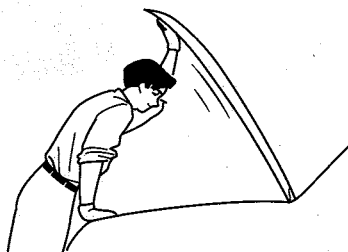
詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

## ●点検整備の種類

### 日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。

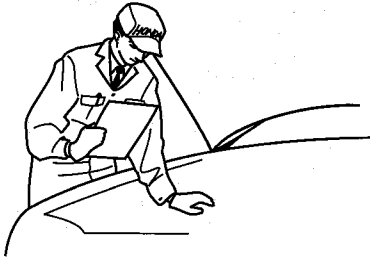






### 法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、ホンダが指定するものがあります。



### その他

新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



# 日常の手入れ

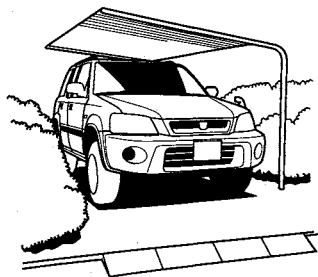
## 走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



## 保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



## 洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
  - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。  
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
  - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。  
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。  
ポリシングワックスは、ホンダ純正ケミカル用品をお使いください。



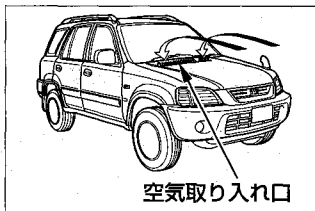


## 外装の手入れ

### ●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかいもので洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏のインシュレーターには、直接水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



### 自動洗車機を使うとき

- 自動洗車機を使用する場合は、アンテナを外して使用してください。  
センターアンテナの外しかた  
→146ページ
- ホイールカバー装備車は、自動洗車機のホイール専用ブラシを使わないでください。十分水をかけスポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。
- **スペアタイヤカバー装備車**  
カバーを外して洗車してください。  
取り外しかた →188ページ  
スペアタイヤカバーの手入れ  
→223ページ

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

### コイン洗車機を使うとき

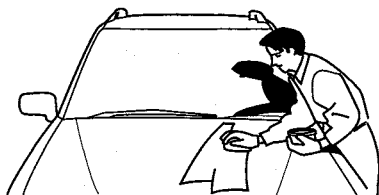
洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。  
ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

### ●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ・ワックスはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。

塗装面に細かい傷が残ることがあります。

### ●樹脂塗装部品

#### (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、ホンダ販売店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

### ●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

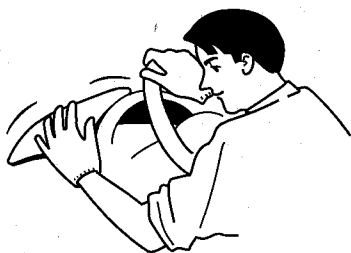
#### リヤガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



## 内装の手入れ

- ①中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
  - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ②真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。



- ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤は変色、しみなどの原因となるので使わないでください。
- 室内に水をかけないでください。電気部品に水がかかると故障の原因となります。

## ●液体芳香剤、 レザークリーナーについて

液体芳香剤、レザークリーナーはその成分によっては、樹脂部品、布材の変色、ひび割れを起こすことがあります。

取り扱いには十分にご注意ください。

- 液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。  
芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものをおすすめします。
- レザークリーナーを使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。  
また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

## タイヤに ついて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- 安全のため、こまめに点検を行ってください。
- また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

### 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。  
コントロールを失うことがあり、重大な事故につながる可能性があります。

- 摩耗限界を超えたタイヤ
- 指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの点検

→237ページ

### 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。  
空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しはがをするおそれがあります。

- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。
- VSA装備車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用するとVSAが正常に機能しなくなることがあります。

### 摩耗限界表示

#### (ウェアインジケーター)

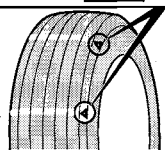
ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です



ウェアインジケーターが表れたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換





●位置交換  
(タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

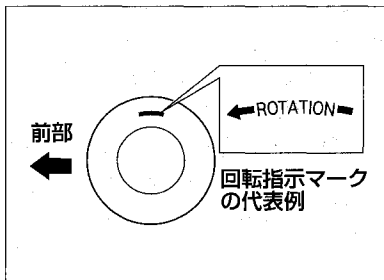
- ・同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

●フルマーク

応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

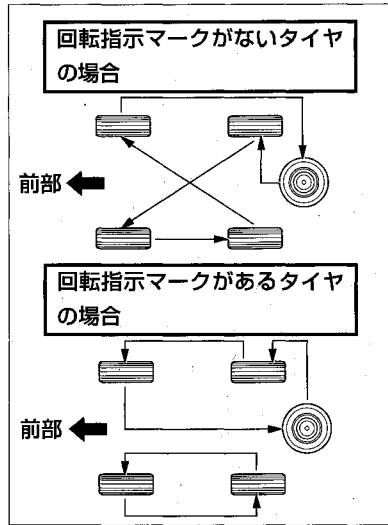
タイヤ回転指示マーク

タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。

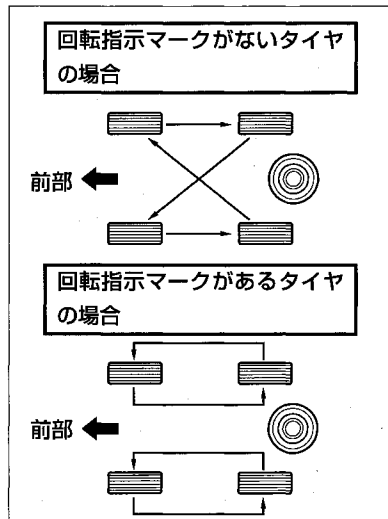


スペアタイヤを使う場合

パフォーマンス



スペアタイヤを使わない場合

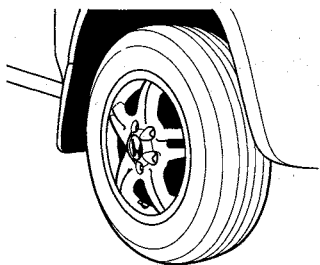


# アルミホイール について

## アルミホイール装備車

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いかたが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。



### ●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずホンダ販売店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはホンダ純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。



**●手入れ**

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスかけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹸や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きのもの）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。  
光沢を失うおそれがあります。

**スぺアタイヤカ  
バーの手入れ****スぺアタイヤカバー装備車**

汚れを拭き取る場合は、中性洗剤または水を含ませた柔らかい布で、拭き取ってください。

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。ヒビ割れ等の原因になるおそれがあります。
- ソフトタイプ**  
ワックスやガソリン、溶剤等を使用すると変色の原因となります。

# 車にあった部品の使用

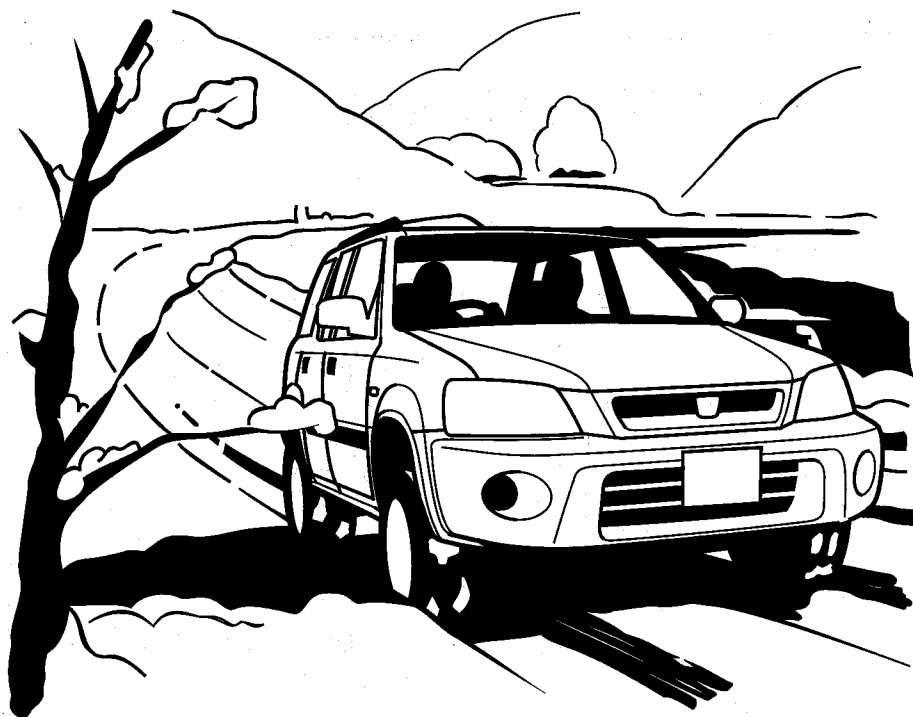
車の性能、品質を維持するために、ホンダ車に最も適したホンダ純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、ホンダ車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、ホンダ販売店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



- ホンダ純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。  
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。  
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。



## 車との上手なつきあいかた

### ●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	226
運転するとき	228
駐車するとき	232
冬期の手入れ	234

### ●こんなときは

雨の日の運転	236
夏場の取り扱い	238
経済走行のために	239
4WD車の運転	240

# 積雪・寒冷時の取り扱い

## 運転するまえ

### ●車に積もった雪や着氷は 取り除く

#### 屋根に積もった雪

走行時にガラス面に落ちた雪が視界のさまたげとなり危険です。走行するまえに取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



#### ガラス面の雪や霜

プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

#### 足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。

**●凍結しているとき****ドアの凍結**

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

**ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)**

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

**●乗車するとき**

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。

**運転するまえに**

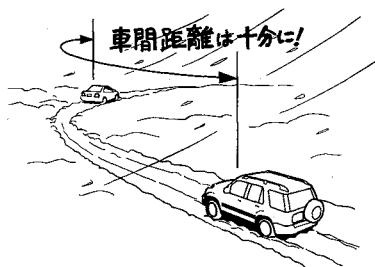
ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

## 運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているため、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。

また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。

- 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

タイヤチェーンについて

→230ページ

- 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

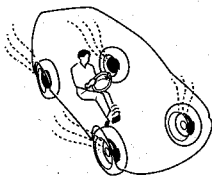
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



### ●ブレーキのききについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキのききが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキのききが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにホンダ販売店で点検を受けてください。

### ●ウォッシャー液を噴射するとき

先にヒーターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

### ⚠ 注意

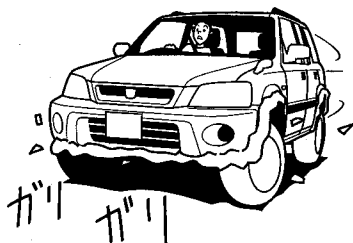
- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界の邪魔だけとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

### ●ハンドルのきれについて

#### (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。

ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。

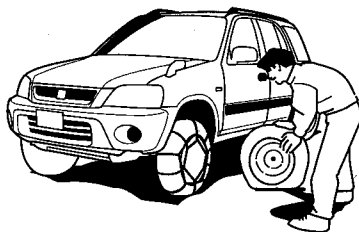


### ●パンクしたとき

#### (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪につけてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



## ●タイヤチェーンについて

### 推奨タイヤチェーン

フェンダーやホイール表面を傷つけるおそれがありますので、ホンダ純正スーパーグリップチェーンをお使いください。

お求めはホンダ販売店へお申し付けください。

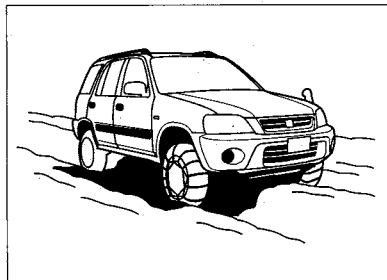
- タイヤチェーンはタイヤに合った適正なものをお使いください。

推奨タイヤチェーン以外のものを使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

### 標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

4WD車の場合も前輪駆動を主とした四輪駆動なので、チェーンは前輪に装着してください。

後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。







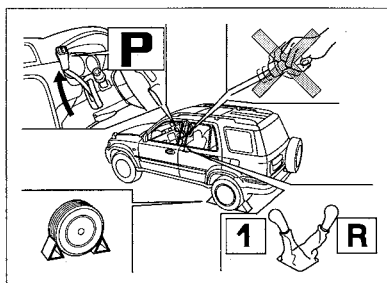
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。  
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。  
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。
- **フルマーク**  
応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。  
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。

## 駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐために、パーキングブレーキは使わないでください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1に、オートマチック車はPに入れます。

石などで輪止めをしておきます。



### ●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
  - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
  - ・車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは起こしてください。
  - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。



● 長期間使わないで  
屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

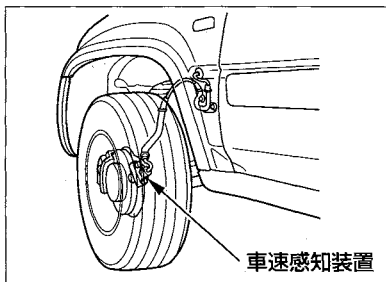
▲ 注意

- 格納するとき、エンジン部を  
毛布で覆ったり、ラジエーター  
のまわりに被褥や新聞紙を  
はさみ込んだりしないで  
ください。  
そのまま走行すると、火災の  
おそれがあります。

## 冬期の手入れ

### ●雪道走行後の手入れ

- ・フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- ・積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

### ●点検・整備

#### バッテリーについて

気温が下がるとバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や充電をしてください。

#### エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



### 冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

### ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はホンダ販売店にご相談ください。

# こんなときは

## 雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。

### ▲警告

●滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。  
車のコントロールを失い思わぬ事故につながるります。

### ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行しようとしたときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキがきかなくなり、非常に危険です。



●**ガラスの曇りをとりたいとき**  
ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

●**ガラスの油膜をとりたいとき**  
油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。  
ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ガラスクリーナーはホンダ純正ケミカル用品をお使いください。

●**ワイパーのふきむらがあるとき**  
ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、ふきむらが出て視界のさまたげとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。

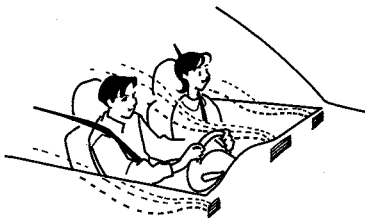


## 夏場の 取り扱い

### ● エアコンの上手な使いかた

- ・冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。  
夏になる前に点検、補充をしましょう。
- ・室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- ・エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

- この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。  
補充・交換が必要な場合は、ホンダ販売店にご相談ください。



### ●炎天下に駐車するときは

- ・ボディに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- ・フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

### ●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

### ●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- ・走行中、水温計の針が“H”の目盛に入った場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→198ページ

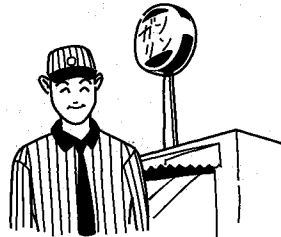




## 経済走行の ために

- 不必要な急加速、急減速などアクセルペダルをバタつかせるような運転をしないでください。
- 変速位置の選択は、走行速度に応じて適切に行ってください。
- マニュアル車のチェンジレバーの操作は、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでから確実に行ってください。
  - ・クラッチペダルの足のせ運転、半クラッチの連続使用はしないでください。
- 長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。
- 点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

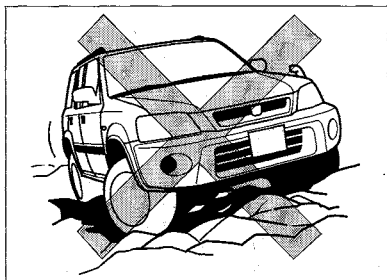
- 駐車時にはエンジンを止めましょう。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けましょう。
- 車間距離は十分にとり、不必要なブレーキをかけないようにしましょう。
- カーゴルームには不必要な荷物は載せないようにしましょう。



## 4WD車 の運転

4WD車は積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において2WD車に比べて走破性にすぐれています。万能ではありません。アクセル、ハンドル、ブレーキの操作は一般の車と同じく慎重に行い、常に安全運転を心がけてください。この車は、オフロードやラリー走行を目的とした車ではありません。必ず、次のことをお守りください。

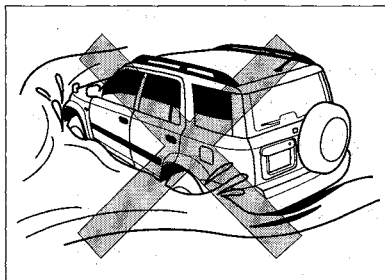
- ・砂地、ぬかるみ等、前輪が空転しやすいところでの連続走行やラリー走行は避けてください。



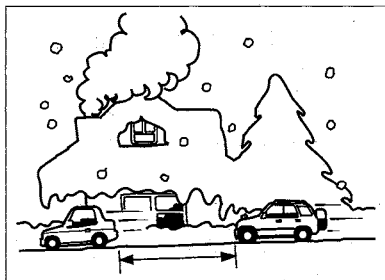
### 知識

- 4WDの状態で行進中に車輪の空転が続いてシステム内の油温が上昇すると、システム保護のため4WDから2WDに切り換わることがあります。しばらくして油温が下がると、4WDに復帰します。

- ・渡河などの水中走行はしないでください。

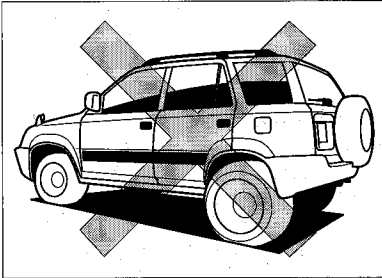


- ・ブレーキ性能は2WD車と比べてほとんど差がないので、滑りやすい路面での走行には十分車間距離をとってください。





- 4WD車は、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを混用すると動力伝達装置に悪影響を与えます。



- けん引される場合、前輪または後輪を台車に乗せた(車輪が回転できない)状態でのけん引は、絶対に行わないでください。駆動装置が破損したり、車輪が台車から飛び出すおそれがあります。

けん引 →182ページ

## ●こんなとき

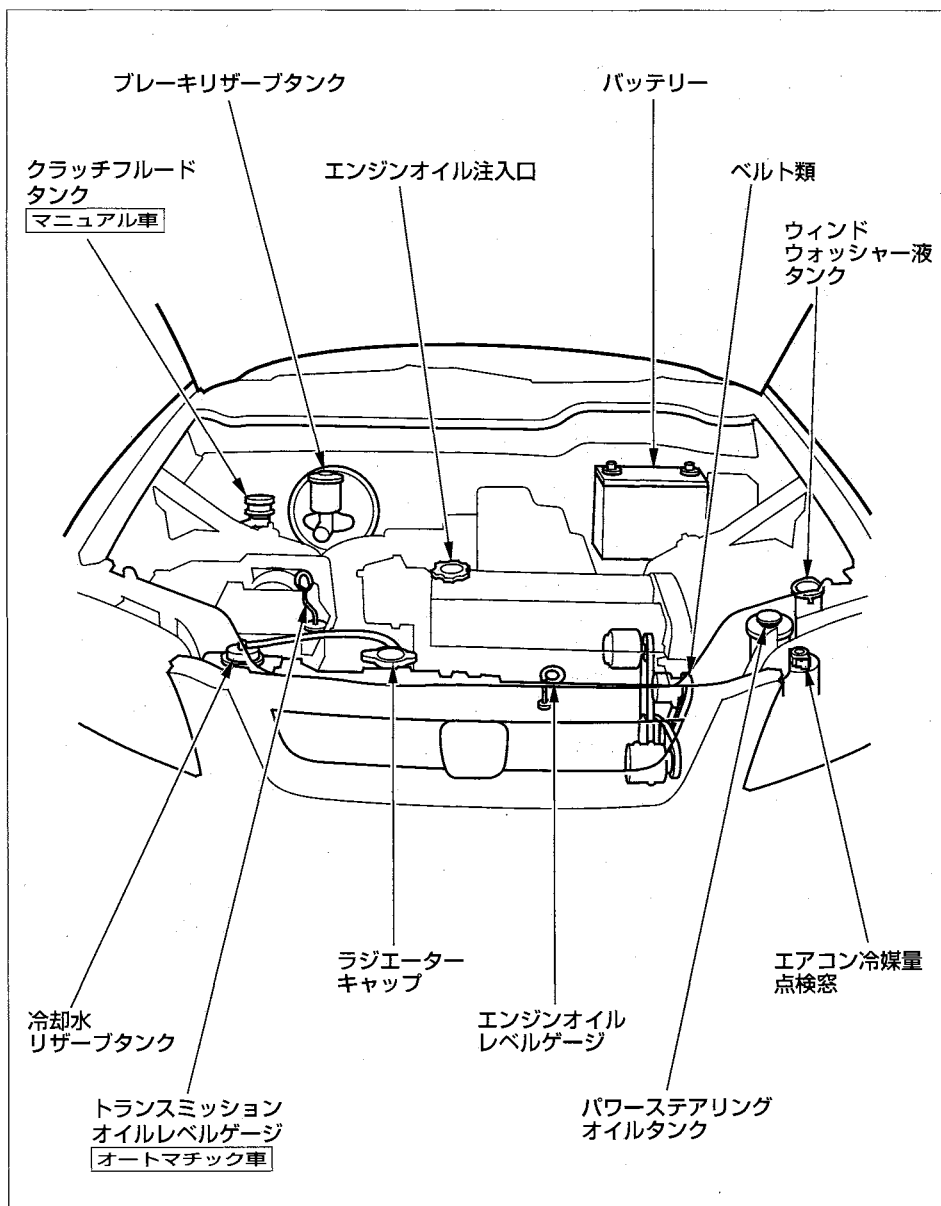
### ぬかるみなどにはまってしまったときは

むやみにアクセルペダルを踏むと、穴が深くなりかえって脱出が困難になります。タイヤの下に石や木などをあてがい脱出するか、前進・後退を繰り返し慣性を利用して脱出してください。また、ぬかるみがひどいときは、タイヤチェーンを装着するのも効果的です。

### 急斜面では



- 急斜面での登り始めと終わりは、凹凸の少ないなだらかな斜面を選んでください。
- 登る途中で前進ができなくなったときは、絶対に方向転換はしないでそのままの状態で降りてください。方向転換をしようとすると、車が傾いたり、転覆することがあります。

# サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
点 火 プ ラ グ*	タ イ プ	NGK	ZFR6J-11
		DENSO	KJ20CR-L11
	電 極 の す き 間	1.0-1.1 mm	

※：ISO(国際標準化機構)規格品の突出しタイプを使用しています。、のマークがついています。

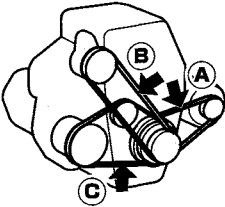
### エアクリンフィルターの交換

エアコンには、空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリンフィルターが取り付けられています。

エアクリンフィルターの交換は、通常2年または24,000kmごとに、ホンダ販売店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

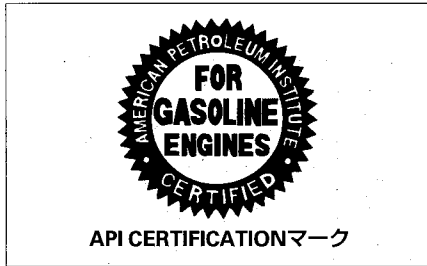
- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。  
ホンダ販売店で点検を受けてください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量			
	発電機ベルト	8.5-11.5 mm (約10kgの力)	
	パワーステアリングベルト	11.0-14.5 mm (約10kgの力)	
	エアコンディショナーベルト	7.5-10.5 mm (約10kgの力)	
ブレーキペダル	遊 び	1-5 mm	
	床板とのすき間	マニュアル	100 mm 以上(約20kgの力)
		オートマチック	111 mm 以上(約20kgの力)
	カーペットとのすき間 (参考値)	マニュアル	72 mm 以上(約20kgの力)
クラッチペダル	遊 び	7-22 mm	
	床板とのすき間	75 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	60 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
	パーキングブレーキ	引 き し ろ	マニュアル
オートマチック			3-9 回(約20kgの力)
エアクリナー エレメント	タ イ プ	乾式	
バッテリー	容 量	36AH(5)/55B24R	
電球(バルブ)	W(ワット)数	ヘッドライト(ハロゲンバルブ)..... 12V-60/55W	
		フォグライト(ハロゲンバルブ)..... 12V-55W	
		前面方向指示器/前面非常点滅表示灯.. 12V-21W	
		車幅灯..... 12V-5W	
		側面方向指示器/側面非常点滅表示灯.. 12V-5W	
		後面方向指示器/後面非常点滅表示灯.. 12V-21W	
		番号灯(バフォーマ)..... 12V-8W	
		(フルマーク)..... 12V-5W	
		制動灯/尾灯..... 12V-21/5W	
		後退灯..... 12V-18W	
		室内灯..... 12V-8W	
スポットランプ..... 12V-5W			
カーゴルーム照明灯..... 12V-8W			

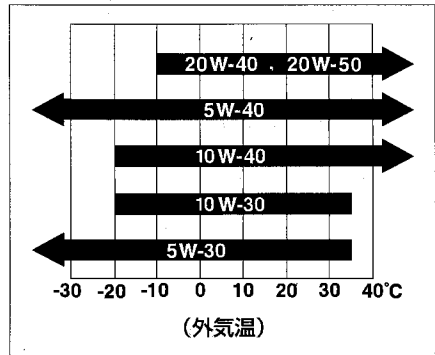
項目		サービスデータ	
エンジンオイル	推奨オイル	ホンダ純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラSG(SG級SAE 10W-30) ウルトラSUPER MILD SJ(API SJ/GF-2級SAE 10W-30) ウルトラLTD XJ(API SJ/GF-2級SAE 5W-30) ウルトラGOLD XJ(API SJ級SAE 5W-40)	
	規定量	オイル交換時	3.5ℓ
		オイル、オイルフィル ター同時交換時	3.8ℓ

### 推奨エンジンオイル

ホンダ純正エンジンオイルまたはAPI SG級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ、サーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



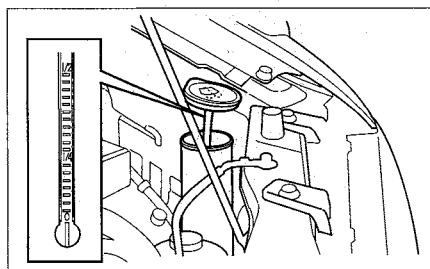
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項目		サービスデータ		
燃 料	使 用 燃 料	無鉛ガソリン		
	タンク容量	58ℓ		
トランスミッション オイル	指定オイル	マニュアル	ホンダ純正オイルウルトラMTF-II	
	指定液量	オートマチック	ホンダ純正ウルトラATF	
	規定量 (交換時)	マニュアル	1.7ℓ	
		オートマチック	2WD車	2.7ℓ
		4WD車	2.9ℓ	
デファレンシャル オイル (4WD車)	指定液量	ホンダ純正ウルトラDPSF		
	規定量 (交換時)	1.0ℓ		
冷 却 水	指定液	ホンダ純正ウルトララジエーター液		
	規定濃度	50%		
	規定量 (交換時リザーブ タンク0.6ℓ含む)	3.9ℓ		
ブレーキ液	指定液	ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT 3またはDOT 4		
クラッチ液	指定液	ホンダ純正ウルトラブレーキフルードDOT 3またはDOT 4		
パワーステアリング液	指定液	ホンダ純正ウルトラパワーステアリングフルード-Vまたは-II		
ウォッシャー液	タンク容量	2.5ℓ		

### ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。





項目		タイヤ空気圧 kPa(kgf/cm <sup>2</sup> )		リムサイズ※	
		前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ					
標準タイヤ	205/70R15 95S	180 (1.8)		15×6JJ	15×6JJ
応急用 スペアタイヤ (フルマークのみ)	T145/80D16	420 (4.2)		16×4T	

タイヤの溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※：この車専用のホイールをお使いください。  
 専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。  
 ホイール交換に際しては、必ずホンダ販売店にご相談ください。

名称	排気量(cm <sup>3</sup> )	車体形状	乗車定員(人)	タイプ
CR-V	1,972	4ドア ステーション ワゴン	5	フルマーク 4WD
				パフォーマ 4WD
				フルマーク 2WD
				パフォーマ 2WD

# さくいん

## ア

アームレスト	49・53
アクセサリソケット	164
雨の日の運転	236
アルミホイール	222
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	124
ABSのしくみ	124
警告灯	84・125
取り扱いについて	125
アンテナ	146

## イ

イグニッション(エンジン)	
キー	30
スイッチ	86
インナールーフレール	173

## ウ

ウィンカー	
スイッチ	89
電球の交換	209・210
表示灯	78
W(ワット)数	244
ウィンドー	42
ウェットティッシュホルダー	173
ウォッシャー液	
スイッチ	91
タンクの容量	246
冬期の手入れ	235
補給	246
運転のしかた	94

## エ

エアクリーナーエレメント	244
エアクリーンフィルター	142・243
エアコン	
使いかた	138
吹き出し風の調節	137
ベルト	244
AM/FMラジオ一体式カセットステレオ	148
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムのしくみ	114
お子さまを乗せるときは	119
警告灯	84・121
作動しないとき	117
作動するとき	116
取り扱いについて	120
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	245
冬期の手入れ	234
エンジンキー(キー)	30
エンジンスイッチ	86
照明灯	161
エンジンのかけかた	94
エンジンブレーキ	16・108
エンジンルーム	242
エンジンをかける前に	104

## オ

オーディオ	
インデックス	147
上手な使いかた	144
オートエアコン	138
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	104
オイル	246
セレクトレバー	100
オーバードライブ(O/D)	
オーバードライブOFF表示灯	79
オーバードライブ(O/D)スイッチ	102
オーバーヒートしたとき	198
オドメーター	75
温度感知装置	142

## カ

外装の手入れ	217
格納	233
カーゴサイドフック	173
カーゴスペースの作りかた	56
カーゴフロアポケット	171
カーゴネット	174
カーゴルームランプ	
使いかた	161
電球の交換	211
W(ワット)数	244
カップホルダー	166
換気	13
寒冷時の取り扱い	226

## キ

キー	30
キー抜き忘れ警告ブザー	87
キーレスエントリー	32
キーレスステールゲートオープナー	36
キックダウン	18

## ク

曇り取り(デフロスター)	141
クラッチペダル	244
クリープ現象	18
車にあった部品の使用	224
車の積雪について	226
グローブボックス	170

## ケ

警告灯	
警告灯類	80
電球切れの点検	85
経済走行	239
けん引	
けん引されるとき	182
故障車をけん引するとき	185

## コ

工具(ツール)	
格納場所	176
種類	177
高速道路で故障したとき	178
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	210
W(ワット)数	244
後部ワイパー(リヤワイパー)	
スイッチ	91
故障したとき	178
故障の修理について	179
小銭入れ(コインボックス)	170
小物入れ	170

**サ**

サイドアンダーミラー ..... 60  
 サービスデータ ..... 242  
 三点式シートベルト ..... 66  
 サンバイザー ..... 164  
 サンルーフ  
   作動しないとき ..... 212  
   サンシェード(遮光板) ..... 44  
   操作 ..... 44

**シ**

シート  
   助手席回転シート ..... 50  
   フロントシート ..... 48  
   フルフラットシート ..... 54  
   リヤシート ..... 52  
 シートアンダーボックス ..... 171  
 シートベルトについて ..... 62  
   警告灯 ..... 83  
   ショルダーアンカー ..... 67  
   着用のしかた ..... 66  
 シートベルトプリテンショナー  
   警告灯 ..... 123  
   装置について ..... 122  
   取り扱いについて ..... 123  
 シガレットライター ..... 162  
 事故が起きたとき ..... 180  
 室内灯(ルームランプ)  
   使いかた ..... 160  
   電球の交換 ..... 211  
   W(ワット)数 ..... 244  
 シフトロック装置 ..... 21・100・107  
 霜取り・曇り止め  
   前面/側面ガラス ..... 141  
   ジャッキの取り扱い ..... 186  
 車幅灯(ポジションランプ)  
   電球の交換 ..... 209  
   W(ワット)数 ..... 244  
 充電警告灯 ..... 83  
 樹脂塗装部品 ..... 218  
 ジュニアシート ..... 64  
 純正部品 ..... 224

**ス**

水温計 ..... 75  
 スイッチの使いかた ..... 86  
 スノータイヤ(冬用タイヤ) ..... 228  
 スパークプラグ(点火プラグ) ..... 243  
 スピードメーター ..... 75  
 スペアタイヤ  
   格納場所 ..... 176  
   空気圧 ..... 247  
   サイズ ..... 247  
   スペアタイヤについて ..... 192  
 スペアタイヤカバー ..... 188・223  
 スポットランプ  
   使いかた ..... 161  
   電球の交換 ..... 211  
   W(ワット)数 ..... 244

**セ**

制動灯(ブレーキランプ)  
   電球の交換 ..... 210  
   W(ワット)数 ..... 244  
 積雪・寒冷時の取り扱い ..... 226  
   運転するとき ..... 228  
   運転するまえ ..... 226  
   駐車するとき ..... 232  
   冬期の手入れ ..... 234  
 セレクトレバー  
   操作 ..... 100  
   ポジション表示灯 ..... 79  
 洗車のしかた ..... 217  
 前照灯(ヘッドライト)  
   上向きと下向きの切り換え ..... 89  
   上向き表示灯 ..... 78  
   追い越し合図(パッシング) ..... 89  
   スイッチ ..... 88  
   W(ワット)数 ..... 244  
 センターテーブル ..... 165  
 センターポケット ..... 171

**ソ**

速度計 ..... 75  
 速度範囲 ..... 98・103  
 その他の安全装備 ..... 131

## タ

## タイヤ

位置交換(ローテーション) .....	221
ウェアインジケータ .....	220
空気圧 .....	247
交換 .....	194
サイズ .....	247
スベアタイヤ .....	176
スノータイヤ .....	228
チェーン .....	230
点検 .....	220
タコメーター .....	75
正しい運転姿勢 .....	46

## チ

チェーン .....	230
チェンジレバーの操作 .....	98
チャイルドシート .....	64
チャイルドシート固定機構 .....	70
チャイルドブルーフ .....	33
駐車	
坂道 .....	23
積雪・寒冷時の取り扱い .....	232
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯 .....	82
積雪・寒冷時の取り扱い .....	232
操作 .....	96
チルトステアリング .....	58

## テ

テールゲート .....	36
開閉警告灯 .....	84
テールゲートポケット .....	173
点火プラグ .....	243
電気系統が異常のとき .....	200
電気装置が作動しないとき .....	202
電球(バルブ)	
交換 .....	206
W(ワット)数 .....	244
点検・整備について .....	214
電動リモコンドアミラー .....	59

## ト

## ドア

開閉警告灯 .....	84
施錠・解錠 .....	30
積雪・寒冷時の取り扱い .....	227
ドアミラー .....	59
冬期の手入れ .....	234
道路で動けなくなったとき .....	179
時計/外気温表示 .....	158
塗装の手入れ .....	217
トランスミッション	
オイルの容量 .....	246
警告灯 .....	83
トリップメーター .....	75

<b>ナ</b>	
内装の手入れ .....	219
夏場の取り扱い .....	238

<b>ニ</b>	
日常の手入れ .....	216
二点式シートベルト .....	64
荷物フック .....	173

<b>ネ</b>	
燃料(ガソリン)	
使用燃料 .....	40・246
タンク容量 .....	40・246
燃料計 .....	75
燃料残量警告灯 .....	83
補給口 .....	40

<b>ハ</b>	
パーキングブレーキ(駐車ブレーキ)	
警告灯 .....	82
積雪・寒冷時の取り扱い .....	232
操作 .....	96
灰皿 .....	163
ハイドロブレーニング現象 .....	236
ハイビーム表示灯 .....	78
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ .....	90
電球の交換 .....	209・210
W(ワット)数 .....	244
発炎筒	
格納場所 .....	176
発炎筒について .....	177
バックミラー(後写鏡)	
サイドアンダーミラー .....	60
ドアミラー .....	59
ルームミラー .....	58
ハッチガラス .....	37
バッテリー	
充電 .....	201
冬期の手入れ .....	234
バッテリーあがりのとき .....	200
容量 .....	244
発電機ベルト .....	244
バニティミラー(化粧鏡) .....	164
パワーウィンドー .....	42
パワーステアリングベルト .....	244
パワードアロック(オートドアロック) .....	30
バンク	
バンクしたとき .....	186
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換 .....	210
W(ワット)数 .....	244

## ヒ

PGM-FI警告灯	83
ビークルスタビリティアシスト(VSA)	
運転のしかた	127
警告灯	85
表示灯	79・126
取り扱いについて	128
VSAのしくみ	126
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	90
電球の交換	209・210
W(ワット)数	244
尾灯	
電球の交換	210
W(ワット)数	244
ビルトインテーブル	168
ヒューズ	202
表示灯	76

## フ

フォグライト	
スイッチ	93
電球の交換	208
吹き出し風の調節	137
踏切で動けなくなったとき	178
フューエルリッド	41
プラグ	243
ブレーキ	
警告灯	82
積雪・寒冷時の取り扱い	229
倍力装置	16
ペダル	244

## ヘ

ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	89
上向き表示灯	78
追い越し合図(パッシング)	89
スイッチ	88
電球の交換	208
W(ワット)数	244
ヘッドレスト	48・52
ベビーシート	64
ベルトのたわみ量	244

## ホ

ホーンスイッチ	93
ホイールサイズ	247
ホイールの交換について	196・247
芳香剤	219
方向指示器	
スイッチ	89
電球の交換	209・210
表示灯	78
W(ワット)数	244
ボンネット	34

<b>マ</b>	
万一のとき	175
<b>ミ</b>	
ミラー	
サイドアンダーミラー	60
ドアミラー	59
ルームミラー	58
<b>ム</b>	
無線装置	25
<b>メ</b>	
メーター(計器類)	74
<b>ユ</b>	
油圧警告灯	82
雪道走行後の手入れ	234
<b>ヨ</b>	
四輪駆動機構(4WD)	130
4WD車の運転	240

<b>ラ</b>	
ライト消し忘れ警告ブザー	88
ライトスイッチ	88
ライト類が点灯しないとき	202
ラジオの使いかた	150
<b>リ</b>	
リムサイズ	247
リモートコントロールドアミラー	59
リヤデフロスター	92
リヤワイパー	91
<b>ル</b>	
ルームミラー(防眩式室内後写鏡)	58
<b>レ</b>	
冷却水(ラジエーター液)	
水量	246
冬期の手入れ	235
レーザークリーナー	219
<b>ロ</b>	
ロアゲート	37



ワ

ワイパー	
スイッチ .....	90
積雪・寒冷時の取り扱い .....	232
ワックスかけ .....	218



**A**

ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	124
ABSのしくみ	124
警告灯	125
取り扱いについて	125
A/C(エアコン)	
使いかた	138
吹き出し風の調節	137
ベルト	244
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	104
オイル	246
セレクタレバー	100

**H**

HFC-134a(エアコン冷媒)	238
------------------	-----

**I**

INT(間欠ワイパー)	90
-------------	----

**M**

MT(マニュアルトランスミッション)	
オイル	246
チェンジレバー	98

**P**

PGM-FI警告灯	83
PRESS(シートベルトバックル)	67

**S**

SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムのしくみ	114
お子さまを乗せるときは	119
警告灯	121
作動しないとき	117
作動するとき	116
取り扱いについて	120

**T**

TCSスイッチ	127
---------	-----

**V**

VSA(ビークルスタビリティアシスト)	
運転のしかた	127
警告灯	128
表示灯	79・126
取り扱いについて	128
VSAのしくみ	126

**W**

W数(ライト類の電球のワット数)	244
------------------	-----





お問い合わせ、ご相談は、お買い求めの販売店もしくは全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターがお受け致します。

フリーダイヤル	0120- <sup>11</sup> 2010
FAXインフォメーション	03-5412-2388

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00

〒107-8556 東京都港区南青山2-1-1

・所在地、電話番号が変更になることがありますのでご了承ください。

販売店のご案内、カタログのご注文、車の手続き、税金、保険、車種別主要諸元、装備、価格についてはホンダ24時間FAXインフォメーションをご用意しておりますのでご利用ください。